

日本語能力試験1・2級対応

ど
ど
日
表
500
中・上級

ん
ん
本
現
500
中・上級

な
な
語
文
500
中・上級

時
時
語
型
500
中・上級

う
う
語
型
500
中・上級

500 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

はじめに

最近、中・上級レベルの教材は教科書以外のものについてもよいものが次々と出版されるようになりました。特に問題集は日本語能力試験を目指す学習者が効率よく学べるように工夫されたものが数多く出版され、目をみはるものがあります。

ところで、初級を終えて中級に入った学習者は論理的な文章を読んだり、書いたり、微妙な気持ちや感動を表現したりする時に使われる、より高度な日本語を習得したいと願います。そのような学習者から次のような声が聞かれるのも事実です。本や新聞などを読んでいると新しい言葉が出てくるが、文法的な言葉は辞書で引こうとしても、辞書には出ていない、いい参考書はあるが、言葉の数が少ない、などです。また、大学や専門学校のための日本語予備教育課程で学びつつ、日本語能力試験の準備をしている学習者からも、問題集や直前対策などの教材だけではなく、中・上級で学ぶ文型の全体を見通しつつ、計画的に落ち着いて学習できる教材がほしい……という希望が聞かれます。

また、中・上級レベルを教える先生方からも、次のような声がありました。中・上級で数多く出てくる文法的な機能語を、学習者に効率よく体系的に復習させることができる教材がないか、学校の教科書で勉強したものを学習者が自分で復習したり、または学校のクラスでは十分にわからなかったところを後で補ったりすることもできる教材がないか、などです。

このような中・上級の学習者の要望に応えたく、私どもはこの『どんな時どう使う日本語表現文型500』をまとめました。これは、私どもが現場で得た経験を生かし、学習者のお役に立つよう、長年使用してきた自作教材をもとにまとめたものです。

この教材の編集段階で、国立国語研究所の佐々木倫子先生には非常に有益なご助言とお励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。また、株式会社アルクの平本照磨社長をはじめ、日本語出版編集部の塩崎宏編集長、水野照子副編集長には、一方ならぬお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

この学習書が日本語を学ぼうとしている方々のお役に立つことを心から願っております。しかし、至らない点もあるかと思えます。お気付きの点について、お使いになった方々からのご批判をいただければ幸いです。

1996年9月

友松悦子

宮本 淳

和栗雅子

目次 CONTENTS

はじめに……3

ほんしょ もくてき
本書の目的……6

ほんしょをお使いになる方々へ……6

1 本書の特色と方針

2 各課の構成

ほんしょを使って学習する方々へ……9

せつぞく けつり
接続の形について……11

きごう
記号について……13

1 動作の対象 ～について/～に対して……15
Objects of Action

2 目的・手段・媒介 ～ように/～によって……20
Purpose/Means and Media

I 目的 II 手段・媒介

3 起点・終点・限界・範囲 ～をはじめ/～にわたって……28
Starting and Ending Points/Limits/Range

4 時点・場面 ～に際して/～において……35
Time and Place of an Action

5 時間的同时性・時間的前後関係 ～たとたん/～ないうちに……41
Concurrent Actions/Sequential Actions

I 時間的同时性 II 時間的前後関係

6 進行・相関関係 ～一方だ/～につれて……49
Progressive Actions/Correlations

I 進行 II 相関関係

7 付帯・非付帯 ～ついでに/～ぬきで……55
With/Without

8 限定 ～に限り……62
Limiting Conditions

9 非限定・付加 ～ばかりでなく/～に加えて……67
Non-limitation/Additions

I 非限定 II 付加

10 比較・最上級・対比 ～に比べて/～どころか……76
Comparison/Contrast

I 比較・最上級 II 対比

11 判断の立場・評価の視点 ～にとって/～にしては……85
Standpoint of Judgment/Viewpoint of Evaluation

I 判断の立場 II 評価の視点

12 基準 ～に基づいて……93
Basis of Action

13 関連・対応 ～に応じて/～をきっかけに……99
Dependency/Correspondence

14 無関係・無視・例外 ～を問わず/～はともかく……105
Unrelated Conditions/Exceptions

15 例示 ～とか～とか……110
Giving Examples

- 16 ^{きょうちよう} 強調 ~さえ/~こそ……115
Emphatic Expressions
I 強調 その1 II 強調 その2
- 17 ^{わだい} 話題 ~というのは……123
Topics
- 18 ^{ぎゃくせつ じようほ} 逆接・譲歩 ~ながら/~とはいうものの……129
Contradiction/Concession
- 19 ^{げんいん りゆう} 原因・理由 ~によって/~ばかりに/~からには……137
Causes and Reasons
I 原因・理由 その1 II 原因・理由 その2 III 原因・理由 その3
- 20 ^{かていじようけん かくていじようけん} 仮定条件・確定条件 ~としたら/~とあれば……149
Hypothetical Conditions/Definite Conditions
- 21 ^{ぎゃくせつ かていじようけん} 逆接仮定条件 ~たところで……155
Negative Hypothetical Conditions
- 22 ^{ふかのう かのう こんなん ようい} 不可能・可能・困難・容易 ~ようがない/~得る……160
Impossibility/Possibility/Difficulty/Easiness
- 23 ^{けいこう じようたい ようす} 傾向・状態・様子 ~がちの/~だらけ/~げ……166
Tendency/State/Condition/Look
I 傾向・状態 II 様子
- 24 ^{けいか けつまつ} 経過・結末 ~あげく/~に至る……175
Process/Conclusion
I 経過 II 結末
- 25 ^{ひてい ぶぶんひてい} 否定・部分否定 ~はずがない/~わけではない……185
Negatives/Partial Negatives
I 否定 II 部分否定
- 26 ^{でんぶん すいりよう} 伝聞・推量 ~ということだ/~かねない……192
Conveying Information/Expressing Certainty and Uncertainty
I 伝聞 II 推量
- 27 ^{しんじよう きようちよう きようせい} 心情の強調・強制 ~てたまらない/~ざるをえない……198
Emphasizing Feelings/Compulsion
I 心情の強調 II 強制
- 28 ^{きそ すず ちゆうい きんし} 誘い・勧め・注意・禁止 ~こと/~ものだ/~べきではない……206
Invitations/Advice/Warnings/Prohibitions
- 29 ^{しゅちよう だんてい} 主張・断定 ~にほかならない/~にきまっている……211
Assertion/Decision/Judgment
- 30 ^{かたん がんぼう} 感嘆・願望 ~ことに/~たいものだ……217
Exclamatory Expressions/Expressing Wishes
- 索引……223
- 練習問題の解答……231
- 参考文献……233

.....

本書の目的

初級文法の学習項目を終えた学習者は、論理的な文章を読んだり書いたり、微妙な気持ちや感動をうまく表現したりする時に使われる、より高度な日本語の言い方を学習したいと願う。

この学習書は、そうした中・上級の表現文型を体系的に学びたいと思っている学習者のために作られたものである。それぞれに微妙な特徴をもつ表現文型や文法的機能語（以下、機能語と言う）を学び、運用する力をつけたいと思ってこつこつと勉強している方々にはお役に立つものと信じている。

この学習書が使われる場としては、例えば、教科書に沿って中級以上の語彙や文法を積み上げつつ勉強する日本語学校で、中級の学習がある程度進んでから、中級文法のまとめのための副教材として使うということが考えられる。また、12月の日本語能力試験を目指して勉強している学生の大勢いる日本語学校で、その対策のための授業で使用するのも一案である。学習者が自習用、独習用の教材として使用することもできるであろう。

.....

本書をお使いになる方々へ

1 本書の特色と方針

[意味による分類]

本書は、国際交流基金・日本国際教育協会から発表された日本語能力試験（文法）の出題基準サンプル（文法的な〈機能語〉の類）を参考にして書かれた。当リストにあるもの（2級・1級）は全部を網羅した。その外に、数種類の教科書（参考文献参照）にあたり、その中で重要文型として取り上げられているものや、リストにはないが過去10年間に出版されたものをつけ加えた。以上のものに派生した形も加えて、500余項目となった。

学習者が文型をまとめて勉強しようとする時、さまざまな文型が脈絡なく次々として出てくるよりは、何かのまとまりをもって体系的に提出されている方が学習の助けになると考え、上記の機能語を意味によって分類して一つの課を構成した。各課の題はその課の項目の代表的な機能を考えてつけたが、その用語（例：7付帯・非付帯 など）については、ご批判を仰ぎたい。

機能語の意味・機能は一つではない。例えば「～ながら」は、初級の学習項目である同時進行と中級の学習項目である逆接の二つの意味・機能をもつ。しかし、この二つの意味は独立して存在しているのではなく、連続的にその意味をカバーしている。

また、「～にきまっている」は、確信に近い推量を表す文型であるとも、断定的発言

を表す文型とも考えられる。「～はずはない」は推量と分類した方がいいのか、否定と分類した方がいいのか、どこで線を引いて分類するのはきわめて難しい問題である。しかし、執筆者らの立場としては、あくまでも学習者が学習する際に取っ付きやすく、わかりやすいようにということを第一に考え、あえて分類を試みた。そのため、学習者の混乱を招かないように配慮し、それぞれの典型的な例を出して分類するという方法を取った。一つの機能語が複数の意味・機能をもつ場合は、それぞれのグループに収めた。例えば、「～によって」は、次の4つの課に収めた。

・話し合い <u>によって</u> 解決する。	手段	2課II・1
・この会はある団体 <u>によって</u> 運営されている。	受身文の動作主	2課II・2
・地方 <u>によって</u> 習慣が違う。	関連	13課1
・今回の地震 <u>によって</u> 倒壊した家の数は……	原因	19課I・1

[文法的性格についての記述]


機能語を学習する上で必要なことは、まず、意味と機能を理解することである。さらに、自分で使えるようになるためには、それを使う場面、接続のしかた、使われる動詞の種類などについての知識を持ち、接続する言葉の制限や文末の制限などについての文法的な性格についても知る必要がある。機能語の文法的な性格については、日本語教育の先輩方の研究により、非常に詳しい報告がされているものもあるが、まだ触れられていないものもある。また、優れた研究が発表されているものであっても、残念ながら日本語教育の現場、特に学習者の手にはまだ情報があまり届いていないのが現状であろう。




執筆者らは長年予備教育に携わっている者として、それぞれの現場の経験から、学習者のわかりにくいところ、間違いやすいところを押さえて、できるだけ簡単明瞭に文法的性格を解説しようと試みた。文型や機能語を正しく把握することは、読解力をつけるためにも大切なことであるから、文型や機能語についての知識を深めることにより、理論的な文章を理解したり、感情のこもった文などを読んだりする力を伸ばせるものと信じる。


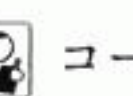



[例文]

各機能語について3～5つの例文を載せた。その文型の典型的な例をまず紹介し、外に、接続する品詞、時制、使われる場面、話題などが偏らないように、可能なかぎり様々なものを提示できるように試みた。ただし、いわゆる複合助詞（助詞に相当する連語）の場合、本来の動詞の意味が強く残っているものはあまり取り上げていない。（例：線路に沿って道が続いている。）

各例文は基本的に普通体の書き言葉のものを主としたが、当然ながら書き言葉には丁寧体のものであるので、手紙、ニュース報道、スピーチ、会議の報告などに使われるも

のも丁寧体の書き言葉として取り入れてある。さらに、会話の中の発話の文は、聞いている相手がいることを示すために「」の中に入れた。学習者の負担にならないように、必要最低限の場面設定だけを施した簡潔な例文を目指した。

[  コーナー（各課の1ページ目）と  練習問題（各課の最後のページ）]

少しでも執筆者と学習者とのインターアクションがあればと思い、また、自分の知識の弱点を自分でモニターする学習ストラテジーをもつことが望ましいと考えて、各課に入る前にその課で学ぶべきことをどの程度知っているかを試してみる「  コーナー」を設けた。その課にまとめられた意味・機能を持つ文型をどのくらい知っているか、知っているだけでなく適切に使えるかを試す性質のものである。問題は2級のものだけにおさえ、その機能語の定番ともいべき例を提示して問題が作ってある。 はそれらの語を知っているかどうかのチェックであり、 は適切な使い方ができるかのチェックである。このコーナーでつまづいた場合は、本文の●や  のところをよく読んでほしい。


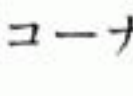

さらに、その課で学習したことの確認のために、本文の終わりに練習問題をつけた。その課で学んだ機能語が適当な部分に使えるか、その機能語を使って短文完成ができるか、文法的な性質についての知識が身についたか、あるまとまりのある文章（談話）の中でその機能語が使えるかなどを確認するためのものである。

[その他 使用語彙と漢字など]

文法の力を養うための学習書であるから、語彙はなるべく学習者の負担にならないよう、例文はそれぞれの出題基準の範囲内の語彙を使用するようにした。つまり、2級の機能語の例文については2級の出題基準の範囲内の語彙を、1級のものは1級のものも使用した。しかし、説明部分については、語彙を制限をすることによってかえってわかりにくくなるということもあり、必ずしもこの原則どおりにいかないこともあった。

漢字の提出については、漢字圏の学習者が本書の内容を容易に理解できるようにするため、また、非漢字圏の学習者にはなるべく漢字に慣れる機会を提供する意味もあり、2級の出題基準以上の語彙と漢字にはよみがなをつけて使った。

2 各課の構成

- ・   コーナー その課にまとめられた文型について、どの程度の基礎知識があるかを問うもの。(答は次のページの下)
- ・ 機能語一覧 その課で学習する機能語一覧。級別に提示。学習しやすいと思われる順に提示した。
- ・ 本文 見出し語
その言い換え……………【】

意味的な特徴……………●

例文……………①②③～

文法的性格と注意点……………☞

使われる場面について……………👔 🖋️ 🐦 ✉️

共起する言葉 他例

参考例 接続のしかた 他の参照文型など。

・練習問題

その課で学習したことをチェックするためのもの。問題の種類はいろいろで、談話単位の中でどう使われるかという点を確認する問題も取り入れた。(答は巻末)

本書を使って学習する方々へ

〈1課から30課〉

本書は1課から30課まであります。後半の課になると、話す人の気持ちや態度が含まれる文型が多くなってきます。1課から順番に進んでいくのもいいし、順番どおりでなくてもいいと思います。学校の授業で勉強したことを、家でもう一度練習しておきたいと思った時に、その文型と同じグループに入る外の文型をついでに学習してしまうという方法もあります。

〈☞☞のコーナー〉

どの場合でも、まず「うでだめし」をやってみましょう。これは、その課で学ぶことの基礎的な知識がどの程度まで進んでいるかを自分でチェックするコーナーです。問題は2級のものだけです。☞は「～と言いたい時」のいろいろな文型をどのくらい知っているかを問うものです。一番いい言葉を選んで____の上に入れてください。一つの語は1回しか使いません(14課を除く)。次に☞に進んでください。これは適切な使い方ができるかどうかを問うものです。使い方の適切な文の方に○をつけてください。中級以上の文型は、接続する言葉や文の終わり方などに様々な制限があります。接続のしかたも文型によっていろいろです。そうした制限を守らないと適切な使い方ができません。ここの問題を間違えた人は、本文の●や☞を注意して読んでください。どの課の☞☞のコーナーも10問あります。10問中、4問以上間違いのある人はその課を特にていねいに学習しましょう。

〈本文〉

まずその課で学習する文型にはどんなものがあるかを見てみましょう。2☞は2級、1☞は1級のもので、項目は学習しやすい順に並んでいますから、順を追ってその課の本文を読み進んでいくことをおすすめします。

まず、【 】を読んでください。やさしい言葉で言い換えた場合の「意味」が書いて

あります。それを頭の中に入れてうえで、●を読みます。さらに詳しい意味が、つまり、どう言いたい時に使うのかが書いてあります。次に例文を読んで、実際の文の中での使い方を確認してください。例文を読む時は、どんな性質の言葉、どんな品詞に接続しているか、文の終わり方はどうなっているかなどにも注意しながら読んでください。☞はその文型の文法的な性質について書いてあります。その文型を使って自分で文を作る時の注意点です。☞の中の悪い文(×がついた文)はどのようにして悪いのかをまず考えてみてください。その後で注意事項を読んでください。正しい文の作り方と正しい文(○の文)が書いてあります。

練習問題

次に練習問題に進んでください。これはその課で学習したことを理解できたかどうかをチェックするためのものです。あるまとまりをもった少し長い文章の中で習った文型をどう使うかを練習する問題もあります。手紙、作文、論文などを書く時の参考にしてください。

50音順別索引

ある言葉について知りたいと思った時は、50音順の索引を引いてください。習った言葉の意味や使い方を自分でもう一度確かめたいと思った時にも、索引を大いに利用してください。他と混同しやすいものや、複数の使い方があってわかりにくいものは、短い例文が書いてありますから、引く時に参考にしてください。

How to Use This Book

<Lesson Order>

This book is made up of 30 lessons, and sentence patterns that express the speakers' feelings and attitudes are given in increasing amount as the book progresses. You can start with Lesson 1 and work your way through each lesson in numerical order, or you can study the lessons in any order you like. Also, when you want to further review the sentence patterns you learned in class at home, you can go ahead and study similar sentence patterns of the same group.

<Skill Check Corner>

No matter which order you use when studying this book's lessons, you should start off each lesson with a test of your ability. The Skill Check Corner of each lesson has been designed to allow you to check your mastery of the fundamental knowledge presented in that lesson, and only level 2 problems are given. The part marked with ☞ tests how many of the various situational expressions you have acquired. Except for in Lesson 14, answer choices are used only one time each. Next, go to the part marked with ☞, which tests your ability to use the sentence patterns correctly. There are various restrictions which apply to clause connections and sentence endings when you work with intermediate and advanced sentence patterns, and the method of connecting clauses often differs depending on the type of sentence pattern being used. If such rules are not followed, then it will not be possible to use the sentence patterns properly. If you incorrectly respond to the test problems, carefully go over the parts marked with ● and ☞ in the main text. The ☞☞ section

せつぞく かた
[接続の型]

れんたいしゅうしよくがた
・連体修飾型

どうし 動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+こと
けいようし い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気な (元気である)	元気ではない	元気だった (元気があった)	元気ではなかった	
めいし 名詞	病気の (病気である)	病気ではない	病気だった (病気であった)	病気ではなかった	

ふつうけいがた
・普通形型

動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+からこそ
い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気だ	元気ではない	元気だった	元気ではなかった	
名詞	病気だ	病気ではない	病気だった	病気ではなかった	

・普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」)

動詞・い形容詞は上と同じ					+のみならず
な形容詞	元気である	元気ではない	元気があった (元気があった)	元気ではなかった	
名詞	病気である	病気ではない	病気であった (病気であった)	病気ではなかった	

例 名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。ただし「である」がない場合もある) +にもかかわらず/にしては

- ・雨にもかかわらず、大勢の人が来た。(名詞)
- ・約束したにもかかわらず、彼は来なかった。(動詞普通形型)
- ・天気がよかったにもかかわらず、参加した人は少なかった。(い形容詞普通形型)
- ・彼は体が健康であるにもかかわらず、働こうとしない。(な形容詞普通形「である型」)
- ・彼は歌がへたにしては、人前でよく歌いたがる。(な形容詞普通形「である型」の「である」がない場合)
- ・これはデザインが最新型であるにしては性能の悪い機械だ。(名詞の普通形「である型」)
- ・彼は力士にしては体が小さい。(名詞の普通形型「である型」の「である」がない場合)

せつぞく しる
[接続を記さなかったもの]

1 接続のしかたが明らかなもの

・一定の活用形に接続するもの

例 ~ないことには (20課3) ~ばこそ (19課II・8)

~てはじめて (5課II・1) ~たところで (21課2)

~う (よう) が (21課7)

・名詞に接続するもの 助詞「で」「の」「も」「を」で始まるもの


例 ~でなくてなんだろう (29課9) ~の至り (16課II・11)


~もかまわず (14課3) ~をはじめ (3課1)


2 慣用的にいろいろあるものや相手の言葉の一部をひきうけるもの


例 ~につけて (13課7) ~といえ**ば** (17課3)


き こう
記号について 各記号は次のような意味を表す。

 2級の文型

 1級の文型

 主として話し言葉に使われる。


 主として書き言葉に使われる。

 主としてあらたまった言い方として使われる。


【 】 初級の言葉で言い換えた場合の意味

(分けて意味を提示した方がわかりやすいものは、A【 】、B【 】のように記した。)

● 【 】だけでは言い足りない意味的な特徴

 文法上の注意事項 使われる場面の制限や、その文型を使って文を作る時に注意することなど。

 主として手紙文で使われる。

 接続の形

→ 他の課に入っているが、形がよく似ているものや、混同しやすいものなので、参照してほしいもの。

動作が向かう相手やものごとを示したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a について b に対して c にこたえて d をめぐって e 向けに

- 1 わたしは日本の民謡みんよう しら調べている。
- 2 大会ではみんなの期待きたい 、精一杯せいいつぱいがんばろうと思っています。
- 3 デパートの店員はお客様きゃくさま 、できるだけ丁寧ていねいな言葉ことばを使わなければならない。
- 4 ごみ処理場建設しよりにじょうけんせつの問題 、様々な議論さまざま ぎろんが行われた。
- 5 これは日本語学習者がくしゅうしゃ 書かれた文法書ぶんぽうしょです。


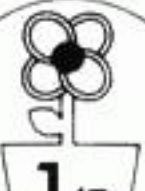


使えますか

- 1 わたしはあの人に関して {
 - a 何も知らないのです。
 - b あまり好きではありません。
- 2 わたしはあの人に対して {
 - a 失礼しつれいな態度たいどをとってしまいました。
 - b 変へんなうわさを聞きました。
- 3 a 社員たちの要望ようぼうにこたえて、 } 社員旅行は2泊3日と決定けつていした。
 b 社長の反対はんたいにこたえて、
- 4 財産ざいさんの問題をめぐって {
 - a 兄弟きょうだいの争あらそいが続つづいている。
 - b あなたにお話ししておきたいことがあります。
- 5 わたしのアパートは {
 - a 南向けで日当たりがいい。
 - b 高齢者こうれいしゃ向けであちこち便利べんりにできている。

答は次のページにあります。

動作の対象 動作が向かう相手やものごとを示したい時

 2級	 1級
1 ~について 2 ~に関して・~に関する 3 ~に対して・~に対する 4 ~にこたえて・~にこたえる 5 ~をめぐる・~をめぐる 6 ~向けに・~向けの・~向けだ	7 ~にかかわる



1 ~について

●取り扱う対象を言う時。

- ①あの人についてわたしは何も知りません。
- ②この町の歴史についてちょっと調べてみようと思っている。
- ③この日本文化史についてのレポートは大変よくできている。
- ④きのうの小論文の試験は「わたしの国の教育制度について」という題だった。

🗨️ 話す、聞く、考える、書く、調べるなどの意味の動詞が後に来ることが多い。
このことは2「~に関して・~に関する」の場合も同じ。

🔗 名詞 + について



2 ~に関して・~に関する

●取り扱う対象を言う時。

- ①この問題に関してはさまざまな方面から意見が寄せられた。
- ②「本件に関しましては、現在調査中でありまして、結論が出るまでにはもうしばらく時間をいただきたいと思います。」



1 a 2 c 3 b 4 d 5 e



1 a 2 a 3 a 4 a 5 b

③ 今回の「余暇の利用」に関してのアンケートはとても興味深かった。

④ この論文は、日本の宗教史に関する部分の調べ方が少し足りない。

👉 「～について」の👉を参照。| 「～について」より硬い表現。

🔗 名詞 + に関して

3 ～に対して・～に対する【～に／～を相手として】

● 動作や感情が向けられる相手や対象を表す。

① 小林先生は勉強が嫌いな学生に対して、とりわけ親しみをもって接していた。

② この賞は特に女性の地位向上に功績のあった人に対して贈られるものです。

③ 「今のランさんの発言に対して、何か反論のある方は手を挙げてください。」

④ 青年の、親に対する反抗心は、いつ頃生まれ、いつ頃消えるのだろうか。

👉 | 「～について」、2「～に関して・～に関する」と違って、相手に直接、動作や気持ち^{およ}が及ぶ時に使う。後には対立関係を表す語（反抗、反論、抗議^{こうぎ}など）が来ることが多い。

🔗 名詞 + に対して

4 ～にこたえて・～にこたえる【～に沿うように】

① 参加者の要望にこたえて、次回の説明会には会長自身が出席することになった。

② 聴衆のアンコールにこたえて、指揮者は再び舞台に姿を見せ、美しい曲を聴かせてくれた。

③ 内閣は国民の期待にこたえるような有効な解決策を打ち出してもらいたい。

👉 「～」には質問、期待、要望などを表す名詞が来る。

🔗 名詞 + にこたえて

5 ～をめぐるって・～をめぐる【～を議論や争いの中心点として】

● 「～」を中心点にして、どんな議論や対立関係が起こっているかを言う時。

① この規則の改正をめぐるって、まだ討論が続いている。

② 土地の利用をめぐるって、二つの対立した意見が見られる。

③町の再開発をめぐり、住民が争っている。

④マンション建設をめぐり争いがようやく解決に向かった。

🗨️ 後には、意見の対立、いろいろな議論、争いなどの意味を持つ動詞が来ることが多い。

🔗 名詞 + をめぐって

🎁 6 ~向けに・~向けの・~向けだ【~のために】

●「~に適するように」と言いたい時。

①これは幼児向けに書かれた本です。

②この文には専門家向けの用語が多いので、一般の人にはわかりにくい。

③この説明書は外国人向けだが、日本人が読んでとてもおもしろく、ためになる。

🔗 名詞 + 向けに

🌻 7 ~にかかわる【~という重大なことに関係する】

●ただ「関係がある」という意味ではなく、それに重大な影響を与えるという意味。

①人の名誉にかかわるようなことを言うな。

②プライバシーを守るということは人権にかかわる大切な問題です。

③教育こそは国の将来にかかわる重要なことではないでしょうか。

🔗 名詞 + にかかわる + 名詞



1 動作の対象

A どちらが正しいですか。正しい方の記号を○で囲みなさい。

1 あなたの林先生に (a 対して b 対する) 尊敬心はいつ頃からのものですか。

- 2 地元の人たちの期待に (a こたえて b こたえる) ような活躍をしたいと思います。
- 3 事故の原因に (a 関して b 関する) ただ今調査中です。
- 4 この空き地の利用法を (a めぐって b めぐる) まだ両者の対立が続いている。
- 5 これは若い人 (a 向けに b 向けの) デザインされた服だけれど、母にもとても似合うと思う。

B 中の言葉を使って、下の文を完成しなさい。一つの場合は1回しか使えません。

a について b に対して c にこたえて
d をめぐって e 向けに f にかかわる

わたしは昨年、いのち1 _____ 病気をした。その時、この作品を読んだ。これは子どもも2 _____ やさしく書かれた本である。もっとも本当に子どものためになるものかどうか3 _____ は、いろいろ議論があったようだ。この本を書いたAという作家4 _____、わたしはよく知らなかったが、本の中の「病気5 _____ 闘争心を持つことこそ大切だ」という言葉には大変励まされた。これからも読者の期待6 _____、いい作品を書いてほしいと思う。

C 中から最も適切な言葉を選んで、その記号を _____ の上に書き入れなさい。一つの場合は1回しか使えません。

a 要求 b 人命 c 病気 d お年寄り e 規則改正

- 1 その _____ について医学書で調べてみました。
- 2 _____ にかかわる大切な問題だから、よく聞きなさい。
- 3 学生たちの _____ にこたえて、先生方との討論会が行われることになった。
- 4 この料理は _____ 向けに味つけしてあります。
- 5 _____ をめぐって、まだ議論が続いている。

ものごとが行われる目的や手段や方法、その間で役目を果たす人やものを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a によると b 上で c を通じて d による e によって

- 1 この曲は大学生の作曲家_____作られたそうだ。
- 2 小林さんの話_____, ここに新しい道路ができるということだ。
- 3 木村さんとは共通の友人の紹介_____知り合ったんです。
- 4 調査を進めていく_____関係者全員から意見を聞くことが必要だ。
- 5 原子力発電_____電力供給はますます増えてきている。





使えますか

- 1 上野には { a 地下鉄よりJR線で
b 地下鉄よりJR線によって } 行くのが便利でしょう。
- 2 「赤毛のアン」は { a カナダの女性作家に
b カナダの女性作家によって } 書かれた青春小説の大ベストセラーです。
- 3 旅行の切符やホテルの予約は、 { a 旅行会社を通しての
b 旅行会社を通して } 予約が簡単で確
実です。
- 4 a 小学生とテレビの関係について調査するために } アンケートを行うこと
b 小学生とテレビの関係について調査するように }
にした。
- 5 外国語を勉強する上で { a テレビをさっそく買った。
b テレビはかなり役に立つ。


答は次のページにあります。


I 目的 あることを目指して、またはあることをするために、と言いたい時

 2級 1 ~ように 2 ~上で	 1級 3 ~べく 4 ~んがため(に)・~んがための
---	--

I・1 ~ように【~という目的が実現することを期待して】

- ①かぜが早く治るように注射を打ってもらいました。
- ②「黒板の字がよく見えるように前の席に座りましょう。」
- ③誰にもわからないようにそっと家を出たのだが、母に見つかってしまった。
- ④小鳥が集まって来るように庭にパンくずをまいた。

 「~」には話す人の意志を表さない動詞（意志を含まない動詞や可能の意味を表す動詞など）が来る。

 動詞の辞書形・~ない形 + ように → 12課1 「~ように・~ような」

I・2 ~上で【~のに】

●「~」という重要な目的を表す。

- ①テレビは外国語の勉強の上でかなり役に立ちます。
- ②今度の企画を成功させる上で、ぜひみんなの協力が必要なのだ。
- ③数学を学習する上で大切なことは、基礎的な事項をしっかり身につけることだ。
- ④有意義な留学生活をおくる上での注意点は下に書いてある通りです。

 ×日本での生活の上でいろいろなものを買った。

後には、その目標に必要なこと、大切なことなどを述べる文が来る。動作を表す文は来ない。

○日本での生活の上で必要なものは何ですか。



i e 2 a 3 c 4 b 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

④ 動詞の辞書形 / する動詞の名詞+の + 上で
 →11課 I・3 「～の上で・～上・～上の」



I・3 ～べく【～う（よう）と思って】



●「ある目的をもってそうした」と言いたい時。

- ①ひとこと鈴木さんに別れの言葉を言うべく彼のマンションを訪れたのだが、彼はすでに出発したあとでした。
- ②彼女は新しい気持ちで再出発するべく、長野県の山村に引っ越して行った。
- ③田中氏は記者会見場に向かうべく、上着を着て部屋を出た。

✎ ×インドのラムさんを迎えるべく空港まで行ってください。
 後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。
 ○インドのラムさんを迎えるべく空港まで行ったが、会えなかった。

④ 動詞の辞書形 + べく（「する」は「すべく」もある）



I・4 ～んがため（に）・～んがための【～う（よう）という目的をもって】



●「ぜひ実現させたい積極的な目的をもってあることをする」と言いたい時。

- ①研究を完成させんがため、彼は昼夜寝ずにかんばった。
- ②一日も早く自分の店を持たんがために、必死で働いているのだ。
- ③これも勝たんがための練習だから、がんばるしかない。
- ④災害から1週間たった。避難先のこの地で生きんがための方法をあれこれ考えて昨夜はよく眠れなかった。

✎ 1 ×大学に進学せんがためにがんばってください。
 後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。
 ○あの頃わたしは大学に進学せんがために、毎日必死でがんばった。

✎ 2 文語的な硬い表現。

④ 動詞の（ない）形 + んがために（「する」は「せんがため」）


II 手段・媒介 ものごとが行われる手段や方法、その間で役目を果たす人やものを言いたい時

 2級	 1級
1 ~によって・~による 2 ~によって 3 ~によると・~によれば 4 ~を通じて・~を通して	5 ~をもって

II・1 ~によって・~による

●「~」という手段や方法で、あることをすると言いたい時。

- ①その問題は話し合いによって解決できると思います。
- ②ボランティア活動に参加することによって自分自身も多くのことを学んだ。
- ③数学者は正しい推論によって次々と定理を導き出す。
- ④彼は両親の死後、叔父家族の温かい援助と励ましにより、自分の目指す道に進むことができた。
- ⑤山田さんの仲介による商談は結局、不調に終わった。


-  ×駅までバスに行ったらどうですか。
 ×じゃ、この書類をファックスによってお願いします。
 「~によって」は身近な道具や手段には使われない。
 ○駅までバスで行ったらどうですか。
 ○じゃ、この書類をファックスでお願いします。

 名詞 + によって

II・2 ~によって【~に】

●受身文において、受身動詞の動作の主体を表す。

- ①「リア王」はシェークスピアによって書かれた三大悲劇の一つです。
- ②このボランティア活動はある宗教団体によって運営されている。
- ③地震予知の研究はアメリカ、中国、日本などの専門家によって進められてきた。

 受身文の動作主はふつうは「に」によって表されるが、特に文の主語が生物以外のもので特定の動作主に焦点を当てたい場合などには「～によって」が使われることが多い。

 名詞 + によって

II・3 ～によると・～によれば【～では】

●伝聞の文において、その内容をもたらした情報源を表す。

①テレビの長期予報によれば、今年の夏は特に東北地方において冷夏が予想されるそうです。

②経済専門家の予想によると、円高傾向は今後も続くということだ。

③妹からの手紙によれば、弟は今年、オーストラリアの自転車旅行を計画しているとのことだ。

 名詞 + によると

II・4 ～を通じて・～を通して【～を手段として／～を間に立つものとして】

●何かが成立する時や何かをする時の仲立ちや手段となる人やものごとを表す。


①わたしはそのことをテレビのニュースを通じて知りました。

②彼とは共通の友人を通じて知り合った。

③「このような民間レベルの国際交流を通じて、両国の相互理解が少しずつでも進んでいくことを願っています。」

④「社長に会うときは、秘書を通じてアポイントメントを取ってください。」

⑤田中さんご夫妻を通じての結婚の話は残念ながらうまくいかなかった。

 「～を通じて」「～を通して」は同じように使える場合が多いが、「～を通じて」は「～」を何かが成立するときの媒介、手段としてとらえ、「～を通して」は「～」を間に立てて何かをする、という積極的な意味で使われることが多い。

→ 3 課 5 「～を通じて・～を通して」



II・5 ～をもって【～で】



● 「～」をもちいてあることをするという意味。

- ① 誠実な田中さんは非常な努力をもって問題解決に当たりました。
- ② 試験の結果は、1週間後に書面をもってお知らせします。
- ③ 今回のアルバイトでわたしは働くことの厳しさを身をもって経験した。
- ④ 彼の実力をもってすれば、金メダルは間違いないだろう。
- ⑤ 彼の能力をもってしても、社長になるのは無理だろう。



× この紙を10枚ずつクリップをもって留めておいてください。
身近で具体的な道具や手段にはあまり使われない。

○ この紙を10枚ずつクリップで留めておいてください。



2 目的・手段・媒介

- A どちらの使い方が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。
- 1 この病気の治療を続ける上で、
- a 注意しなければならないことはどんなことでしょうか。
 - b 有名な病院に移ることにしました。
- 2 ラジオ講座を聴くべく、
- a ラジオのスイッチを入れよう。
 - b ラジオのスイッチを入れたら、思いがけないニュースをやっていた。
- 3
- a いい写真をとるように
 - b いい写真がとれるように
- } 高級なカメラを買った。
- 4 来年は受験なので、
- a わたしが楽しく勉強するように
 - b 子どもが楽しく勉強するように
- } 部屋を改造しようと思う。
- 5 タンさん一家は
- a 新しい生活を始めんがため
 - b 新しい生活が始まらんがため
- } 国を離れた。

- B 下の文の下線の言葉が□の中の言葉で言い換えられる時は、その記号を()の中に書きなさい。一つの場合は1回しか使えません。ただし、言い換えられないものが二つあります。

a によって b をもって c をもってすれば
d を通じて e べく f 上で g によると

- 1 古いものを知ることで新しいものをつくり出すことができる。
()
- 2 けさの新聞では、今年の交通事故の死者数は1万人を超えそうだということだ。
()
- 3 この町は自転車で買い物に行ったりするには、ちょっと坂が多すぎるんですよ。
()
- 4 父の知人の紹介で、わたしはこの会社に入ることができた。
()
- 5 この写真集はこの地方の伝統文化を知るのに、とても役に立ちました。
()
- 6 ご依頼の件につきましては、当協会の規定により正式な文書でお申し込みいただきたく、お知らせいたします。
()
- 7 彼は知らせを待っているだろうから、とりあえず電話で知らせてあげよう。
()
- 8 部長の説得力で当たれば、あのがんこな社長も主張を曲げるかもしれない。
()
- 9 昔の人々は江戸で米や野菜を売るためにこの川を舟で下って行ったという。
()

C □の中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a ように	b べく	c を通じて
d による	e 上で	f によると

私の兄は、現在、京都のある大学で環境デザインを勉強している。兄1____、この学部は若い先生が多く、授業もとても活気があるそうだ。先生たちの考えでは、いい授業をする2____何より大切なのは、教師と学生の間^{ちてき そうご きよう}の知的な相互作用であり、その考えから、学生たち一人ひとりが積極的に授業に参加できる3____、少人数制のクラスになっているそうだ。また、学生たち4____自主的な活動も盛んだということだ。私は兄5____この大学についていろいろ知るようになった。来年は私もこの大学に入る6____、努力するつもりだ。

ものごとの始まりと終わり、上と下の限界、その間を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a をはじめ b にかけて c にわたって d を通じて e だけ

- 1 奈良には法隆寺_____古い寺がたくさんある。
- 2 食べ放題というのは、食べたい_____食べてもいいということです。
- 3 九月から十月_____は、各地で祭りが行われます。
- 4 彼はすべての科目_____、いつも成績がいい。
- 5 在学期間_____、彼はいつもクラスのリーダーだった。



使えますか

- 1 a ご両親をはじめ、 } ご家族の皆さんはお元気ですか。
 b ご両親からして、 }
- 2 a 夜中から明け方まで、 } 弱い地震が数回あった。
 b 夜中から明け方にかけて、 }
- 3 a あしたは東北地方の全域にわたって、 } 雪が降ります。
 b あしたは東北地方の全域のかぎり、 }
- 4 ここにあるものを { a できるだけたくさん運んでください。
 b できるばかりたくさん運んでください。
- 5 a この地方は年間のかぎり } 雨が少ない。
 b この地方は年間を通じて }

答は次のページにあります。

起点・終点・限界・範囲

ものごとの始まりと終わり、上と下の限界、その間を言いたい時



- 1 ~をはじめ (として)・
~をはじめとする
- 2 ~からして
- 3 ~から~にかけて
- 4 ~にわたって・~にわたる
- 5 ~を通^{つう}じて・~を通^{とお}して
- 6 ~だけ・~だけの
- 7 ~かぎり・~かぎりの



- 8 ~を皮^{かわ}切りに (して)・
~を皮切りとして
- 9 ~に至^{いた}るまで
- 10 ~を限^{かぎ}りに
- 11 ~をもって
- 12 ~というところだ・
~といったところだ



1 ~をはじめ (として)・~をはじめとする【~を第一^{だいいち}に】



●「~」に代表^{だいひょう}となるものをあげ、「同じグループの他のものもみんな」と言いたい時。

- ①ご両親^{りょうしん}をはじめ、家族^{みな}の皆さんによろしくお伝^{つた}えください。(手紙文)
- ②わたしは日本に來てから保証人^{ほしょうにん}をはじめ多くの方のお世話^{せわ}になって暮^くらしています。
- ③東京の霞ヶ関^{かすみがせき}には、国会議事堂^{こっかいぎじどう}をはじめとして国のいろいろな機^き関^{かん}が集まっています。
- ④アジアで行われた初^{はじ}めての世界女性会議^{じよせいかいぎ}には、アメリカをはじめとする世界^{かっこく}各国の女^{にょ}性代表^{だいいひょう}が参^{さん}加^かした。

☞ 2「~からして」の☞^{さんしやう}を参照。



2 ~からして【~を第一^{だいいち}の例として】

- ①わたしはあの人があまり好^すきではない。下品^{げひん}な話し方^{かた}からして気^きにいらぬ。
- ②この地方^{ちほう}の習^{しゅう}慣^{かん}はわたしのふるさとの習^{しゅう}慣^{かん}とはずいぶん違^{ちが}っている。第一、毎^{まい}日の食^{しょく}べ物^{ぶつ}からして違^{ちが}う。



1 a 2 e 3 b 4 c 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

③この店の雰囲気は好きになれない。まず、流れている音楽からしてわたしの好みではない。

☞ 「～をはじめ」と意味、用法はよく似ているが、「～をはじめ」は代表をとりあげ、それを含む全体を言う。「～からして」はふつうはあまり問題にならないことをわざわざ取りあげ、「それが第一に」と言ってマイナスのことを表現することが多い。

🔗 名詞 + からして



3 ～から～にかけて【～から～までの間】

①このスタイルは1970年代から1980年代にかけて流行したものだ。

②朝、7時半から8時にかけて、電車が大変込み合う。

③あすは東北から関東にかけて、小雨が降りやすい天気になるでしょう。(天気予報)

④首都高速道路は銀座から羽田にかけて、ところどころ渋滞となっております。(交通情報)

☞ ×A駅からB駅にかけて、わたしのアパートがあります。

×夜中から明け方にかけて、チンさんが訪ねて来ました。

「～から～まで」は始まりと終わりがはっきりしていて、その間ずっと同じ状態が続いていることを表す。「～から～にかけて」は始まりと終わりがそれほどはっきりしていない。後の文は1回だけのことでなく、連続的なこと。

○A駅からB駅にかけてアパートがたくさん並んでいる。

○夜中から明け方にかけて弱い地震が数回あった。

🔗 名詞 + から + 名詞 + にかけて



4 ～にわたって・～にわたる【～の全体に】

● 「～の範囲の全体にそのことが言える」と言いたい時。


①今度の台風は日本全域にわたって被害を及ぼした。


②理事会の決定については、すべての学部^{がくぶ}にわたって学生の不満が広まった。

③全課目にわたり優秀な成績をとった者には奨学金^{しょうがくきん}を与える。

④1年間にわたる橋の工事がようやく終わった。

⑤7日間にわたった競技大会も今日で幕を閉じます。



 名詞 + にわたって


 5 ～を通じて・～を通して【～の間ずっと】

- ① 人類の歴史を通じて、地球のどこかで常に戦争が行われていた。
- ② この地方は一年を通じてほとんど同じような天候です。
- ③ 留学時代を通して、わたしは保証人や先生からとてもいい影響を受けた。
- ④ 一年を通して彼は無遅刻、無欠席でがんばり、皆勤賞をもらった。

👉 「～を通して」は積極的、意志的な文と結びつくことが多い。

→ 2 課 II・4 「～を通じて・～を通して」


 6 ～だけ・～だけの【～の範囲は全部】

- ① テーブルの上のものは食べたいだけ食べてもいいのです。
- ② 「ここにあるお菓子をどうぞ好きなだけお取りください。」
- ③ 「あしたはできるだけだけ早く来てください。」
- ④ わかっているだけのことはもう全部話しました。

👉 ③のように「できるだけ～」の形で慣用的に使うこともある。

🔗 連体修飾型（肯定形だけ。「名詞+の」の形はない） + だけ


 7 ～かぎり・～かぎりの【～の限界まで】

- ① 「何かわたしにお手伝いできることがあったら言ってください。できるかぎりのことはいたしますから。」
- ② 戦後このあたりは見渡すかぎり焼け野原だった。
- ③ さあ、いよいよあしたは入学試験だ。力のかぎりがんばってみよう。
- ④ わたしたちのチームが負けそうになったので、みんなあらんかぎりの声を出して応援した。

👉 慣用表現として上のような例がよく使われる。

→ 8 課 3 「～かぎり（は）」



8 ～を皮切りに(して)・～を皮切りとして【～から始まって】

●「～から始まって、その後次々に」と言いたい時。

- ①そのバンドは東京公演を皮切りに、各地で公演をすることになっている。
- ②彼の発言を皮切りにして、大勢の人が次々に意見を言った。
- ③この作品を皮切りとして、彼女はその後、多くの小説を発表した。



9 ～に至るまで【～までも】

●「ものごとの範囲がそんなことにまで達した」と言いたい時。

- ①警察の調べは厳しかった。現在の給料から過去の借金の額に至るまで調べられた。
- ②中山さんはよほどわたしに関心があるらしく、休日のわたしの行動に至るまでしつこく知りたがった。
- ③身近なごみ問題から国際経済の問題に至るまで、面接試験の質問内容は実にいろいろだった。

☞ 上限を強調して表すのであるから、「～」には極端な意味の名詞が来る。

🔗 名詞 + に至るまで



10 ～を限りに【～を最後として】

●今まで続いていたことが今後はもう続かなくなることを表す。

- ①今日を限りに禁煙することにしました。
- ②今回の取引を限りに、今後A社とはいっさい取引しない。
- ③今年度を限りに土曜日の業務は行わないことになりました。

☞ 「～の限界まで」という意味の次のような慣用的表現もある。


・遠くなっていく船に向かって、彼は声を限りに恋人の名を呼んだ。



11 ～をもって【～で】

- ①「本日をもって今年の研修会は終了いたします。」
- ②今回をもって粗大ごみの無料回収は終わりにさせていただきます。(お知らせ)

③「これをもちまして第十回卒業式を終了いたします。」

 公式文書やあいさつなどにみられる言い方。





12 ~というところだ・~といったところだ【最高でも~だ/せいぜい~だ】

①このクラスの毎回のテストの平均点は75点といったところだろうか。

②「毎日の睡眠時間？　そうですねえ、6時間といったところです。」

③来年度わたしがもらえそうな奨学金はせいぜい5万円というところだ。

 せいぜい~だ、最高でも~だ、~以上ではない、と言いたい時の言い方なので、「~」にはあまり多くないと思える数量が来る。

 数量 + いうところだ



3 起点・終点・限界・範囲

A 中の言葉を使って、下の文を完成しなさい。一つ言葉は1回しか使えません。

I

a をはじめ b からして c にかけて
d にわたる e を通じて f だけ g かぎり

わたしは1990年から91年1 _____ 世界のあちこちに行った。そして92年から95年まで日本の大学で勉強した。4年間2 _____ 留学生活の間、保証人3 _____ いろいろな方のお世話になった。日本では食べ物4 _____ わたしには合わなくて、はじめのうちはとても困った。しかし、日本には年間5 _____ いろいろな野菜があるし、保証人も「うちの畑のものは好きな6 _____ 持って行っていいですよ」と言ってくれたのでありがたかった。わたし自身も、その時、力の及ぶ7 _____ がんばろうと思った。

II

a を皮切りに	b に至るまで	c を限りに
d をもって	e というところ	

- 1 今日____、もうあの人とは会わない。
 - 2 A会社の初任給しよにんきゅうはそんなに高くない。せいぜい18万円____だろうか。
 - 3 この映画____、以後次々にアジアの映画が日本で上映じやうえいされるようになった。
 - 4 彼は神経しんけいの細かい人で、その日に食べた食事の内容ないようやその値段ねだん、消費税しょうひぜい____、手帳てちょうに書いている。
 - 5 本年度____、当協会とうきやうかいは解散かいさんいたします。
- B どちらが適切てきせつですか。いい方の記号きごうに○をつけなさい。
- 1 この店の商品しょうひんは高級品こうきゅうひんばかりだ。(a ダイヤの指輪ゆびわ b ハンカチ) からして、わたしには手が出ない。
 - 2 年末ねんまつから年始ねんしにかけて、わたしは (a 新しい服ふくを買った b ふるさとの母のところに行っていた)。
 - 3 この学校の屋上おくじやうから見ると見渡すかぎり (a 富士山ふじさんが見える b ビルばかりだ)。
 - 4 (a 週末しゅうまつ b 1週間) にわたる講習会こうしゅうかいは、とても評判ひやうばんがよく、次回じかいもぜひ参加さんかしたいという人が大勢おおぜいいた。
 - 5 今年は一年を____通じて (a 忙いそがしかった b 日本語学校にほんごがっこうに入学した)。
 - 6 今年度をもつて (a この研究会けんきゅうかいは終わります b 新しい研究会けんきゅうかいが発足はつそくします)。

ものがとが行われる時や場面しめを示したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a おり折に b うちに c ところに d さいに際して e さいちゅう最中に

- 1 コーヒーショップで話をしている____、大切な用事をわす忘れてしまった。
- 2 このたびのわたしの入院____、いろいろな人のお世話になった。
- 3 へいかい閉会のあいさつが終わった____、なかがわ中川さんが入って来た。
- 4 せんじつきょうと先日京都へ旅行した____、だいがく やま だきょうじゅ たず京都大学の山田教授を訪ねた。
- 5 めんせつ面接試験の____、急におなかがいた痛くなった。





使えますか

- 1 a ひじょう非常の折には } この出口から出てください。
b 非常の際には }
- 2 研究発表はっぴょうするにあたって、 { a 病気になってしまった。
b いろいろじゅんび準備をした。
- 3 a 音楽を聴きいているうちに、 } ねむ眠くなってきた。
b 音楽を聴きいているところで、 }
- 4 みち子はちょっと本を読みかけたが、 { a すぐに眠ねむってしまった。
b 1時間でぜんぶ全部読んでしまった。
- 5 a わたしはにぎやかな最中でも } 眠ねむることがある。
b わたしはかいぎ会議の最中でも }


答は次のページにあります。


時点・場面 し てん ぼ めん ものがとが行われる時や場面を示したい時 しめ



2級	1級
1 ~折 <small>おり</small> (に)・~折の	10 ~にあって
2 ~際 <small>さい</small> (に)・~際の	
3 ~に際して	
4 ~にあたって	
5 ~ところ・~ところだ	
6 ~かける・~かけの・~かけだ	
7 ~うちに	
8 ~最中 <small>さいちゆう</small> (に)・~最中だ	
9 ~において・~における	

 1 ~折おり (に)・~折の【~機会きかいに】 


- ①このことは今度お目にかかった折くわに詳しくお話しいたします。
- ②先月北海道に行った折ほっかいどう、偶然ぐうぜん昔の友達ともだちに会った。
- ③何かの折おりにわたしのことを思い出したら手紙をくださいね。
- ④寒ささむ厳しい折きびから、くれぐれもお体を大切にしてください。✉


 「あるいい機会に」という意味であるから、後の文にはマイナスのことはあまり来ない。

 連体修飾型れんたいしゅうじきがた (否定形は少ない) ひていけい +折 (に)

 2 ~際さい (に)・~際の【~時ときに】 

- ①非常ひじょうの際はエレベーターを使わずに、階段かいだんをご利用りようください。
- ②これは昨年、ある大臣だいじんがアメリカを訪問ほうもんした際さいに、現地げんちの子どもたちから受け取うけとった

 1 b 2 d 3 c 4 a 5 e

 1 b 2 b 3 a 4 a 5 b

メッセージである。

③ ^{しんこみようし}申込用紙は3月1日までにお送りください。その^{さい}際、^{へんしんようふうとう}返信用封筒を^{わす}忘れずに^{どうふう}同封してください。

④ 「昨年、わたしがボランティアセミナーを行った^{きろく}際の記録をお見せいたします。」

④④ ^{れんたいしゅうしよくがた}連体修飾型 (否定形と形容詞の例は少ない) + 際に

3 ～に際して【～をする時に】

● 「ある特別なことを始める時点で」または「その^{しんこうちゅう}進行中の時点で」という意味。

① 来日に際していろいろな方のお世話になった。

② 「お二人の^{じんせい}人生の^{かど}門出に際して、ひとこと^{いわ}お祝いの^{ことば}言葉を申し上げます。」

③ このたびの私の^{てんしょく}転職に際しましては、^{なみなみ}並々ならぬお世話になりました。

④ この^{ちようき}調査を始めるに際しては、^{かんけいしゃ}関係者の^{りようかい}了解をとらなければならない。

④④ ^{どうし}動詞の^{じしょけい}辞書形 / ^{めいし}する動詞の名詞 + に際して

4 ～にあたって【～をする時に】

● 「～」という特別な時に対する^{たい}積極的な^{せっきよくてき}姿勢を^{しせい}言いたい時。

① 「^{しんがっき}新学期にあたって、^{みな}皆さんに言っておきたいことがあります。」

② ^{しんきょ}新居を^{こうにゅう}購入するにあたって、わたしも^{ふうふ}夫婦はいろいろな調査をしました。

③ ^{はっぴよう}研究発表をするにあたって、^{じゅんび}しっかり^{ひつよう}準備をすることが必要だ。

④ この^{じっこう}計画を^{うつ}実行に移すにあたり、^{しゅうい}ぜひ^{きょうりょく}周囲の人の^{もと}協力を求めなければならない。

④④ ^{どうし}動詞の^{じしょけい}辞書形 / ^{めいし}名詞 + にあたって

5 ～ところ・～ところだ

● ある行為のどの^{こうい}段階であるかを表す。

① 家を出る^よところを母に呼びとめられ、いろいろ用事を^{たの}頼まれた。

② 3ページまで^{しゅうりょう}終わり、4ページに入るところで^な終了のベルが鳴ってしまった。

③ ご飯を食べている^{ところ}に電話がかかってきた。

- ④「おやすみのところを起こしてしまつてすみません。」
 ⑤「もしもし、今空港に着いたところです。今からそちらに行きます。」
 ⑥会議が終つたところへ小林さんがあわてて入つてきた。

☞ 「～ところ」の前に来る動詞の活用形によって、過去か、現在進行中か、近い未来かを示す。

また、後に来る動詞がどんな助詞をとるかによって、「～ところ」の後ろにつく助詞が、ところに、ところへ、ところで、ところを、のように変化する。

🔗 動詞の辞書形・～ている形・～た形 +ところ



6 ～かける・～かけの・～かけだ【途中まで～して、～し終わらない】

●ある動作をし始めるが、し終わらないで途中になっている状態を表す。

①席に座ると列車はすぐに動き出した。わたしは雑誌を読みかけて、そのままとうとう寝込んでしまった。

②こんなところに食べかけのりんごを置いて、あの子はどこへ行ったのだろう。

③別れる時、マリは何か言いかけたが、すぐに下を向いてしまった。

🔗 動詞の(ます)形 +かける



7 ～うちに【～している間に】

●「～」の間に、はじめは予想しなかったような結果になることを表す。

①今は上手に話せなくても練習を重ねるうちに上手になります。

②友達に誘われて何回か山登りをしているうちに、わたしもすっかり山が好きになった。

③親しい仲間が集まると、いつも楽しいおしゃべりのうちにたちまち時間が過ぎてしまふ。

④ふと外を見ると、気がつかないうちに雨が降り出していた。

☞ 「～」には継続性を表す語が来る。

🔗 動詞の辞書形・～ている形・～ない形 / 名詞+の +うちに

→ 5課II・5 「～うちに・～ないうちに」



8 ～最中（に）・～最中だ【ちょうど～中に】

●「ちょうど～している時」という意味。

- ①新入社員しんにゆうの小林こばやしさんは、会議かいぎの最中さいちゆうにいねむりを始めてしまった。
- ②来年度の行事日程ぎょうじにっけいについては、今検討けんとうしている最中さいちゆうです。
- ③今考えごとをしている最中さいちゆうだから、少し静かしずにしてください。


 動詞の～ている形／名詞＋の　＋最中（に）



9 ～において・～における【～で／～に】

●ものが行われる場所、場面、状況を表す。

- ①式典しきてんはA会館かいかんにおいて行われる予定よてい。
- ②この植物しょくぶつは、ある一定いっていの環境かんきやうにおいてしか花はなを咲かせない。
- ③学会がっかいにおける彼の地位ちいは必ずしも高くないが、彼の研究ひやうかは高く評価ひやうかされている。
- ④このレポートでは江戸時代えどにおける庶民しよみんと武士ぶしの暮らし方くらしかたの比較ひかくを試してみた。

 方面、分野ほうめん ぶんやにも使われる。

- ・最近ひとびと、人々の価値観かちかんにおいても、ある小さな変化へんかが見られる。
- ・マスコミはある意味いみにおいて、人を傷つける凶器きやうきともなる。
- ・憲法研究けんぽうにおける山本氏やまもとしの業績ぎやうせきは、広く知られているところである。


 名詞　＋において



10 ～にあって【～に／～で】

●「～のような特別な事態じたい、状況じきに身をおいて」と言いたい時に使う。

- ①今、A国は経済成長期けいざいせいちやうきにあって、人々の表情ひやうじやうも生き生きとしている。
- ②数学は高度情報社会こうどじやうほうにあって、必要な教養ひつやう きやうやうとなっている。
- ③「この非常時ひじやうじにあって、あなたはどのようにしてそんなに平気へいきでいられるのですか。」

 ③の例のように、「こんな大変な状況たいへんにいるのに」と、後の文と逆接的ぎやくせつてきにつながることもある。

 名詞　＋にあって



4 時点・場面

A 中の言葉ことばを使って、下の文を完成かんせいしなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a 際さい b にあたって c ところに d うちに
e 最中さいちゆうに f において g にあって

1年のはじめ1 _____、ひとことごあいさつを申し上げます。昨年さくねんは厳しい年きびでした。契約交渉けいやくこうしょうの2 _____地震じしんが起こったり、ようやく工事が終わった3 _____台風たいふうが来たりしました。

しかし、厳しいということは、ある意味4 _____いいことです。困難こんなんな状況じょうきょう5 _____あれこれ考えている6 _____新しい計画けいかくが生まれてくるのです。今後も何か困ったことこまが発生はっせいした7 _____はみんなで助け合たすあっていきたいと思います。

B _____の上に、を、に、で、また必要ひつようがない時は×を書き入れなさい。

- 1 タバコを吸すっているところ _____ 見つかってしまった。
- 2 家に帰ると、夫おとが大阪おおさかから帰ったところ _____ だった。
- 3 コウさんはいつもわたしがご飯を食べようとしているところ _____ 来きるんです。
- 4 きこの試験しけんでは、もうちょっとというところ _____、終了しゅうりょうのベルなが鳴なってしまった。
- 5 出かけようとしているところ _____、電話でんわがかかってきた。
- 6 窓まどから顔かおを出だしているところ _____ 写真しやうしんに撮とられたのです。
- 7 今食事をしているところ _____ です。後でこちらからお電話でんわします。
- 8 この時計は3時をちょっと過ぎたところ _____ 止とまっている。
- 9 ご家族かぞそろってお食事ちゆう中のところ _____ 行いっては、失礼しつれいかもしれませんよ。
- 10 赤ちゃんがもう少しで眠ねむるところ _____ だから、ちょっと静しずかにしてください。

二つのことがらがほとんど同時に起こることを言いたい時や、二つのことからの時間的な前後関係を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a 次第 b うちに c かと思うと d からでないと e はじめて

- 1 ラッシュアワーの時は、今電車が出て行った_____もう次の電車が来る。
- 2 この書類は検討が済み_____、すぐ営業課の方へ回してください。
- 3 料理の材料は忘れない_____ノートに書いておこう。
- 4 この果物は実がもっと大きくなって_____おいしくない。
- 5 木村さんと別れて_____、彼女の本当の心の深さを知った。



使えますか

- 1 a テレビをつけたとたんに、テレビの後ろでバチッと音がした。
b テレビが終わったとたんに、お風呂に入りなさいよ。
- 2 アメリカから帰国して以来、



{	a 大学院に入りました。
	b ずっと大学院に通っています。
- 3 a 研究会での発表に先立って、主催者から発表者に対して説明があった。
b 買い物に行くに先立って、窓を閉め、かぎをかけた。
- 4 a 8時になったら、

}	すぐ出かけよう。
	b 8時になったかと思うと、
- 5 社長が着き次第、

{	a 会議を始めた。
	b 会議を始めよう。

答は次のページにあります。

I 時間的同时性 じ かん てき どう じ せい 二つのことがらがほとんど同時に起こることを言いたい時

 2級	 1級
1 ~たとたん (に) 2 ~(か) と思うと・ ~(か) と思ったら 3 ~か~ないかのうちに 4 ~次第 <small>しだい</small>	5 ~が早いか 6 ~や・~や否 <small>いな</small> や 7 ~なり 8 ~そばから



I・1 ~たとたん (に) 【~したら、その瞬間しゅんかんに】

- 「~が終わったのとほとんど同時に予期よきしないことが起こった」と言いたい時に使う。
 前のことと後のことは、互たがいに関係かんけいがあることが多い。

- ①ずっと本を読んでいて急に立ち上がったとたん、めまいがしました。
- ②わたしが「さようなら」と言ったとたん、彼女かのじょは泣なき出した。
- ③出かけようと思って家を出たとたんに、雨が降かってきた。
- ④電話のベルが鳴なったとたんに、みんなは急にシーンとなった。みんなが待っていた電話なのだ。

📖 3「~か~ないかのうちに」の📖を参照さんしょう。



I・2 ~(か) と思うと・~(か) と思ったら 【~すると、すぐに】

- 「~が起こった直後ちくごに後のことが起こる」と言いたい時に使う。

- ①空で何かピカッと光ひかったかと思うと、ドーンと大きな音がして地面じめんが揺ゆれた。
- ②あの子はやっと勉強を始めたと思ったら、もういねむりをしている。
- ③うちの子どもは学校から帰って来たかと思うと、いつもすぐ遊びあそびに行ってしまう。



1 c 2 a 3 b 4 d 5 e



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

- 👉 3「～か～ないかのうちに」の👉を参照。
 📌 動詞の辞書形・～た形 + (か) と思うと

📌 I・3 ～か～ないかのうちに【～すると、同時に】

- 「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

- ① 子どもは「おやすみなさい」と言ったか言わないかのうちに、もう眠ってしまった。
 ② 彼はいつも終了のベルが鳴ったか鳴らないかのうちに、教室を飛び出して行く。
 ③ この頃、うちの会社では一つの問題が解決するかしないかのうちに、次々と新しい問題が起こってくる。

- 👉 ×国へ帰ったとたんに、結婚しようと思います。
 ×学校から帰って来たかと思うと、すぐ勉強しなさい。
 ×空港に着くか着かないかのうちに電話をかけるつもりです。

1「～たとたん(に)」、2「～(か) と思うと・～(か) と思ったら」、3「～か～ないかのうちに」は、現実のできごとを言うのであるから、命令文、意志を表す文(う・よう、つもり)、否定文などが後に来ることはない。5「～が早いか」、6「～や・～や否や」、7「～なり」も同じ。

- 📌 動詞の辞書形・～た形 + か + ～ない形 + かのうちに

📌 I・4 ～次第【～したらすぐ】

- 「～」が起こったら、すぐ後のことをするという意志を伝えたい時によく使う。

- ① 「スケジュールが決まり次第、すぐ知らせてください。」
 ② 「資料の準備ができ次第、会議室にお届けします。」
 ③ 「会長が到着し次第、会を始めたいと思います。もうしばらくお待ちください。」
 ④ 新しい実験室がもうすぐできる。完成次第、器具類のテストを始める予定だ。

- 📌 動詞の(ます)形/する動詞の名詞 + 次第

📌 I・5 ～が早いか【～すると、同時に】

- 「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

- ① 小田先生はチャイムが鳴るが早いか、教室に入ってきます。

②ひろ子は自転車に乗ったが早いか、どんどん行ってしまった。

③その警察官は遠くに犯人らしい姿を見つけるが早いか、追いかけて行った。

☞ 3「～か～ないかのうちに」の☞を参照。

🔗 動詞の辞書形・～た形 +が早い



I・6 ～や・～やいな否や【～すると、同時に】

●「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

①よし子は部屋に入って来るや、「変なにおいがする」と言って窓を開け放した。

②そのニュースが伝わるや否や、たちまちテレビ局に抗議の電話がかかってくる。

③社長の決断がされるや否や、担当のスタッフはいっせいに仕事にとりかかった。

☞ 1 後のことは前のことに反応して起こる予想外のできごとが多い。

☞ 2 3「～か～ないかのうちに」の☞を参照。

🔗 動詞の辞書形 +や否や



I・7 ～なり【～すると、同時に】

●「～をすると同時に、ふつうではない動作をした」と言いたい時に使う。

①子どもは母親の顔を見るなり、ワッと泣き出しました。

②彼はしばらく電話で話していたが、とつぜん受話器を置くなり飛び出して行った。

③彼は合格者のリストに自分の名前を発見するなり、とび上がって大声をあげた。

☞ 3「～か～ないかのうちに」の☞を参照。

🔗 動詞の辞書形 +なり



I・8 ～そばから【～しても、すぐ】

●「～しても～しても、すぐ次のことが起こる」と言いたい時に使う。

①小さい子どもは、お母さんが洗濯するそばから、服を汚してしまいます。

②仕事を片づけるそばから次の仕事を頼まれるのでは体がいくつあっても足りない。

③もっと若いうちに語学を勉強すべきだった。今は習ったそばから忘れてしまう。

動詞の辞書形・～た形 + そばから

II 時間的前後関係 二つのことからの時間的な前後関係を言いたい時



- 1 ~てはじめて
- 2 ~上で・～上の
- 3 ~て以来
- 4 ~てからでないと・
~てからでなければ
- 5 ~うちに・～ないうちに
- 6 ~に先立って・～に先立つ



- 7 ~てからというもの

II・1 ~てはじめて

●「～する前はそうではなかったが、～した後、それが理由になってやっとその状態になる」と言いたい時に使う。

- ①入院してはじめて健康のありがたさがわかりました。
- ②スポーツは自分でやってみてはじめてそのおもしろさがわかるのです。
- ③大きな仕事は十分な準備があつてはじめて成功するのだ。

II・2 ~上で・～上の【～してから】

●「～をした後で、それに基づいて次の動作をする」と言いたい時に使う。

- ①詳しいことはお目にかかった上で、説明いたします。
- ②「申込書の書き方をよく読んで上で、記入してください。」
- ③どの大学を受験するか、両親との相談の上で、決めます。
- ④これは一晩考えた上の決心だから、気持ちが変わることはない。

動詞の～た形・する動詞の名詞+の + 上で

II・3 ～て以来【～してから、ずっと】

●「ある動作の後、ある状態がずっと続いている」と言いたい時に使う。

- ①大学を卒業して以来、中山さんには一度も会っていません。
- ②一人暮らしを始めて以来、ずっと外食が続いている。
- ③あの画家の絵を見て以来、あの画家にすっかり夢中になっています。

☞ ×退院して以来、旅行に行きました。
後には一回限りのことを表す文は来ない。
○退院して以来、家で静かに暮らしています。

II・4 ～てからでないと・～てからでなければ【～した後でなければ】

●「～した後でなければだめだから、前もって～することが必要だ」と言いたい時に使う。

- ①野菜を生で食べるなら、よく洗ってからでないと、農薬が心配だ。
- ②木村教授には前もって電話してからでないと、お会いできないかもしれません。
- ③そのことについては、よく調査してからでなければ、責任ある説明はできない。

☞ 後には困難や不可能の意味の文が来る。

II・5 ～うちに・～ないうちに

●「～と反対の状態になったら実現が難しいから、そうなる前に」と言いたい時。

- ①独身のうちに、いろいろなことをやってみたいです。
- ②「若いうちに勉強しなかったら、いったいいつ勉強するんですか。」
- ③体が丈夫なうちに、一度富士山に登ってみたい。
- ④「タンさんは3月に国へ帰るそうだよ。」
「本当？ 東京にいるうちにぜひ一緒に食事をしようって言ってたんだ。」
- ⑤スープに生クリームを加えたら、沸騰しないうちに火からおろす。(料理の本から)

㊦ 連体修飾型 (現在形だけ) +うちに

→ 4課7「～うちに」

II・6 ～に先立って・～に先立つ【～の前に準備として】



- ① 出発に先立って、大きい荷物は全部送っておきました。
- ② 計画実行に先立って、周りの人たちの許可を求める必要がある。
- ③ 首相がA国を訪問するに先立って両国の政府関係者が打ち合わせを行った。
- ④ 移転に先立つ調査に、時間もお金もかかってしまった。

☞ 「～」には大きな仕事などを表す言葉が来る。

🔗 動詞の辞書形 / する動詞の名詞 + に先立って

II・7 ～てからというもの【～してから、ずっと】

- ① たばこをやめてからというもの、食欲が出て体の調子がとてもいい。
- ② あの本を読んでからというもの、どう生きるべきかについて考えない日はない。
- ③ 円高の問題は深刻だ。今年になってからというもの、円高傾向は進む一方だ。

☞ 「～」が後の状態の契機になっている場合が多い。話す人の心情がこもっている。



練習

5 時間的同时性・時間的前後関係

□の中から適当なものを選んで () の言葉と一緒に使い、前の文と後の文をつなげなさい。

- a 次第 b たとたん c 上で d て以来
e そばから f てからでないと

(立ち上がる)

1 いすから _____ いすが倒れた。

(相談する)

- 2 おや せんばい 親や先輩とよく _____ 進路を決めます。
(卒業する)
- 3 大学を _____ 一度もあの人に会っていない。
(片づける)
- 4 _____ あの子は部屋をちらかす。
(やむ)
- 5 雨が _____ 出かけましょう。
(考える)
- 6 よく _____ 行くか行かないか決められない。

a に先立って b うちに c てはじめて
d かと思うと e てからというもの

- 7 _____ 召し上がってください。
(工事開始)
- 8 _____ 近所にあいさつをする必要がある。
(着く)
- 9 彼は家に _____ 玄関に倒れてしまった。
(入院する)
- 10 _____ 看護婦の仕事の大変さがわかった。
(入院する)
- 11 病院に _____ 世間のできごとがまったくわからない。

ものごとがある方向に向かって進行している、または、一方が変化すると、それに応じて他方も変化する、と言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ほど b 一方だ c につれて d にしたがって e つつある

- 1 学校で習った英語は、その後全然使わないので忘れる_____。
- 2 これは消防士の命を支える綱なのだから、丈夫なら丈夫な_____いい。
- 3 図書館の利用者が増える_____、本の数をもっと増やそうと思っている。
- 4 手術の後、日がたつ_____、体力も回復してきた。
- 5 都会人が失い_____もの、それは昔の人が衣食住に感じた季節感ではないだろうか。



使えますか

- 1 カードで買い物をすると、

{	a 結局は借金が増えるばかりだ。
	b いい物が増えるばかりだ。
- 2

a 試験の日になるにしたがって、	}	だんだん心配になってきた。
b 試験の日が近づくにしたがって、		
- 3


{	a 桜のつぼみもふくらんできた。
	b 桜の花を見に行こう。
- 4 この本は始めは難しいが、読み進むにしたがって、

{	a おもしろい。
	b おもしろくなってくる。
- 5

a 課長になればなるほど、	}	責任が増す。
b 社会的地位が上がれば上がるほど、		

答は次のページにあります。

I 進行 しん こう ものがとがある方向ほうこう むに向かって進行していると言いたい時



 2級 いっぽう


- 1 ~一方だ
- 2 ~ばかりだ
- 3 ~つつある

I・1 ~一方だ【ますます~していく】

● 「~」の方向にだけ変化が進んでいることを表す。

- ① 2週間前に入院した母の病状は悪くなる一方で、心配です。
- ② 家賃の高さ、物価の上昇、公害など、東京は住みにくくなる一方だ。
- ③ 事業に失敗して希望を失い、川口さんの生活は荒れていく一方だった。


 変化を表す動詞と接続する。2「~ばかりだ」のを参照。

 動詞の辞書形 + 一方だ

I・2 ~ばかりだ【ますます~していく】

● 悪い方向にだけ変化が進んでいることを表す。

- ① 父は年をとってから気難しくなるばかりで、この頃は誰も寄りつこうとしない。
- ② 選挙の時の意見の対立が原因で、党内の二つのグループの関係は悪化するばかりだ。
- ③ この頃の委員長の行動はよいとは言えない。彼への不信任は増すばかりだ。

 ×この頃、雨が降る一方です。
×遠い外国にいて帰国したい気持ちをもつばかりだった。

! 「~一方だ」と同じように、変化を表す動詞と接続する。


- この頃、寒くなる一方です。
- 遠い外国にいて故郷を思う気持ちは増すばかりだった。




1 b 2 a 3 d 4 c 5 e




1 a 2 b 3 a 4 b 5 b


 動詞の辞書形 +ばかりだ


 I・3 ~つつある【今ちょうど~している】



- ①休みが増え、社員食堂ができ、職場環境は改善されつつある。
- ②この国の経済も最近では安定しつつあるが、国民の生活の向上にはまだまだ時間がかかりそうだ。
- ③わたしはホテルの窓から山の向こうに沈みつつある夕日を眺めながら、一杯のコーヒーをゆっくり楽しんだ。


 動詞の(ます)形 +つつある

 II 相関関係

 一方が変化すると、それに応じて他方も変化すると言いたい時


- 1 ~ば~ほど・~なら~ほど・~ほど
- 2 ~につれて
- 3 ~にしたがって
- 4 ~に伴って
- 5 ~とともに


 II・1 ~ば~ほど・~なら~ほど・~ほど【~すれば~になり、もっと~すればもっと~になる】

- 「一方の程度が変われば、それと一緒に他方も変わる」と言いたい時の表現。

- ①就職試験のことは、考えれば考えるほど心配になってくる。
- ②お礼の手紙を出すのは早ければ早いほどいい。
- ③日常使う器具の操作は簡単なら簡単なほどいい。
- ④「アパートを探しています。駅に近いほどいいんですが、どこかありませんか。」
- ⑤優れた営業マンほど客の声に耳を傾け、外の人批判にも謙虚になれるものだ。

☞ ④⑤のように「~ば」や「~なら」を省略した文もある。



II・2 ～につれて【～すると、だんだん】

●「一方の程度が変化すれば、そのことが理由となって、他方も変化する」という意味。

- ①時間がたつにつれて、印象も次第に薄れていくから、今のうちに書いておこう。
- ②震災の被害状況についての調査が進むにつれ、被害の深刻さが次第に明らかになってきた。
- ③温度が上がるにつれて、水の分子の動きが活発になってくる。
- ④日本語の上達につれて、友達が増え、日本での生活が楽しくなってきた。

☞ 1 前の文にも後の文にも変化を表す言葉が来る。このことは、3「～にしたがって」、4「～に伴って」、5「～とともに」も同じ。

☞ 2 ×二十歳になるにつれて、将来の志望を決めた。

1回だけの変化には使えない。これはIIの項目に共通の注意。

○二十歳に近づくにつれて、将来の志望がはっきりしてきた。

☞ 3 「～につれて」の後には話す人の意向を表す文（「～するつもり」など）や働きかけの文（「～ましょう」など）は来ない。

🔗 動詞の辞書形 / する動詞の名詞 + につれて



II・3 ～にしたがって【～すると、次第に】



- ①警察の調べが進むにしたがって、次々と新しい疑問点が出てきた。
- ②今後、通勤客が増えるにしたがって、バスの本数を増やしていこうと思っている。
- ③物価の上昇にしたがい、リサイクル運動への関心が高まってきた。

☞ 1 2「～につれて」の☞1と☞2を参照。

☞ 2 「～にしたがって」、4「～に伴って」、5「～とともに」は後の文に話す人の意向を表す表現が来ることもある。

🔗 動詞の辞書形 / する動詞の名詞 + にしたがって



II・4 ～に伴って【～すると、それと一緒にだんだん】



- ①彼は成長するに伴って、だんだん無口になってきた。

- ②問題解決の能力は、経験を重ねるに伴って、だんだんに身についてくる。
- ③病気の回復に伴って、少しずつ働く時間を伸ばしていくつもりだ。
- ④社会の情報化に伴い、特に重要性を増してきたのが数学的な考え方である。

☞ 2「~につれて」の☞1、☞2と3「~にしたがって」の☞2を参照。

☞ 動詞の辞書形/名詞 + に伴って

II・5 ~とともに【~すると、それと一緒にだんだん】

- ①陽射しが強まり、気温が高くなるとともに次々と花が開き始める。
- ②この国では内戦の拡大とともに、人々の生活の安定は次第に失われていった。
- ③秋の深まりとともに今年も柿がおいしくなってきた。

☞ 2「~につれて」の☞1、☞2と3「~にしたがって」の☞2を参照。

☞ 動詞の辞書形/名詞 + とともに



6 進行・相関関係

A どちらの使い方が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。

- 1 寒くなってきたので、
 { a 遅刻する学生がいる一方だ。
 b 遅刻する学生が増える一方だ。
- 2 a この頃、成績がよくなるばかりなので、わたしはうれしいです。
 b この頃、成績が悪くなるばかりなので、わたしは心配です。
- 3 a A社との共同プロジェクトは順調に進行しつつあります。皆さん、ご期待ください。
 b 食事の準備ができつつあるから、もうちょっと待ってね。
- 4 日本にいる期間が長くなればなるほど、
 { a 日本のことがわからなくなる。
 b 日本のことがわからない。

5 寒くなるにつれて、
a エアコンの温度設定をだんだん高くしよう。
b ブーツの売り上げが伸びてきた。

6 女性の社会進出に伴って、
a 日本でも離婚が増えてきた。
b 日本でも離婚がある。

7 a 学生数が増えるにしたがって、
b 学生数が増えるにつれて、
} 学生食堂のスペースを広げるつもりだ。

B 中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの場合は1回しか使えません。

a につれて b ほど c にしたがって
d つつある e ばかり f 一方

わたしは今、大学院の2年生です。専攻は「コンピューターによる画像処理」です。どんな勉強をしているのか、家族に説明するのですが、みんな、難しく聞けば聞く1 _____ わからなくなると言います。社会の情報化が進む2 _____、重要性を増してきた分野で、いろいろな方面で注目され3 _____ ですよ。専攻を希望する学生も増える4 _____ で、教授も喜んでいらっしゃいます。教授は、卒業生が増える5 _____、将来の就職先をどんどん新しく開拓するつもりだ、とおっしゃっています。わたしも実験が多くて、家へ帰る時間が遅くなる6 _____ ですが、充実した毎日です。

二つのことを一緒に、またはあることを伴わないで何かをすることを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ついでに b つつ c をこめて d ぬきで e ことなく

- 太郎は花子に心_____赤いバラの花を贈った。
- 一日にあったことを考え_____、夜、散歩するのが習慣になっている。
- 森氏は女性問題について特に深く考える_____、軽い気持ちで言ったのだ。
- 彼らはこの問題について、食事_____5時間も話し合っている。
- 出張でアメリカに行った_____、ボストンの美術館にも寄ってみた。



使えますか

- a 神田まで行ったついでに、古本屋を2、3軒見て来た。

b 医者として病院に勤めるついでに、漫画家としても活躍している。
- a 先生のお宅へ伺いつつ、ごあいさつをした。

b 彼は山道を登りつつ、人生について考えた。
- a さあ、硬いあいさつはぬきにして、大いに飲みましょう。

b 日曜日はぬきにして、わたしは毎日アルバイトをしている。
- a 花子はいつもは砂糖を入れることなく、コーヒーを飲む。

b 花子は家族にも相談することなく、エジプトへの留学を決めた。
- a 今日はおしゃべりぬきの静かな授業だった。

b 3千円というのは消費税ぬきの値段です。

答は次のページにあります。

付帯・非付帯 二つのことを一緒に、またはあることを伴わないで何かをすることを言いたい時

2級	1級
1 ~ついでに	7 ~かたわら
2 ~つつ	8 ~がてら
3 ~をこめて	9 ~かたがた
4 ~ことなく	10 ~ながら・~ながらに・ ~ながらの
5 ~ぬきで・~ぬきに・~ぬきの	11 ~なしに・~ことなしに
6 ~をぬきにして・~はぬきにして	



1 ~ついでに【~する機会につけ加えて】

●「ものごとを行う機会をつかまえて、都合よく外のこともつけ加えて行う」と言いたい時の言い方。

- ① 上野の美術館に行ったついでに、久しぶりに公園を散歩した。
- ② 買い物のついでに、図書館に寄って本を借りてきた。
- ③ パリの国際会議に出席するついでに、パリ大学の森先生をお訪ねしてみたい。

👁️ 1 前の文は初めからの予定の行動で、後の文は予定以外の追加的な行動。

👁️ 2 ×帰宅のついでに、郵便局へ寄りました。

「機会をとらえて」という意味であるから、習慣的な行為で誰でも必ずしなければならぬようなことにはあまり使わない。

🔗 動詞の辞書形・~た形/する動詞の名詞+の +ついでに



2 ~つつ【~ながら】

- ① 汽車に揺られつつ、2時間ほどいい気持ちでうとうと眠った。
- ② 夜、仕事を終えて、ウイスキーを味わいつつ、気に入った推理小説を読むひととき



1 c 2 b 3 e 4 d 5 a



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

さいこう
は最高である。

- ③「この問題については、社員の皆さんと話し合いつつ解決を図っていきたくて考えております。」

☞ 「～ながら」と似ているが、「～ながら」より硬い表現。

「～つつ、～する」の場合、「つつ」の後の動作が主なもの。

🔗 動詞の(ます)形 +つつ

→18課3「～つつ・～つつも」

3 ～をこめて【～を含めて】

- ①先生、ありがとうございました。私たちの感謝をこめてこの文集を作りました。
- ②昔の子どもたちは遠足の前の日などに「あした、天気になりますように」と願いをこめて、てるてるぼうずという小さい人形を作り、窓の外につるした。
- ③あなたに、愛をこめてこの指輪を贈ります。

他例 心をこめて、祈りをこめて、願いをこめて、恨みをこめて、力をこめて

4 ～ことなく【～しないで】

- 「ふつうは～する、または～してしまうが、この場合は～しないで」という意味。

①敵に知られることなく、島に上陸するのは難しい。

②犯人は周囲の人々に怪しまれることなく、その家族に近づくことができた。

③彼は先生にも友達にも相談することなく、帰国してしまった。

☞ 日常的なこと、たとえば下のようなものにはあまり使わない。

・うっかりして、切手をはることなくポストに入れてしまった。

🔗 動詞の辞書形 +ことなく

→25課1・6「～ことなく」

5 ～ぬきで・～ぬきに・～ぬきの【～を入れないで】

- 「ふつうは含まれるもの、本来当然あるべきものを加えずに」と言いたい時。

①「今晚の会はアルコールぬきのパーティーなんですよ。」

「えっ、お酒なし？ アルコールぬきじゃつまらないね。」

②田中君の就職について、本人ぬきにいくら話し合っても意味がない。

③あのレストランの昼食は、税金・サービス料ぬきで2千円です。

👉 「名詞+ぬき」で名詞のように使う。

🔗 名詞 +ぬきで



6 ~をぬきにして・~はぬきにして【~を入れないで】

●「ふつうは含まれるもの、当然あるものを加えずに」と言いたい時の表現。

①交通機関についての問題は乗客の安全をぬきにして論じることができない。

②「今日は硬い話はぬきにして、気楽に楽しく飲みましょう。」

③政治の問題はぬきにして、とにかく集まろうということだった。

④「冗談はぬきにして、もっとまじめに考えてくださいよ。」

→20課5「~をぬきにしては」



7 ~かたわら【~一方で、別に】

●「あることをする一方で、並行して別のこともしている」と言う時の表現。

①川田さんは銀行員として勤めるかたわら、作曲家としても活躍している。

②市川氏は役所で働くかたわら、ボランティアとして外国人に日本語を教えている。

③あの人は大学院での勉強のかたわら、作家活動もしているそうです。

👉 1 「~かたわら」は「~ながら」に比べ、長い期間続いていることに使う。

職業や立場などを両立させている場合によく使われる。

👉 2 「~かたわら」の「~」には、その人が本来していることが来る。

🔗 動詞の辞書形/する動詞の名詞+の +かたわら



8 ~がてら【~を兼ねて】


●「一つのことをする時に、つけ加えて外のこともする」と言う時の言い方。


①「散歩がてら、ちょっと郵便局まで行ってきます。」

②買い物がてら、新宿へ行って展覧会ものぞいて来よう。

③駅まで30分ほどかかるが、天気の良い日は運動がてら歩くことにしている。

④桜が満開だから、少し遠回りして駅まで歩きがてらお花見をして行こう。

 「～がてら」は一つの行為が二つの目的をもつ。後には、歩く、行くなど移動に関係のある動詞がよく使われる。

 動詞の(ます)形/する動詞の名詞 +がてら



9 ～かたがた【～も同時にするつもりで】




●「二つの目的をもたせて、あることをする」と言う時の表現。


①最近ご無沙汰をしているので、卒業のあいさつかたがた保証人のうちを訪ねた。

②ご無沙汰のお詫びかたがた、近況報告に先生をお訪ねした。

③彼がけがをしたということを聞いたので、お見舞いかたがた、彼のうちを訪ねた。

 一つの行為に二つの目的をもたせる言い方。あらたまった場面やビジネス的な人間関係の場面でよく使われる。後には、訪問する、上京するなど移動に関係のある動詞がよく使われる。

他例 お祝いかたがた、お礼かたがた、ご報告かたがた

 する動詞の名詞 +かたがた





10 ～ながら・～ながらに・～ながらの【～のままの状態】

①戦火を逃れてきた人々は涙ながらにそれぞれの恐ろしい体験を語った。

②彼には生まれながら備わっている品格があった。

③10年ぶりに昔ながらの校舎や校庭を見て懐かしかった。

 慣用的な表現が多い。涙ながらに(涙を流して)、生まれながら(生まれつき)、昔ながらの(昔のままの)など。

 名詞 +ながら →18課1「～ながら」、18課11「～ながらも」



11 ～なしに・～ことなしに【～しないで】



●「ふつうは～する、または～してしまうが、この場合は～しないで」という意味。

①断りなしに人の部屋に入るな。

②彼女の話は涙なしには聞けない。

③血を流すことなしに、国を守る事ができるのか。

④なんとか母に気づかれることなしに、家を出ることができた。



7 付帯・非付帯

A の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を_____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|------|---|--------|---|------|
| a | かたがた | b | なしに | c | ついでに | d | はぬきにして | e | つつ |
| f | ことなく | g | がてら | h | ながらに | i | をこめて | j | かたわら |

- 太郎、買い物に行く_____、この手紙をポストに入れて来てくれないか。
 - きのう散歩_____、月1回のフリーマーケットを見て来た。
 - 中国残留孤児であった林さんは、涙_____苦しかった日々について語った。
 - 堅苦しいあいさつ_____、すぐに食事にしましょう。
 - 就職のご報告_____、先生のお宅に新年のごあいさつに行った。
 - 母は子どもたち3人のために、毎朝、心_____弁当を作ってくれたものだ。
 - 田中さんは大学で教える_____、小説を書いている。
 - 断り_____、この部屋のものを使っては困ります。
 - 講義を聞き_____、いつしか寝てしまい、目が覚めたら教室に誰もいなかった。
 - どんなに非難されても、彼はひとことの弁解もする_____黙って去って行った。
- B の中から適切な語を選んで、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|------|---|------|---|----|
| a | なしに | b | ぬきて | c | ついでに | d | かたわら | e | つつ |
|---|-----|---|-----|---|------|---|------|---|----|

- 1 上京する機会を利用して、上野公園の近くに住む叔母を訪ねてみよう。
()
- 2 太郎は親にも教師にも相談しないで、進路を決めてしまった。
()
- 3 一つのプロジェクトを進めながら、別の新しいプロジェクトを始めるのは大変だ。
()
- 4 給料は、保険料や税金を入れないで、約25万円です。
()
- 5 大川さんは高校に勤める一方で、別に塾で英語講師をしている。
()

じょうきょう じょうけん かぎ
状況や条件を限りたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a に限り b に限って c かぎり d かぎりでは e に限らず

- 1 わたしはクラシック音楽____、音楽なら何でも好きです。
- 2 あの人がそばにいてくれる____、わたしは安心していられる。
- 3 名簿で調べた____、そういう名前の人はこの学校にはいません。
- 4 65歳以上の人____、入場料は無料です。
- 5 うちの子____、そんな悪いことをするはずがない。



使えますか

- 1 わたしは { a とうふだけは好きになれない。
b とうふに限って好きになれない。
- 2 a わたしが疲れている時に限って } 部長に仕事を頼まれる。
b わたしが疲れているかぎりでは
- 3 あの人に限って、 { a いつもわたしに親切だ。
b そんなばかなことはしないと思う。
- 4 a 日本に着いた限り、 } 節約を心がけなければならない。
b 日本にいる限り、
- 5 わたしが知るかぎりでは、 { a そんな町に行きたい。
b そんな町はこの地方にはない。

答は次のページにあります。

限定 げん てい
じょうきょう じょうけん かぎ
 状況や条件を限定したい時



- 1 ~に限り かぎ
 2 ~に限って
 3 ~かぎり (は)
 4 ~かぎりでは



- 5 ただ~のみ
 6 ~ならでは
 7 ~をおいて



1 ~に限り【~だけは】

●「~だけ特別に~する」と言いたい時。

- ①この券けんをご持参じさんのお客きやくさまに限り、200円割引わりびきいたします。
 ②電話でんわ取りつぎは8時まで。ただし、急いそを要ようする場ばい合あいに限り、11時まで受け付うける。
 ③朝9時までにらいてんご来店の方かたに限り、コーヒこーひーのサービさーびスがあります。

🔗 名詞 めいし + に限り

→ 9 課 I・3 「~に限らず」



2 ~に限って【~の場合だけは】

●「~の時だけ、~だけは特に」と言いたい時。

- ①自信じしんがあるという人ひとに限って、あまりよくできていないようだ。
 ②ハイキングに行こうという日ひに限って雨あめが降ふる。わたしはいつも運うんが悪いなあ。
 ③あの先生せんせいに限ってそんな叱しかり方はしないと思う。
 ④あの人ひとに限ってみんなを裏切うらぎるなんてことはしないだろうと思っていたのに……。

🔗 1 「特別とくべつにその場この合あいだけ好よましくない状じょう況きやうになっなって不ふ満まんだ」と言いいたい時ときに使う。

(①②の例)


🔗 2 信しん頼らいや特とく別べつな期き待たいをもっもつて話わ題だいにし、「その人ひとだけだけは好よましくないことことはしなしないはずだ」と推すい量りやうする時ときに使う。(③④の例)




1 e 2 c 3 d 4 a 5 b




1 a 2 a 3 b 4 b 5 b

 3 ~かぎり (は) 【~の状態が続く間は】

- ①体が丈夫なかぎり、思いきり社会活動をした^{かつどう}いものだ。
- ②日本がこの憲法を守っているかぎりは、平和が維持されると考えていいだろうか。
- ③小川氏がこの学校の校長でいるかぎり、校則は変えられないだろう。
- ④「わたしの目の黒いかぎり、おまえに勝手なことはさせないぞ。」

 「~」にはその時の状態を表す言葉、後にも時間的に幅のある表現が来る。


 連体修飾 + かぎり(は) → 3課7 「~かぎり・~かぎりの」

 4 ~かぎりでは【~の範囲のことに限れば】

●ある判断をするための材料の範囲を限定する。


- ①この売り上げ状況のグラフを見るかぎりでは、わが社の製品の売れ行きは順調だ。
- ②ちょっと話したかぎりでは、彼はいつもとまったく変わらないように思えた。
- ③今回の調査のかぎりでは、この問題に関する外国の資料はあまりないようだ。

 動詞の辞書形・~た形 / 名詞+の + かぎりでは

 5 ただ~のみ【ただ~だけ】

- ①マラソン当日の天気、選手にとってはただそれのみが心配だ。
- ②この問題は先進諸国ではすでに解決済みで、ただ日本のみが大幅に立ち遅れていたのだ。
- ③ただ厳しいのみではいい教育とは言えない。
- ④今はもう過去を振り返るな。ただ前進あるのみ。

→ 9課I・5 「ただ~のみならず」

 6 ~ならでは【~でなければ~ない】

●「~以外では不可能だ、ただ~だけができる」と感心する言い方。

- ①この絵には子どもならでは表せない無邪気さがある。
- ②この祭りは京都ならではの光景です。
- ③これは芸術的才能のある山本さんならではの作品だと思います。

☞ 「～ならではの」の「の」は、見られない、できない、などの動詞の代わり。

🔊 名詞 +ならでは



7 ～をおいて【～以外に】



● 「～以外に外にない」と言いたい時。

- ①この仕事をやれる人はあなたをおいて外にいないと思います。
- ②こんないやなことを引き受ける人は彼をおいて誰もいない。
- ③海洋学を勉強するなら、入るべき大学はあの大学をおいて外にない。

☞ 「～をおいて～ない」の形で使う。

「それと比較できるものは外にない」と高く評価する時に使うことが多い。

🔊 名詞 +をおいて



8 限定

- A 中の言葉を使って、次の文を完成しなさい。一つの場合は I、II それぞれに 1 回ずつしか使えません。

a に限り b に限って c かぎりでは d のみ
e かぎりでは f ならでは g をおいて

- I わたしの知る 1 _____、ヤンさんはとても芸術的才能がある人だ。今度の個展でも、ヤンさん 2 _____ の作品を見せてくれると信じている。この個展では先着 30 名 3 _____、彼がかいた色紙をもらえることになっているから、友人にもすすめて

みようと思っている。

ヤンさんはわたしの^{こうはい}後輩だから、わたしが日本にいる4 _____ ヤンさんのお世話をしたいと思っているが、彼はなぜかわたしがお金がない時5 _____、お金を借りに来る。しかし、^{しょうらい}将来わたしの^{がろう}画廊を^{はってん}発展させてくれる人は、彼6 _____ 外にないと思っているので、わたしは彼との^{こうさい}交際を大切にしたい。

ヤンさんは今、ただ^{ぜんしん}前進ある7 _____ だ。将来が^{せいねん}楽しみな青年である。

II わたしが^{しら}調べた1 _____、わが国でこういう^{しゆじゆつ}手術ができる人は森先生2 _____ 外にいない。ただ森先生3 _____ がこの^{むづか}難しい手術ができるのだ。あきらめていた人に^{きぼう}希望を^{あた}与える手術は、^{うで}腕が^{こころ}よくて心がやさしい森先生4 _____ のものだ。

先生の手術は週に1回だけだが、^{よう}急を^{ばあい}要する場合5 _____、すぐに手術を始めることになっている。それで、先生はいつも^{きんちよう}緊張している。夕食後の^{すう}数時間だけが先生のリラックスタイムなのだが、そんな時6 _____、急に^{かんじゃ}患者さんが来る。森先生がわたしたちの病院にいる7 _____、わたしたちスタッフものんびりしてはいられない。

B の中から^{もっと}最も^{てきとう}適当な^{ことば}言葉を選んで、その^{きごう}記号を _____ の上に書きなさい。一つ
の言葉は1回しか使えません。

- a ノーベル^{しょう}賞をもらったO氏
- b ^{さいご}最後までがんばった人
- c 医学を勉強したことのあるK氏
- d ^{さい}70歳以上の人
- e 早く^{とうあん}答案を出す人

- 1 _____ に^{かぎ}限ってあまりよくできていないようだ。
- 2 ただ _____ のみが^{えいかん}栄冠を手にするのだ。
- 3 このテーマについて講演をする^{こうえん}適任者は _____ をおいてほかにいない。
- 4 _____ に限り、^{だいいちしんさつしつ}第一診察室で^{けんこうしんだん}健康診断を受けることができます。
- 5 この^{しょうせつ}小説は _____ ならではの^{さくひん}作品ですね。病気の^{しょうじよう}症状の^{びやうしゃ}描写が^{じつ}実にうまい。

それだけに限らない、外にもあると言いたい時や、それもあるし、その上、外にもあると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a はもとより b ばかりか c はもちろん d に限らず e に加えて

- 1 正子さんは性格が明るい____、人にとってもやさしいので人気がある。
- 2 東京____どこの大都市でもゴミ問題が深刻になっている。
- 3 授業に出席すること____、レポートをきちんと提出することも大切だ。
- 4 「今回のプロジェクトでは、スタッフ____、各方面からのご協力が得られたことを感謝しております。」
- 5 今、書いている報告書____次の仕事の計画書も書かなければならないことになった。



使えますか

- 1 a このレストランは味がいいうえに、安いので、いつも込んでいる。
b 食事を作ったうえに、部屋のそうじもしなさいよ。
- 2 この服は色がいいのみならず、
 { a デザインも新しい。
 b わたしが一番好きな服だ。
- 3 このバンドは若者に限らず、
 { a うちの母も好きだ。
 b 広い年齢層の人たちにも人気がある。
- 4 a 小川さんは専門の経済問題ばかりか、法律についても詳しい。
b 専門の経済問題ばかりか、法律も少し勉強しなさい。
- 5 手術の後は、
 { a おかゆはもちろん、ふつうのごはんも食べられない。
 b ふつうのごはんはもちろん、おかゆも食べられない。

答は次のページにあります。

I 非限定 ひ げん てい それだけにかぎ限らない、外にもあると言いたい時



- 1 ~ばかりでなく
- 2 ~ばかりか
- 3 ~に限らずかぎ
- 4 ~のみならず



- 5 ただ~だけでなく・
ただ~のみならず・
ひとり~だけでなく・
ひとり~のみならず
- 6 ~にとどまらず

I・1 ~ばかりでなく【~だけでなく】

● 「~だけでなく、はんい範囲はもっと大きく外にもおよ及ぶ」と言いたい時に使う。

- ① わたしたちは日本語ばかりでなく、英語や数学の授業も受けています。
- ② 「今日は頭あたまが痛いたいばかりでなく、吐はき気けもするし、少々熱しょうしょうねつもあるんです。」
- ③ テレビの見過ぎすは子どもの目を弱よわめるばかりでなく、自分で考える力を失うしなわせると言われている。
- ④ あの人は有名な学者がくしゃであるばかりでなく、環境問題かんきょうの活動家かつどうかでもある。
- ⑤ 会議かいぎでは森もりさんの仕事上じゆうのミスについてばかりでなく、彼の私生活かれ しせいかつの話まで出た。

めいし名詞 / れんたいしゅうじよくがた連体修飾型 (「名詞+の」の形はない) + ばかりでなく

I・2 ~ばかりか【~だけでなく】

● 「~だけでなく、その上にもっと程度ていどの重おもいことがらも加くわわる」という意味。

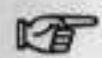

- ① いくら薬を飲んでも、かぜが治なおらないばかりか、もっと悪くなってきました。
- ② この頃彼は遅刻ちこくが多いばかりか、授業中じゅぎょうちゆうにいねむりすることさえあります。
- ③ 彼は仕事や財産ざいさんばかりか、家族まで捨すてて家を出てしまった。
- ④ あの人は仕事に熱心ねっしんであるばかりか、地域活動ちいきも積極的せっきよくてきにしている。



1 b 2 d 3 c 4 a 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 b

-  ×自分のことばかりか、他人のことも考えられる人間になりなさい。
 ×試験の前日ばかりか、ふだんもしっかり勉強しろ。
 「～ばかりか」の後には、命令、強制の文が来ることはほとんどない。
 ○自分のことばかりでなく、他人のことも考えられる人間になりなさい。
 ○試験の前日ばかりでなく、ふだんもしっかり勉強しろ。
-  1「～ばかりでなく」と同じ。

I・3 ～に限らず【～だけでなく】

●「～だけでなく、～が属するグループの中の全部に当てはまる」と言いたい時。

- ①日曜日に限らず、休みの日はいつでも、家族と運動をしに出かけます。
 ②男性に限らず女性も、新しい職業分野の可能性を広げようとしている。
 ③この家に限らず、このあたりの家はみんな庭の手入れがいい。


 名詞 + に限らず

→ 8課1「～に限り」

I・4 ～のみならず【～だけでなく】

●「～だけでなく、範囲はもっと大きく外にも及ぶ」と言いたい時に使う。

- ①山川さんは出張先でトラブルを起こしたのみならず、部長への報告も怠った。
 ②私立大学のみならず国立大学でも学費の値上げは避けられないようだ。
 ③この不景気では、中小企業のみならず大企業でも経費を削る必要がある。


 名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」） + のみならず

I・5 ただ～だけでなく・ただ～のみならず・ひとり～だけでなく・ひとり～のみならず【～だけでなく】

●「～だけでなく、範囲はもっと大きく外にも及ぶ」と言いたい時に使う。

- ①ただ東京都民だけでなく、全国民が今度の知事選に関心をもっている。
 ②会社の業績改善は、ただ営業部門のみならず、社員全体の努力にかかっている。
 ③今回の水不足はひとりA県だけでなく、わが国全体の問題である。
 ④学校の「いじめ」の問題は、ひとり当事者のみならず家庭や学校全体で解決していか

なければならない。

 日常会話の中では、「～だけでなく」、1「～ばかりでなく」、3「～に限らず」などを使う。「ひとり～のみならず」は特に書き言葉的。

→ 8 課 5 「ただ～のみ」



I・6 ～にとどまらず【～だけでなく】





● 「あることがらが、～という狭い範囲を越えて、より広い範囲に及ぶ」と言う時。

① 彼のテニスは単なる趣味にとどまらず、今やプロ級の腕前です。

② 田中教授の話は専門の話題だけにとどまらず、いろいろな分野にわたるので、いつもとても刺激的だ。

③ 学歴重視は子どもの生活から子どもらしさを奪うにとどまらず、社会全体を歪めるに至っている。

 「(ある話題)は、～にとどまらず、～だ」の形で使う。

 名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」) +にとどまらず

II 付加 ふか それもあるし、その上、外にもあると言いたい時



- 1 ～も～ば～も・～も～なら～も
- 2 ～うえ (に)
- 3 ～はもちろん
- 4 ～はもとより
- 5 ～に加えて



- 6 ～はおろか
- 7 ～もさることながら
- 8 ～と相まって



II・1 ～も～ば～も・～も～なら～も【～も～し～も】

● 前のことがらと同じ方向のことがらを加える (プラスとプラス、マイナスとマイナス)。何かを言いたい時の理由として提出される場合が多い。

① きのうの試験は問題も難しければ量も多かったので、苦労しました。

②あしたは数学の試験もあればレポートも提出しなければならぬので、今晚は寝られそうもない。

③あのメーカーの製品は値段も手頃なら、アフターケアもきちんとしているので、人気がある。

④今度の仕事は予算も不足なら、スタッフも足りないので、成功は望めそうもない。

☞ 同類のものや対立するものを並べて、両方あるという意味の言い方もある。

・りんごにはいろいろな種類がある。赤いのもあれば、黄色いのもある。

・楽もあれば苦もあるのが人生というものだ。

II・2 ～うえ（に）【～。それに】

●前のことがらと同じ方向のことがら（プラスとプラス、マイナスとマイナス）を「それに」という気持ちで加える。

①ゆうべは道に迷ったうえ、雨にも降られて大変でした。

②この機械は操作が簡単なうえに、小型で使いやすい。

③彼の話は長いうえに、要点がはっきりしないから、聞いている人は疲れる。

☞ 後に、命令、禁止、依頼、勧誘などの相手への働きかけの文は来ない。

🔗 連体修飾型 + うえ（に）

II・3 ～はもちろん【～は当然として】

●「～は当然として、言うまでもないことだが」という意味。

①復習はもちろん予習もしなければなりません。

②浅草という町は日曜、祭日はもちろん、ウィークデーもにぎやかだ。

③大都市ではもちろん、地方の小さな農村でも情報がすばやくキャッチできるようになってきた。

④山下さんは勉強についてはもちろんのこと、私生活の問題まで何でも相談できる先輩だ。

II・4 ～はもとより【～は当然として】

●「～は当然として、ほかのことからも加わる」という意味。



①体の弱^{よわ}い^{ぼく}が無^ぶ事^じに学校^{がく}を卒^{そつ}業^{ぎょう}できたのも^も両^{りょう}親^{しん}はもとより、いろいろな^{かたがた}方^{えん}々の^{えん}援^{えん}助^{じょ}があつたからです。

②数学^{すうがく}は、自然^{しぜん}科学^{かがく}や社会^{しやかい}科学^{かがく}はもとより^もど^どんな^な方^{ほう}面^{めん}に^{すす}進^{すす}む^む人^{ひと}にとつても^も重^{じゅう}要^{よう}だ。

③アジ^あア^あでは、日本^{にっぽん}はもとより、多^たく^くの^の国^{くに}が^がこの^{この}大^{たい}会^{かい}の^の成^{せい}果^かに^に期^き待^{たい}して^{いて}いる。

☞ 「～はもとより」は、3「～はもちろん」より書^{こと}き^ば言^{てき}言^き葉^げ的^{てき}な^な言^{げん}い^{げん}方^{ぽう}。

II・5 ～に加えて

● 「今まであつたものに類^{るい}似^じの^の別^{べつ}の^の物^{ぶつ}が^が加^{くわ}わ^わる」と言^いいた^いい^い時^{とき}に^に使^{つか}う。

①台^{たい}風^{ふう}が^が近^{ちか}づ^くに^につ^つれ、大^{たい}雨^うに^に加^{くわ}え^えて^て風^{かぜ}も^も強^かく^くな^なつ^つて^てき^きた。

②今^{こん}学^{がく}期^きか^から^ら日^{にっ}本^{ぽん}語^ごの^の授^{じゅ}業^{ぎょう}に^に加^{くわ}え^えて、英^{えい}語^ごと^と数^{すう}学^{がく}の^の授^{じゅ}業^{ぎょう}も^も始^しま^まり^りま^ます。

③今^{こん}年^{ねん}か^から^ら家^かの^のロ^ろー^ーン^んに^に加^{くわ}え^えて、子^こど^ども^もの^の学^{がく}費^ひを^を払^{はら}わ^わな^なけ^けれ^れば^ばな^なら^らな^ない^いの^ので、大^{たい}変^{へん}だ。

🔗 名^{めい}詞^し + 加^{くわ}え^えて

II・6 ～はおろか【～はふつうとしても】

● 「～は当^{とう}然^{ぜん}と^として、後^ごの^のこ^こと^とが^がら^らも」とい^いう^う意^い味^み。

①わ^わた^たし^しの^のう^うち^ちに^には^はビ^びデ^でオ^おは^はお^おろ^ろか^かテ^てレ^れビ^びも^もな^ない。

②今^{こん}度^どの^の天^{てん}災^{さい}の^のた^ため^めに、家^か財^{ざい}は^はお^おろ^ろか^か家^かま^まで^で失^うし^なな^なつ^つて^てし^しま^まつ^つた。

③こ^この^の地^ち球^{きゅう}上^{じょう}に^には、電^{でん}気^き、ガ^がス^すは^はお^おろ^ろか^か、水^{すい}道^{どう}さ^さえ^えな^ない^い生^{せい}活^{かつ}を^をし^して^てい^いる^る人^{ひと}々^々が^がま^まだ^だま^まだ^だた^たく^くさ^さん^んい^いる。

④木^き村^{むら}さん^{さん}は^は会^{かい}計^{けい}学^{がく}に^につ^ついて^{いて}は^はお^おろ^ろか^か、法^{ほう}律^{りつ}一^{いつ}般^{ぱん}の^の知^ち識^{しき}も^もな^ない^いら^らしい。

☞ 1 「も、さ^さえ、ま^まで」な^など^どの^の強^{きょう}調^{ちょう}の^の語^ごと^と一^{いっ}緒^{しょ}に^に使^{つか}つ^つて、話^わす^す人^{ひと}の^の驚^{おどろ}き^きや^や不^ふ満^{まん}の^の気^き持^{もち}を^を表^{あらわ}す。

☞ 2 相^あ手^てへ^への^の働^{はたら}き^きか^かけ^け (命^{めい}令^{れい}、禁^{きん}止^し、依^い頼^{らい}、勧^{かん}誘^{ゆう}な^など) の^の文^{ぶん}に^には^は使^{つか}わ^わな^ない。

II・7 ～もさることながら【～も無視できないが】

● 「～も無^む視^しで^でき^きな^ない^いが、後^ごの^のこ^こと^とが^がら^らも」とい^いう^う時^{とき}に^に使^{つか}う。

①子^こど^ども^もの^の心^{こころ}を^を傷^{きず}つ^つける^{ける}要^{よう}因^{いん}と^として、「い^いじ^じめ」の^の問^{もん}題^{だい}も^もさ^さる^るこ^こと^とな^なが^がら、不^ふ安^{あん}定^{てい}な^な社^{しゃ}

会そのものの影響も無視できない。

②あの作家の作品は、若い頃の作品もさることながら、老年期に入ってからのものも実にすばらしい。

③最近、世界の政治や宗教の問題もさることながら、人権問題も多くの人の注目を集めている。



II・8 ～と相まって【～と影響し合って】



●「あることさらに、～という別のことがら^{くわ}が加わって、よりいっそうの^{こうか}効果を生む」という意味。

①彼の才能は人一倍の努力と相まって、みごとに花を咲かせた。

②彼の厳しい性格は、社会的に受け入れられなかった不満と相まって、ますますその度を増していった。

③日本の山の多い地形が、島国という環境と相まって、日本人の性格を形成しているのかもしれない。

名詞 + と相まって



9 非限定・付加

A どちらの使い方が適切ですか。いい方に○をつけなさい。

1 最近の若者は女性 { a はもとより、 } 男性もファッションに興味をもっているよ
b と相まって、
うです。

2 テレビゲームのし過ぎは子どもの視力を弱める { a もさることながら、 } 子ども
b にとどまらず、
の基礎体力まで低下させているということだ。

3 「このりんご、おいしい！ あまい { a のみならず、 } 酸味もちょうどいいわ。」
b だけでなく、

4 今年^{しんねん}は家^{いへ}の新築^{しんちく} { a に^{くわ}加えて } 姉^{あね}の結婚式^{けっこんしき}もあるので忙^{いそが}しくなりそうだ。
b に^{かぎ}限らず、

B 次の文^{つぎ}を完成^{かんせい}させるものとして、どちらが適切^{てきせつ}ですか。○をつけなさい。

1 この本^{ほん}は内容^{ないよう}が難^{むづか}しいうえに、 { a 字^{あざ}が大きいので案外^{あんがい}読みやすい。
b 翻訳^{ほんやく}がよくないので読みにくい。

2 復習^{ふくしゅう}ばかりか、 { a 予習^{よしゅう}もしなければならぬので毎日忙^{いそが}しい。
b 予習^{よしゅう}もしなさい。

3 「このかばん、いいでしょう。 { a ひとり値段^{ねだん}だけでなく、便利^{べんり}さも気^きに入^いっているのよ。」
b 値段^{ねだん}はもちろん便利^{べんり}さも気^きに入^いっているのよ。」

4 うちの子^こは親^{おや}の手伝い^{てつだい}はおろか、 { a 自分の部屋^{へや}のそうじもするんです。
b 自分の部屋^{へや}のそうじもしないんです。

5 この電車^{でんしゃ}は昼^{ひる}の時間帯^{じかんたい}はもとより、 { a ラッシュアワーの間^まもそんなに込^こまない。
b ラッシュアワーの間^まも込む。

C □の中の言葉^{ことば}を使って文^{ぶん}を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉^{ことば}は1回^{かい}しか使^{つか}えません。

a もとより b 相^{あい}まって c とどまらず
d さることながら e のみならず f 限^{かぎ}らず

最近^{さいきん}のサッカーの人気^{にんき}はすごい。古^{ふる}くからのファンは1 _____、ふつうのスポーツファンの人^{ひと}気^きも集^{あつ}めている。特に人^{ひと}気^きのあるチームの試合^{しあい}となると、ファンの人^{ひと}気^きはただのスポーツの試合^{しあい}の応援^{おうえん}に2 _____、まるでお祭り騒^{さわ}ぎだ。サッカーがこのように盛^{さか}んになったのは、ファンの人^{ひと}気^きな応援^{おうえん}も3 _____、地元^{じもと}に根^ねをおろしたプロのチームを作^{つく}ろうという関係者^{かんけいしゃ}の努力^{どりょく}が実^みを結^{むす}んだのだらう。

先月^{さきがつ}のサッカー大会^{たいかい}でも、主催者^{しゅさいしゃ}の組織力^{そしきりょく}が、晴天^{せいてん}続きという好条件^{こうじょうけん}と4 _____大会^{たいかい}に大成功^{だいせいこう}をもたらした。しかし、関係者^{かんけいしゃ}も選手^{せんしゅ}もこの人^{ひと}気^きに安^{やす}心^{しん}してはいけない。サッカーに5 _____プロのスポーツというものは、ファンがいるからこそのものである。

これからも選手たちにおもしろく、見る者に感動を与えるような試合を見せてほしいと
いうのが、ひとり熱狂的なファン6 _____ 一般のサッカーファンの願いだろう。

二つ以上のものを比べたり、あるものが一番だと言ったり、二つ以上のものを対立させて考えたりしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a どころか b に限る c に反して d 一方で e かわりに
- 1 疲れた時は、温かいお風呂に入って寝る_____。
 - 2 今日は雨が降っていたので、いつもの散歩の_____、部屋でダンベル体操をした。
 - 3 今年の夏は冷夏という予報だったが、冷夏_____記録的な暑い夏になってしまった。
 - 4 父は弟を医者にしたかったらしいが、弟はその期待_____スポーツの世界に入ってしまった。
 - 5 田村課長は仕事には厳しかった_____、部下の面倒はよく見た。





使えますか

- 1 今度の旅行に行こうか行くまいか、
 - a 早く決めてください。
 - b 迷っています。
- 2 会社勤めは時間にしばられる反面、
 - a 生活の安定というよさがある。
 - b 自由業には自由がある。
- 3 駅員「横浜へ行くには一番線の特急に
 - a 乗るに限ります。」
 - b 乗るのが一番早いです。」
- 4 東京に対して
 - a 京都の方がもっと古い町だ。
 - b 京都は高層ビルが少ない。
- 5 妹に比べて
 - a 姉は留学したことがある。
 - b 姉は英語が得意だ。

答は次のページにあります。

I 比較・最上級 ひ かく さい じょう きゅう 二つ以上のものを比べたり、あるものが一番だと言ったりしたい時

 2級	 1級
1 ~に比べて 2 ~ほど~はない・ ~くらい~はない 3 ~に限る	4 ~にもまして

I・1 ~に比べて

●二つ以上のものを並べて、ある点について比較する。


- ①本が好きな兄に比べて、弟は活動的で、スポーツが得意だ。
- ②今年^{さくねん}は昨年^{さくねん}に比べて、米の出来がいいようだ。
- ③女性^{じょせい}は男性^{だんせい}に比べ、平均寿命^{へいきんじゅみょう}が長い。

 名詞 + に比べて

I・2 ~ほど~はない・~くらい~はない【~は最高に~だ】

●話す人が主観的に「~は最高に~だ」と感じ、強調して言う時に使う。

- ①「暑いねえ。」
「まったく今年の夏ほど暑い夏はないね。」
- ②彼^{かれ}ぐらいわがま^まなやつ^{やつ}はいない。
- ③困^{こま}っている時、思いやりのある友人^{ゆうじん}の言葉^{ことば}ほどうれしいものはない。
- ④夕食^{ゆうしょくご}後、好きな音楽^{おんがく}を聴きながら、本^{ほん}を読む^{よむ}くらい楽しいことはない。

 ×富士山^{ふじさん}ほど高い山はない。
客観^{きゃっかんてき}的な事実^{じじつ}については使わない。



1 b 2 e 3 a 4 c 5 d



1 b 2 a 3 b 4 b 5 b

○富士山は日本で一番高い山だ。

名詞／連体修飾型 +ほど(くらい)～はない



I・3 ～に限る【～が一番いい】

●話す人が主観的に「～が一番いい」と思って、そう主張する時に使う。

①一日の仕事を終えた後は、冷えたビールに限ります。

②自分が悪いと思ったら、素直に謝ってしまうに限る。

③子どもの育て方で問題を抱えている時は、育児書に頼ったり一人で悩んだりしないで、とにかく経験者の意見を聞いてみるに限る。

④太りたくなければ、とにかくカロリーの高いものを食べないに限る。

✋ ×医者「この病気を治すには、手術に限りますよ。」

客観的な判断を言う時は使わない。

動詞の辞書形・～ない形／名詞 +に限る



I・4 ～にもまして【～以上に】

●「～も～だが、それ以上に～だ」と言いたい時に使う。

①私自身の結婚問題にもまして気がかりなのは姉の離婚問題です。

②ゴミ問題は何にもまして急を要する問題だ。

③きのう友達が結婚するという手紙が来たが、それにもましてうれしかったのは彼女の病気がすっかり治ったということだった。

共起 疑問詞+にもまして

名詞 +にもまして

II 対比 たいひ 二つ以上のものを対立させて考える時 たいりつ



- 1 ~う (よう) か~まいか
- 2 ~どころか
- 3 ~一方 (で) いっぽう
- 4 ~に対して たい
- 5 ~に反して・~に反する・
~に反した はん
- 6 ~反面・~半面 はんめん はんめん
- 7 ~というより
- 8 ~かわりに
- 9 ~にかわって



- 10 ~ないまでも
- 11 ~にひきかえ

II・1 ~う (よう) か~まいか【~をしようか、するのはやめようか】

●どちらがいかと迷ったり、考えたりする時に使う。

①朝出かけるとき、かさを持って行こうか行くまいかと迷うのはいつものことだ。

②九月に大切な試験があるので、夏休みに国へ帰ろうか帰るまいか、考えています。

③知事は博覧会の開催を中止しようかするまいか、最後の決断を迫られていた。

🔗 動詞の辞書形 (動詞II・IIIは「(ない) 形+まいか」もある。「する」は「すまい」もある) +まいか →21課8「~う (よう) が~まいか」

II・2 ~どころか A【~はもちろん、もっと程度の重い (軽い) ~も】

①この製品はアジア諸国どころか遠い南米やアフリカにまで輸出されている。

②うちの父はお酒はまったくだめで、ウイスキーどころかビールも飲めない。

③隣の部屋に住む人は出会っても話をするどころか、あいさつもしない。

~どころか B【~なんてとんでもない、じじつ 事実は~だ】

●「～を^{かんぜん}完全に^{ひてい}否定して、^{じじつ}事実はその^{せいはんたい}正反対だ」と言いたい時に使う。

①タクシーで行ったら道が^こ込んでいて、早く着くどころかかえって30分も^{ちこく}遅刻してしま
った。

②休日に子ども^づ連れて^{ゆうえんち}遊園地に出かけるのは、楽しいどころか^{くる}苦しみ半分だ。

③「先日お貸^かした本、どうでしたか。^{たいくつ}退屈だったんじゃないありませんか。」

「退屈どころか^ね寝るの^{わす}も忘れて読んでしまいましたよ。」

👉 「～どころか」は「～どころではなく」の言い方もある。

🔗 名詞/連体修飾型 (「名詞+の」の^{かたち}形はない) +どころか

🎁 II・3 ～一方(で)

●あることがらについて二つの^{めん}面を^{たいひ}対比して^{しめ}示す。

①いい親は^{おや}厳しく^{きび}叱る一方^{しか}で、ほめることも忘れない。

②一人暮らしは^ぐ寂しさを^{さび}感じる^{かん}ことが多い一方、^{きらく}気楽だというよさもある。

③この出版社は^{しゅっぱんしゃ}大衆向けの^{たいしゅうむ}雑誌を^{ざっし}発行する一方^{はっこう}で、^{しよ}研究書も多く出版している。

④わたしの家では兄が父の会社を^{てつだ}手伝う一方、姉がうちで母の店を手伝っている。

🔗 連体修飾型 +一方(で)

🎁 II・4 ～に対して

●あることがらについて二つの^{じょうきょう}状況を対比するときを使う。

①日本人の^{へいじんじゅみょう}平均寿命は、^{だんせい}男性78歳(であるの)に対して、^{じよせい}女性83歳です。

②日本海側では、冬、^{ゆき}雪が多いのに対して、^{たいへいようがわ}太平洋側では^は晴れの^{つづ}日が続く。

③日本では大学に入ることに対して出るとはそんなに^{むづか}難しくないとされている。

🔗 名詞/連体修飾型 (名詞は「である型」。「名詞+な」の形もある)+の +に対して

🎁 II・5 ～に反して・～に反する・～に反した【～に逆らって/～とは反対に】

①^{よそう}予想に反して試験はとてもやさしかったです。

②親の^{きたい}期待に反し、^{けっきょく}結局、彼は大学さえ^{そつぎょう}卒業しなかった。

③今回の選挙は、多くの人の予想に反する結果に終わった。

☞ 「～」には、予想、期待、命令、意図などの言葉が来ることが多い。

④ 名詞 + に反して

II・6 ～反面・～半面【一面では～と考えられるが、別の面から見ると】

●あることについて二つの反対の傾向や性質を言う時の言い方。

①彼女はいつもは明るい反面、寂しがりやでもあります。

②郊外に住むのは、通勤には不便な半面、身近に自然があるというよさもある。

③科学の発達は人間の生活を便利で豊かにする反面、環境を汚し、素朴な人間らしさを失わせることになるのではないか。

④ 連体修飾型 + 反面

II・7 ～というより

●あることについて評価するとき、「～というより、(言葉を変えて)～と言った方が当たっている」と言いたい時に使う。

①コンピューターゲームは子どものおもちゃというより、今や大人向けの一大産業プロダクトとなっている。

②「この辺はにぎやかですね。」

「にぎやかというより、人通りや車の音でうるさいくらいなんです。」

③子ども「選挙で投票するというのは、国民の義務なんでしょう。」

父親「義務というよりむしろ権利なんだよ。」

④「やはり田中さんにあいさつに行った方がいいでしょうか。」

「というより、行かなければならないでしょうね。」

II・8 ～かわりに A【～しないで/～するのではなく】

●「ふつう、することをしないで別のことをする」という意味。

①雨が降ったのでテニスの練習をするかわりに、うちでテレビを見て過ごしました。

②手紙を出しに行くのに、自分で行くかわりに、弟を行かせた。

③新聞社は今年度は新聞料金を値上げするかわりに、ページ数を減らすと発表した。

🔗 動詞の辞書形／名詞＋の ＋かわりに

～かわりに B【～の代償として】

①この辺は買い物などに便利なかわりに、ちょっとうるさい。

②ジムさんに英語を教えてもらうかわりに、彼に日本語を教えてあげることにした。

③現代人は様々な生活の快適さを手に入れたかわりに、取り返しのつかないほど自然を破壊してしまったのではないか。

🔗 連体修飾型 ＋かわりに

🎁 II・9 ～にかわって【～ではなく】

●「いつもの～、通常の～ではなく」と言いたい時に使う。

①「木村先生は急用で学校へいらっしゃいません。それで今日は、木村先生にかわって私が授業をします。」

②「本日は社長にかわり、私、中川がごあいさつを申し上げます。」

③ふつうの電話にかわって、各家庭でテレビ電話が使われるようになる日もそう遠くないだろう。

🔗 名詞 ＋にかわって

🌻 II・10 ～ないまでも【～まではしないが／～まではできなくても】

●「～の程度には達しなくても、それより下の程度には達する」と言いたい時。

①「休みごとには帰らないまでも、1週間に1回ぐらいは電話をしたらどうですか。」

②選手にはなれないまでも、せめて趣味でスポーツを楽しみたい。

③給料は十分とは言えないまでも、これで親子4人がなんとか暮らしていけます。

④営業目標は100パーセント達成したとはいかないまでも、一応満足すべき結果だと言える。



II・11 ～にひきかえ【～とは反対に／～とは大きく変わって】

- ①ひどい米不足こめぶそくだった去年にひきかえ、今年こうねんは豊作ほうさくのようです。
- ②節約家せつやくかの父ちちにひきかえ、母ははは本当ほんとうに浪費家ろうひかだ。
- ③昔むかしの若者わかものがよく本ほんを読んだよみのにひきかえ、今いまの若者わかものは活字かつじはどうも苦手にがてのようだ。

☞ 4「～に対して」は、前のことと後のこととを、中間ちゅうかんてき的な立場たてまで冷静れいせいに對比たいひさせるが、「～にひきかえ」は、前のこととは「正反対せいはんたいに」とか「大きく変わって」というように主観しゅかんてき的な気持ちこころを込める時に使う。

🌀 名詞めいし／連体修飾型れんたいしゅうじょくがた（名詞は「である型」。「名詞+な」の形もある）+の +に
ひきかえ



10 比較・最上級・対比

- A 中の言葉ことばを使って、下線かせんの言葉ことばを言い換えかなさい。一つひとつの言葉ことばは1回かいしか使つかえません。

a に反はんして b くらい～はない c かわりに
d どころか e ないまでも f う（よう）か～まいか
g 反面はんめん h にかわって i にもまして j 一方いっぽうで

- 1 山川やまかわさんは忙しいいそが記者生活きしゃせいかつをおくっているが、家族かぞとの生活くわつも大切たいせつにしている。
()
- 2 病びょう気で期末試験きまつが受うけられなかったが、再試験さいを受うけなくて、レポートていしよつを提出ていしゅつすればいいとのことだった。
()
- 3 将来しやうらい、人間にんげんの代替だいたいとしてロボットが家事かじの一切いっさいをやってくれる日が来るだろうか。
()
- 4 「これ、バナナケーキなんです。お口あに合あわないんじゃないかと心配しんぱいなんです。」

「口に合わないなんてとんでもない、実は大好物なんですよ。」

()

5 両親の強い要望により彼は自分の希望とは反対に進路を変えなければならなかった。

()

6 ワープロ書きの手紙は一見きれいで読みやすいが、別の面から見るとあたたかみに欠けるのではないか。

()

7 リンさんに本当のことを言おうか言うのはやめようかと悩んでいる。

()

8 信頼していた友人に裏切られるのは最高につらいことだ。

()

9 看護婦になって1年。先輩たちはみんなとてもやさしいです。でも、それ以上にうれしいのは患者さんの「ありがとう」の一言です。

()

10 「夕食作りをするのは無理でも、せめて食器洗いぐらい手伝ってください。」

()

B 中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a どころか b 反面 c ほど d までも
e にもまして f に対して g というより

わたしは考古学1 _____ おもしろい学問はないと思っている。わたしにとって、考古学は学問2 _____ 趣味に近い。考古学者は図書館で古い文書に囲まれて過ごすことも多い3 _____、遺跡などを発掘するフィールドワークも多い。そのどちらもわたしに合っていると思うからだ。将来は大学で考古学を教えたいと思うが、この仕事は収入4 _____ 支出が意外に多いと聞いている。しかし、何5 _____ 心配なのは、果たしてわたしが今の仕事をやめて大学に入学できるかということだ。入学できなければ、大学の先生6 _____、高校や中学の教師になることさえできない。考古学科のある有名な大学とは言わない7 _____、せめて史学科のある大学に入りたい。

ものごとを判断する時の立場や評価する時の視点を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a にとって b として c の上で d わりには e にしては

- 1 彼はクラスの**班長**____、毎日がんばっています。
- 2 彼のやったことは**法律**____は、問題になることではない。
- 3 水は**生物**____なくてはならないものです。
- 4 「あの人はサッカーの**選手**だそうですよ。」
「そうですか。それ____体が弱そうですね。」
- 5 あの人は**年齢**の____若く見えます。



使えますか

- 1 a **議論**に時間をかけたわりには、
b **会議**のわりには、 } いい**結論**が出なかった。
- 2 正月はわたしにとって { a いつも楽しく**過**ごします。
b 一年中**一番**楽しい時です。
- 3 あの人は仕事の上では { a **満点**をあげられる人です。
b ときどき**いねむり**をします。
- 4 ここは**観光名所**にしては、 { a **訪**れる人が多い。
b 訪れる人が少ない。
- 5 **課長**はわたしを**外の課**に移したいらしい。
わたしにしても { a この課にはもう**いたくない**。
b この課を**移りたくない**。

I 判断の立場 はんだん たちば ものごとを判断する時の立場を言いたい時



- 1 ~にとって
- 2 ~として
- 3 ~の上で・~上じょう・~上じょうの
- 4 ~からいうと・~からいえば・
~からいつて
- 5 ~から見ると・~から見れば・
~から見て
- 6 ~からすると・~からすれば・
~からして
- 7 ~にしたら・~にすれば



- 8 ~なりに・~なりの



I・1 ~にとって【~の立場から考えると】

●「~の立場で考えると~だ」と言いたい時。

- ①現代人げんだいじんにとって、ごみをどう処理しょりするかは大きな問題です。
- ②これはありふれた絵えかもしれないが、わたしにとっては大切な思い出のものだ。
- ③石油せきゆは現代の工業こうぎょうにとってなくてはならない原料げんりょうである。
- ④車くるまはわたしにとって、作家さっかにとってのペンペンのようなものだ。

☞ 1 ある視点してんで見た場合ばあいの判断はんだんや評価ひやうかを述べる。

☞ 2 2「~として」の☞を参照さんしょう。

☞ ⑧ 名詞めいし + にとって



I・2 ~として【~の立場で/~の資格で/~の名目で】



1 b 2 c 3 a 4 e 5 d



1 a 2 b 3 a 4 b 5 a

- ①わたしは前に一度観光客として日本に来たことがある。
- ②わたしは卒業論文のテーマとして資源の再利用の問題を取り上げることにした。
- ③今回の事故につきましては、会社側としてもできるだけ補償をさせていただきます。
- ④古代ギリシャではじめて学問としての数学の歴史が始まった。
- ⑤この問題についてわたしとしては特に意見はありません。

☞ 「～にとって」と「～として」は立場を表している点ではよく似ている。しかし、「～にとって」の後の文は主として判断文（形容詞文）、「～として」の後の文は主として動作文が来るという違いがある。

- ・工場管理者にとって、工場内の事故は大きな責任問題です。
- ・工場管理者として、彼は今回の事故の責任をとって辞職した。

🔗 名詞 +として

I・3 ～の上で・～上・～上の【～の方面では／～を見て評価すると】

- ①この機械はみかけの上では使い方が難しそうですが、実際はとても簡単なのです。
- ②この会に参加するには、形式上面倒な手続きをとらなければならない。
- ③「お手元の決算報告書をごらんください。計算上のミスはないつもりですが。」

他例 表面上、法律上、習慣上、都合上、生活上、経済上、健康上、～の関係上
🔗 名詞 +の上で 名詞 +上 → 2課 I・2 「～上で」

I・4 ～からいうと・～からいえば・～からいって【～の立場から判断すると】

- ①仕事への意欲からいうと、田中さんより山下さんの方が上だが、能力からいうと、やはり田中さんの方が優れている。
- ②小林選手は、年齢からいえばもうとっくに引退してもいいはずだが、意欲、体力ともにまだまだ十分だ。
- ③リンさんの性格からいって、黙って会を欠席するはずがない。何か事故でもあったのではないだろうか。
- ④教師のわたしの立場からいっても、試験はあまり多くない方がいいのです。

🔗 名詞 +からいうと



I・5 ～から見ると・～から見れば・～から見て【～の立場から観察すると】

- ①外国人のわたしから見ると、日本人はいつもとても忙し^{いそが}がっているようです。
- ②来日当時の状態から見れば、彼はすばらしい成長^{せいちょう}をしたと言えるだろう。
- ③「保証人の山田さんから見て、ヤン君の最近^{さいきん}の言動^{げんどう}をどう思われますか。」
- ④彼に好意的な人から見ても、あの会での彼の発言^{はつげん}は許^{ゆる}せないだろう。

名詞 + から見ると



I・6 ～からすると・～からすれば・～からして【～の立場から考えると】

- ①米を作る農家からすると、涼しい夏はあまりありがたくないことだ。
- ②伝統的町並みを保存するという点からすれば、京都の家々の建て替えにある程度^{ていど}の制限^{せいげん}があるのはしかたのないことだろう。
- ③この頃びんや缶などの資源回収が盛ん^{さか}に行われている。これは資源の保護^{ほご}から見て望ましいことだが、生産者の側からしても有益^{ゆうえき}なことだと思う。

名詞 + からすると



I・7 ～にしたら・～にすれば【～の気持ちでは】

- ①住民側からは夜になっても工事の音がうるさいと文句が出たが、建築する側にしたら、少しでも早く工事を完成^{かんせい}させたいのである。
- ②姉にすればわたしにいろいろ不満^{ふまん}があるようだけれど、わたしにしても姉には言いたいことがある。
- ③わたしはこのアパートを出て、今度は学校の寮^{りょう}に入ることにしました。両親^{りょうしん}にしてもその方が安心でしょう。

名詞 + にしたら



I・8 ～なりに・～なりの【～の力の及ぶ範囲で】

- ①きのう彼が出した提案^{ていあん}について、わたしなりに少し考えてみた。

②あの子どもなりにいろいろ心配しているのだ。

③「あなたはあなたなりの意見をもっているでしょう。自分の意見を言いなさい。」

👁️ 「わたしなりに」の形ではよく使うが、目上の人についてはあまり使わない。

🔗 名詞 +なりに

II 評価の視点 ものごとを評価する時の視点を言いたい時



1 ~わりに(は)

2 ~にしては

3 ~向きに・~向きの・~向きだ



4 ~ともなると・~ともなれば

5 ~ともあろう

6 ~たる

7 ~まじき

II・1 ~わりに(は)【~こととは不釣り合いに】

●「~から考えて当然であると思われる程度に相当していない」と言いたい時。

①わたしの母は、年をとっているわりには意欲的です。

②きのうの講演会は、思ったわりには人が集まらなかった。

③このくつは値段が高いわりによく売れる。

④彼女は年齢のわりには若く見えます。

👁️ 2「~にしては」と意味、用法がよく似ているが、「~わりに(は)」は不釣り合いであることを問題にしていることが特徴的。「~」には程度を表す表現が来ることが多い。

🔗 連体修飾型 +わりに(は)

II・2 ~にしては【~にふさわしくなく】

●「~の事実から出てくる結果が~とは合わない」と言いたい時に使う。

①あの人は新入社員にしては、客の対応がうまい。

②彼は力士にしては体が小さめだが、毎日の努力と技術と天性の力で今日の優勝を

勝ち取ったのだ。

③この文は文学賞をとった彼が書いたにしては、活力がなく、おもしろさもない。

④このレポートは時間をかけて調査したにしては、詳しいデータが集まっていない。

👉 「～にしては」は外の人を批判したり評価したりする時の言い方。自分自身のことには使いにくい。

🔗 名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある）＋にしては

🎁 II・3 ～向きに・～向きの・～向きだ【～にちょうど合う】

①これはお年寄り向きにやわらかく煮た料理です。

②この店には子ども向きのかわいいデザインのものが多い。

③「この作家のエッセーを一度読んでごらん下さい。あなた向きだとわたしは思いますよ。」

🔗 名詞＋向きに

🌸 II・4 ～ともなると・～ともなれば【～という程度の立場になると】

①ふつうの社員は毎日きちんとタイムカードを押さなければならないが、社長ともなるといつ出勤しても退社してもかまわないのだらう。

②一国の首相ともなると、忙しくてゆっくり家族旅行などしてはいられないだらう。

③大学4年生ともなると、就職その他で大忙しだ。

④大学の教授ともなれば、自分の研究だけでなく後輩の指導もしなければならない。

👉 ×子どもともなると、外で遊びたがる。


×女の子ともなると、将来のことをいろいろ考えるようになる。

「～ともなると」の「も」は、ある幅をもった範囲のうち、程度がそこまで進んだことを表すから、「～」にはより程度が進んだことを示す名詞が来る。

○2、3歳の幼児はおとなしく家の中で遊ぶが、4、5歳の子どもともなると外で遊びたがる。

○中学生ともなると、将来のことをいろいろ考えるようになる。

🔗 名詞＋ともなると




II・5 ～ともあろう【～のような】

- ①大会社の社長ともあろう人が、軽率な発言をしてはいけない。
- ②「あなたともあろう人がどうしてあんな人のうそにだまされたのですか。」
- ③国会ともあろう機関でそのような強行な採決をするとは許せない。

👉 「～」には話す人が高く評価している人やものが来る。高く評価しているのに実際はそれにふさわしくない行動をした、または高く評価しているのだからそれにふさわしい行動をしてほしいなどと、話す人の感想を述べたい時に使う。

🔗 名詞 + ともあろう + 名詞



II・6 ～たる【～の立場にある】




- 「～の立場にあるのだから、それにふさわしく」と言いたい時に使う。

- ①国を任された大臣たる者は、自分の言葉には責任をもたなければならない。
- ②一国一城の主たる者、1回や2回の失敗であきらめてはならぬ。
- ③国の代表たる機関で働くのなら、それなりの誇りと覚悟をもってください。

👉 「～たる者」の形でよく使われる。「～」は話す人が高く評価している立場を表す語。文語的な表現。

🔗 名詞 + たる + 名詞



II・7 ～まじき【～てはいけない／～べきではない】



- ①学生にあるまじき行為をした者は退学処分にする。
- ②外の人を盗むなんて許すまじきこと、この業界では決してやってはいけない。
- ③あの大臣は、日本の責任について言うまじきことを言ってしまったために辞職に追いやられた。

👉 文語的な表現。

🔗 動詞の辞書形（「する」は「すまじき」もある） + まじき + 名詞



11 判断の立場・評価の視点

□の中の言葉を使って下の文を完成しなさい。一つ言葉は1回しか使えません。

I a にとって b として c 上で d 上 e わりに f なりに

わたしは私費留学生1 _____ 日本に来ました。わたし2 _____ ががんばったので、今はもう生活の3 _____ は何の問題もありません。しかし、日本語はわたし4 _____ は大変難しく、最初は漢字を覚えるのが精一杯でした。漢字だけではなく、文法5 _____ の様々な規則もめんどろです。でも、めんどろな6 _____ は覚えやすいです。今は日本語を勉強するのが楽しいです。

II

a からいえば b にしては c 向きの
d ともなると e たる f まじき

わたしの学校の大木教授は今年65歳。65歳1 _____ 気持ちが若い。先生はよくお酒を飲んで翌日講義を休む。また、よく遅刻する。これは教授2 _____ 者にある3 _____ ことだ。教授4 _____ お酒を飲む機会が多いのだろうか。もともとあまり学者5 _____ 性格ではないのかもしれない。学生の立場6 _____ 、あまり立派な先生とは言えないが、そのわりには人に悪く言われないから不思議だ。

何かを基準にして動作が行われると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a とおりに b を中心に c に沿って d をもとにして e のもとで

- 1 この神社の祭りは、伝統的なやり方_____行われています。
- 2 これはある伝説_____創作された芝居です。
- 3 田中先生のご指導_____、この論文を書き上げた。
- 4 この会は中山さん_____、いろいろな活動をしている。
- 5 実験結果は必ずしも教科書の_____はいかない。



使えますか

- 1 子ども部屋を { a 本人が望んでいるように } 改造してみました。
b 本人が望んでいるような
- 2 a 先生の指示とおりに } 行動してください。
b 先生の指示どおりに
- 3 ひらがなとカタカナは、漢字をもとにして { a 使われた。
b 造られた。
- 4 小説の話は必ずしも読者の期待に沿って { a 展開するわけではない。
b おもしろいわけではない。
- 5 教育は平等の原則に基づいて { a 大変重要だ。
b 行われなければならない。

答は次のページにあります。

基準

何かを基準にして動作が行われると言いたい時



- 1 ~ように・~ような
- 2 ~とおりに(に)・~とおりの・
~とおりだ
- 3 ~に沿って・~に沿う・
~に沿った
- 4 ~に基づいて・~に基づく・
~に基づいた
- 5 ~をもとに(して)・
~をもとにする・
~をもとにした
- 6 ~のもとで・~のもとに
- 7 ~を中心に(して)・
~を中心として・~を中心にする・
~を中心とする・~を中心にした・
~を中心とした
- 8 ~を~に(して)・~を~として・
~を~にする・~を~とする・
~を~にした・~を~とした



- 9 ~に即して・~に即した
- 10 ~ごとく・~ごとき



1 ~ように・~ような



- ①旅行の日程は次のように決まりました。
- ②「世の中が何でもあなたの思うように動くなどとは考えないでください。」
- ③この実験結果では、わたしが期待していたようなデータは得られなかった。



1 c 2 d 3 e 4 b 5 a



1 a 2 b 3 b 4 a 5 b


 2「～とおりに（に）」の  を参照。


 ^{れんたいしゅうしよくがた}連体修飾型 + ように

→ 2 課 1・1 「～ように」

2 ～とおりに（に）・～とおりの・～とおりで【～と同じに】

- ①ものごとは自分の考えのとおりにはいかないものだ。
- ②「わたしの言ったとおりにやってみてください。」
- ③この本の^{さくしゃ}作者に初めて^{はじ}直接^{ちよくせつ}会うことができた。わたしが前から思っていたとおりの方だった。
- ④案内書^{あんないしょ}を見ながら日光^{にっこう}を歩いた。そのすばらしさは案内書どおりだった。

 意味や使い方は、「～ように」と大体同じ。より「まったく同じに」という^{かん}感じが強い。

 ^{どうし}動詞の辞書形・～た形 / ^{めいし}名詞 + の + とおりに ^{名詞} 名詞 + どおりに

3 ～に沿って・～に沿う・～に沿った【～に合うように / ～に従って】

- ①本校では創立者^{そうりつしゃ}の教育方針^{きょういくほうしん}に沿って年間^{ねんかん}の学習計画^{がくしゅう}を立てています。
- ②「ただ今の鋭い^{とど}ご質問^{たい}に対してお答えします。ご期待^{きたい}に沿う^{かいとう}回答^{かいとう}ができるかどうか自信^じがありませんが……。」
- ③このたびの災害^{さいがい}を機^きに、政府^{せいふ}には安全対策^{あんぜんたいさく}の基本的^{きほんてき}考え^きに沿った^{じっし}実施計画^{じっし}を打ち出し^うてもらいたいと思う。

 ^{名詞} 名詞 + に沿って

4 ～に基づいて・～に基づく・～に基づいた【～を基本にして】

●「～を考え方の基本にしてあることをする」と言いたい時。

- ①この小説^{しょうせつ}は歴史的^{れきしてき}事実^{じじつ}に基づいて書かれたものです。
- ②この学校^{せいしん}はキリスト教精神^{せいしん}に基づいて教育^{きょういく}が行われています。
- ③我々^{われわれ}は今^{いま}、公職選挙法^{こうしよくせんきょほう}に基づく公正^{こうせい}な選挙^{せんきょ}の大切^{たいせつ}さを再認識^{さいにんしき}しなければならない。
- ④これは単^{たん}なる推測^{すいそく}ではなく、たくさん^{たくさん}の実験データ^{じっけん}に基づいた事実^{じじつ}である。

👉 5「～をもとに（して）」の👉2を^{さんしょう}参照。

🔗 名詞 + ^{もと}に基づいて

🎁 5 ～をもとに（して）・～をもとにする・～をもとにした【～を^{そざい}素材にして／～からヒントを^え得て】

- ①^{ほくおう}北欧の古い歌をもとに、新しい音楽に作りかえたのがこの^{きょく}曲です。
- ②^{せんそうたいけんしゃ}戦争体験者の話してくれたこと^{もと}をもとにして、このテレビドラマを^{そうさく}創作しました。
- ③^{しょうけいもじ}象形文字や^{しじ}指事文字をもとにしてたくさんの漢字が^{つく}造られた。また、ひらがなとカタカナは漢字^{もと}をもとにして生まれたものである。
- ④ポップスの中には有名な曲の^{いちぶ}一部^{もと}をもとにしたものがある。

👉1 あるものが^{こんげん}生み出される^{ぐたいてき}根源や^{そざい}具体的素材を表す。後には、書く、話す、作る、創作する、などの意味を持つ文が来る。

👉2 4「～に基づいて」は、それから^{せいしんてき}精神的に^{はな}離れずにという気持ちが強いが、「～をもとに」は、それから^{ほんしつてき}本質的なことを得るだけであり、離れずにという気持ちはうすい。また、4より具体的。

🎁 6 ～のもとで・～のもとに【～を^{たよ}頼って／～の下で】

- ①わたしはいい^{かんきょう}環境、いい^{りかいしゃ}理解者^{もと}のもとで、^{めぐ}恵まれた^{せいかつ}研究生生活をおくることができた。
- ②この鳥は国の^{ほごせいさく}保護政策^{もと}のもとに^{まも}守られてきた。
- ③新しいリーダー^{もと}のもとに、人々は^{ひとびと}協力^{きょうりょく}を^{やくそく}約束し^あ合った。

🔗 名詞 + のもとで

🎁 7 ～を中心に（して）・～を中心として・～を中心にする・～を中心とする・～を中心にした・～を中心とした

- ①今度の^{たいふう}台風の^{ひがい}被害は^{かんとう}東京^{ちほうぜんいき}を中心に関東地方全域に^{ひろ}広がった。
- ②^{じっこういんちょう}実行委員長の^{あきやまくん}秋山君^{もと}を中心として、^{ぶんかさい}文化祭の^{かか}係りは^{こころ}心を一つに^{がんば}がんばっています。
- ③この研究会では^{こうがい}公害問題^{もと}を中心とした^{さまざま}様々な問題を話し合いたいと思う。
- ④^{いしい}石井さん^{もと}を中心とする新しい委員会^{もと}ができた。



8 ～を～に (して)・～を～として・～を～にする・ ～を～とする・～を～にした・～を～とした

- ①戦後50年を一つの区切りとして、平和の大切さを次代に伝えなければならない。
- ②この大会に参加できるのは社会奉仕を目的とする団体だけです。
- ③ビルの建設は安全を第一条件とし、慎重に工事を進めてください。
- ④文化祭は「地球の未来」をテーマとして、着々と準備が進められています。



9 ～に即して・～に即した【～に従って】



- ①試験中の不正行為は、校則に即して処理する。
- ②現行の法律に即して、ものごとの可否を判断しなければならない。
- ③非常事態でも、人道に即した行動がとれるようになりたい。

🔗 名詞 + に即して



10 ～ごとく・～ごとき【～ように】



- ①前回の手紙にも書いたごとく、私も来年は定年だ。だから君にもそろそろ自分の将来のことを真剣に考えてもらいたい。(父から息子への手紙)
- ②上記のごとく、いったん納入したお金は返却されません。
- ③次のごとき日程で、研修会を行う。

🔗 動詞の辞書形・～た形/名詞+の +ごとく



12 基準

A 中の言葉を使って下の文を完成しなさい。一つ言葉は1回しか使えません。

a ような b どおり c に沿って
d に基づく e をもとにして f のもとに

I この作家は大病の後、親の保護1 _____ 静かに暮らしていました。そして、その時、母親から聞いた話2 _____ 書いたのが、この作品です。伝統的な小説作法3 _____ 創作したようです。若い人が好む4 _____ 話ではないけれど、史実5 _____ 貴重な作品です。予想6 _____ 今年の賞を受けました。

II 次の1 _____ スケジュールで工場見学を行いますので、どうぞご参加ください。見学は案内図2 _____、順番に行います。第1工場では不用ガラスびん3 _____ 新しい素材を作り出す工程を見ることが出来ます。これは、A大学の山田先生のご指導4 _____ 実験を行ってきたものです。我々の期待5 _____ の結果が得られました。今回お見せするのはその実験結果に6 _____ ものです。

B の中の言葉を使って、例のように前の文と後の文をつなげなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a どおりに b とおりに c ような d をもとにして
e のもとでは f を中心にして g に即して h に基づく

例 説明書 a _____ ク。

1 ここに書いてある _____。

2 自然界にある物質 _____、_____。

3 あすは関東地方 _____、_____。

4 わたしが発音する _____、_____。

5 違反者は規定 _____。

6 この雑誌は最新の情報 _____。

7 軍事体制 _____、_____。

ア 正しくカタカナを書きなさい。

イ 記事が少ない。

ウ 罰する。

エ 自由な発想は生まれないと思う。

オ 日程で北海道へ行く。

カ 次々に新しい化合物が造られる。

キ 全国的に雨が降ります。

ク 組み立てて、本箱を作った。

二つのものごとの間に関連があると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a によって b によっては c に応じて d のたびに e をきっかけに

- 1 フランス旅行____、わたしはフランス料理を習い始めた。
- 2 人は地位____、社会的責任も重くなる。
- 3 場合____、今夜は家に帰れないかもしれません。
- 4 同じ料理でも、店____味が違う。
- 5 あの人は出張____、新しいかばんを買う。



使えますか

- 1 天気によって、

{	a ここから富士山が見えたり見えなかったりする。
	b ここから富士山は見えない。
- 2 テレビに出たことがきっかけで、

{	a うれしかった。
	b 急に友人が増えた。
- 3 この時間は

{	a 能力に比べたクラスに入って、	}	会話の練習をする。
	b 能力に応じたクラスに入って、		
- 4 この写真を見るたびに、

{	a うれしい。
	b 子どもの頃のことを思い出す。
- 5

a 解決方法がある時は、	}	あなたの考え次第です。
b どんな解決方法を選ぶかは、		

答は次のページにあります。

2級	1級
1 ~によって・~による	10 ~いかにて・ ~いかにによって・ ~いかにだ
2 ~によっては	11 ~いかにでは・ ~いかにによっては
3 ~次第 <small>しだい</small> で・~次第だ	
4 ~次第では	
5 ~に <small>おう</small> 応じて・~に <small>おう</small> 応じた	
6 ~たび (に)	
7 ~につけて	
8 ~をきっかけに (して)・ ~をきっかけとして	
9 ~を契機 <small>けいき</small> に (して)・ ~を契機として	



1 ~によって・~による

● 「~」に対応して後のことがらがそれぞれにちが違うことをあらわを表す。

- ① 収穫しゅうかくされたみかんを大きさによって三つに分類ぶんるいし、それぞれの箱はこに入れます。
- ② ホテルの窓まどからは、その日の天候てんこうによって富士山ふじさんが見えたり見えなかったりです。
- ③ 人じんせいにより人生観じんせいはいろいろだが、命いのちの重みひていを否定する人はいないと思う。
- ④ 季節きせつによる風景ふうけいの変化へんかは、人の感性かんせいを豊ゆたかにしてくれる。

👉 「~」には様々さまさまな種類しゅるいや可能性かのうせいを表す名詞めいしが、後には、いろいろある、違うなど、一定いっていではないという意味を表す文が来る。

🔗 名詞 + によって → 19課 I・1 「~によって・~による」



2 ~によっては【ある~の場合は】

● 「ある~の場合は~のこともある」と言いたい時。



1 e 2 c 3 b 4 a 5 d



1 a 2 b 3 b 4 b 5 b

- ①この地方ではよくお茶を飲む。人によっては1日20杯も飲むそうだ。
- ②母が病気なので、場合によっては研修旅行には参加できないかもしれません。
- ③この辺りの店はどこも早く閉店する。店によっては7時に閉まってしまう。

👉 1「～によって」の用法の一部。様々な種類の中の一つだけを取り出して述べる言い方。

🔗 1「～によって」と同じ。

3 ～次第で・～次第だ【～で】

●「～に対応して、あることが決まる」と言いたい時。

- ①言葉の使い方次第で相手を怒らせることもあるし、喜ばせることもある。
- ②わたしはその日の天気次第で、一日の行動の予定を立てます。
- ③国の援助を受けられるか受けられないかは、この仕事の結果次第です。

👉 10「～いかんで・～いかんによって・～いかんだ」の👉を参照。

🔗 名詞 + 次第で

4 ～次第では【ある～の場合は】

●「ある～の場合は～のこともある」と言いたい時。

- ①成績次第では、あなたは別のコースに入ることになります。
- ②道の込み方次第では、着くのが大幅に遅れるかもしれません。
- ③考え方次第では、苦しい経験も貴重な思い出になる。

👉 1 3「～次第で」の用法の一部。いろいろな可能性の中の一つを取り上げて述べる言い方。

👉 2 11「～いかんでは・～いかんによっては」と意味、用法が同じ。

🔗 3「～次第で」と同じ。

5 ～に応じて・～に応じた

●前のことがらが変われば、それに対応して後のことがらも変わることを表す。

- ①人は年齢に応じて社会性を身につけていくものだ。

- ②アルバイト料は労働時間に応じて計算される。
- ③当店でのお客様のご予算に応じて料理をご用意いたします。
- ④ハイキングの日の服装は、その日の天候に応じた調節可能なものが多い。

🔗 名詞 + に応じて

🎁 6 ~たび (に) 【~の時はいつも】

- 「~が起こると、その時はいつも同じことになる」と言いたい時。

- ①出張のたびに書類を整理しなければならない。
- ②あの人は、会うたびに新しい話題を聞かせてくれる。
- ③父は外国に行くたびに珍しいおみやげを買ってくる。

🔗 動詞の辞書形 / 名詞 + の + たびに

🎁 7 ~につけて 【~に関連していつも】

- 「同じ状況にある時、いつもある気持ちになってそうする」と言いたい時。

- ①あの人の暗い顔を見るにつけ、わたしは子どもの頃の自分を思い出す。
- ②彼の生活ぶりを聞くにつけて、家庭教育の大切さを感じる。
- ③彼女は何ごとにつけても、他人を非難する人です。
- ④あの人は体の調子がいいにつけ悪いにつけ、神社に行って手を合わせている。

👁 「何か、何ごと」などの言葉と結びついて慣用的に使う。また、④の例のように、「~につけ」の前に対立する意味の言葉を並べ、「どちらの時も」という意味を表す慣用表現もある。

🎁 8 ~をきっかけに (して) ・ ~をきっかけとして

- ①夏の軽い登山をきっかけに、わたしは山登りに興味をもつようになった。
- ②ある新聞記事をきっかけにして、20年前のあるできごとを思い出した。
- ③ある日本人と友達になったことがきっかけで、日本留学を考えるようになった。

👁 1 ③のように「~がきっかけで」の形もある。

☞ 2 9「～を契機に（して）・～を契機として」の☞を参照。

9 ～を契機に（して）・～を契機として



- ①この災害を契機にして、わが家でも防災対策を強化することにした。
- ②転居を契機に、わたしも今までの仕事をやめて自分の店を持つ決心をした。
- ③今度の病気、入院を契機として、今後は定期検診をきちんと受けようと思った。

☞ 意味、用法は8「～をきっかけに（して）・～をきっかけとして」とほとんど同じだが、「～を契機に（して）・～を契機として」の後にはプラスの意味の文が来ることが多い。

10 ～いかんで・～いかにによって・～いかんだ【～に対応して】



- ①商品の説明のしかたいかんで、売れ行きに大きく差が出てきてしまう。
- ②この頃とても疲れやすいので、当日の体調いかんでその会に出席するかどうか決めたい。
- ③国の政策のいかにによって、高齢者や身体障害者たちの暮らし方が変わってくるのは明らかだ。
- ④今度の事件をどう扱うかは校長の考え方いかんです。

☞ 3「～次第で・～次第だ」と意味、用法が同じ。

🔗 名詞（の） + いかんで → 14課6「～いかにによらず・～いかににかかわらず」

11 ～いかんでは・～いかにによっては【ある～の場合は】



●「ある～の場合は～のこともある」と言いたい時。

- ①「君の今学期の出席率いかんでは、進級できないかもしれないよ。」
- ②本の売れ行きいかんでは、すぐに再販ということもあるでしょう。
- ③出港は午後3時だが、天候のいかにによっては、出発が遅れることもある。

☞ 1 10「～いかんで」の用法の一部。いろいろな可能性の中の一つを取り上げて述べる言い方。

☞ 2 4「～次第では」と意味、用法が同じ。

10「～いかんで」と同じ。



13 かんれん たいおう 関連・対応

□の中の言葉を使って、下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a によって b によっては c 次第だ d に応じた
e たびに f につけて g をきっかけに

- この会では、年齢や条件にあったアルバイトを紹介します。
()
- 年が違えば、1年間の総雨量が違う。
()
- 同窓会での再会がチャンスになって、二人はまた親しくつき合うようになった。
()
- あの人は何かの場合にいつも自分の親のことを自慢する。
()
- わたしの家は古いので、地震の時はいつも大きく揺れる。
()
- うちの電話代は、2万円を超える月もある。
うちの電話代は、月()2万円を超える。
- 客が増えるか増えないかは、営業の努力によって決まる。
()

関係ない、考えに入れない、例外だ、と言いたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか（2回使うものもあります。）

a はともかく b にかかわらず c もかまわず

- 1 値段の安い高い____、いい物は売れるという傾向がある。
- 2 この仕事は内容____、給料の面でちょっと問題がある。
- 3 田中さんは相手の都合____仕事を頼んで来るので本当に困る。
- 4 この店の料理は値段____、味のよさは最高だ。
- 5 電車の中で人目____泣いている女の人を見かけた。






使えますか

- 1 a その小さい子どもは親の注意もかまわず、一人で道を渡ってしまった。
b 交通信号が赤なのもかまわず、道を渡ってしまおう。
- 2 そのアパートは家賃の高さはさておき、
 { a 部屋も広くていい。
b 環境がとても気に入った。
- 3 a この仕事は経験の有無を問わず、
b この仕事は若い人やお年寄りを問わず、
 } 誰でも応募できます。
- 4 a 会に参加するしないにかかわらず、
b 会に参加するしないにかかわらず、
 } アンケートにはお答えください。
- 5 その車を買うかどうかはともかくとして、
 { a やっぱり買うことにしよう。
b まず見に行こう。


答は次のページにあります。


む かん けい む し れい がい
無関係・無視・例外 関係ない、考えに入れない、例外だ、と言いたい時

 2級	1 ~を問わず・~は問わず 2 ~にかかわらず・ ~に（は）かかわりなく 3 ~もかまわず 4 ~はともかく（として） 5 ~はさておき	 1級	6 ~いかんによらず・ ~いかんにかかわらず 7 ~をものともせず（に） 8 ~をよそに 9 ~いざしらず
--	---	--	---

 **1 ~を問わず・~は問わず【~に関係なく】**

- ①この辺りは若者に人気がある町で、昼夜を問わずいつもにぎわっている。
- ②オールウェザーコートでは、天候を問わずいつでも試合ができる。
- ③近年、文化財保護の問題は、国の内外を問わず大きな関心と呼んでいる。
- ④この会には年齢、性別は問わず、いろいろな人を集めたいのです。

 1「~を問わず」、2「~にかかわらず」は大体同じ意味で使われる。どちらも、「昼夜」「降る降らない」など対立の関係にある言葉に続くことが多い。

 **2 ~にかかわらず・~に（は）かかわりなく【~に関係なく】**

- ①このグループのいいところは、社会的な地位にかかわらず、誰でも言いたいことが言えることだ。
- ②このデパートは曜日にかかわらず、いつも込んでいる。
- ③お酒を飲む飲まないにかかわらず、参加者には一人3千円払っていただきます。
- ④当社は学校の成績のいい悪いにかかわらず、やる気のある人材を求めています。
- ⑤金額の多少にかかわらず、寄付は大歓迎です。



1 b 2 a 3 c 4 a 5 c



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

👉 「～を問わず」の👉を参照。

👉 名詞 + にかかわらず

→18課5 「～にもかかわらず」

👉 3 ～もかまわず【～も気にしないで】

- ①最近^{さいきん}は電車^での中で人目^{ひとめ}もかまわず化粧^{けしょう}している女の人をよく見かけます。
- ②父は身なり^{みなり}もかまわず出かけるので、一緒^{いっしょ}に歩くのが恥ずかしい。
- ③彼女^{かのじょ}は雨の中を、服^{ふく}がぬれるのもかまわず歩き去^さって行った。
- ④アパートの隣^{となり}の人はいつも夜遅い^{おそ}のもかまわず、大きな音で音楽^{おんがく}を聴^きいている。

👉 名詞/連体修飾型^{れんたいしゅうじょくがた}(名詞は「である型」。「名詞+な」の形^{かたち}もある)+の +もかまわず

👉 4 ～はともかく(として)【～は一応問題^{いちおう}にしないで】

- 「～の問題も考えなければならないが、今はそれよりも後の文のことがらを先に考える」という気持ちで使う。

- ①費用^{ひよう}の問題はともかく、旅行^{りょこう}の目的地^{もくてきち}を決める方が先です。
- ②コストの問題はともかくとして、重要^{じゅうよう}なのはこの商品^{しょうひん}が売れるか売れないかだ。
- ③この計画^{けいかく}は実行^{じっこう}できるかどうかはともかくとして、まず実行する価値^{かち}があるかどうかをもう一度よく考えてみよう。

👉 5「～はさておき」の👉を参照。

👉 5 ～はさておき【～は今は考えの外^おに置いて】

- ①大学進学^{しんがく}の問題はさておき、今の彼^{かれ}には健康^{けんこう}を取り戻^{もど}すことが第一^{だいいち}だ。
- ②責任^{せきにん}が誰^{だれ}にあるのかはさておき、今は今後^{こんご}の対策^{たいさく}を考えるべきだ。
- ③(二人の男の人が仕事の話をした後)

「それはさておき、社員旅行^{しゆいんりょこう}のことはどうなっているんだろう。」

「ああ、それは木村^{きむら}さんが中心^{ちゅうしん}になって進^{すす}めているという話ですよ。」

👉 4「～はともかく(として)」は前のことがらと後のことがらを比較^{ひかく}する気持ちがあるのに対し、「～はさておき」では、前のことを考えの外^おにはずしてしまう気持ちが強い。



6 ~いかに よらず・~いかに かかわらず【~がどうであつても それに関係なく】



- ① 事情のいかによらず、欠席は欠席だ。
- ② 試験の結果いかによらず、試験中に不正行為のあつたこの学生の入学は絶対に認められない。
- ③ 理由のいかにかかわらず、いったん払い込まれた受講料は返金できないことになっている。

🔗 名詞 (+の) +いかによらず → 13課10 「~いかにで・~いかによつて・~いかにだ」



7 ~をものともせず (に) 【~に負けないで】

- 「困難に負けないで、何かに勇敢に立ち向かう」ということを言いたい時。

- ① 山田選手はひざのけがをものともせず決勝戦に出ました。
- ② 彼は体の障害をものともせず勇敢に人生に立ち向かった。
- ③ 村の人々は山で遭難した人を助けるため、風雨をものともせず出発した。

👉 話す人自身の行為には使わない。



8 ~をよそに 【~を自分とは無関係なものとして】

- ① 手術が終わつた後、子どもは親の心配をよそに、すやすやと寝入っている。
- ② 家族の期待をよそに、彼は結局大学には入らずにアルバイト生活を続けている。
- ③ 老人や低所得者層の不安をよそに、再び増税が計画されている。
- ④ 忙しそうに働く人々をよそに、彼は一人マイペースで自分の研究に打ち込んでいた。



9 ~いざしらず 【~は特別だから例外だが】

- 「~」には極端な例や特別な場合が来て、「その場合は別だが」と除外してしまう時の言い方。

- ① 「美術館は込んでいるんじゃないかしら。」
「土日はいざしらず、ウィークデーだから大丈夫だよ。」
- ② 知らなかつたのならいざしらず、知つていてこんなことをするなんて許せない。

- ③神様かみさまならいざしらず、ふつうの人間にはあした何が起おこるかさえわからない。まして1年先のことなんて……。



14 無関係・無視・例外

どちらが正しいですか。正しい方の記号きごうに○をつけなさい。

- 1 コンビニエンスストアは昼夜ちゆうや { a を問わず
b のいかににかかわらず } 営業えいぎやうしている。
- 2 会長の責任問題せきにん { a はさておき、
b をよそに、 } 今はどうやって会をまとめることができるかを考えた方がいい。
- 3 最近、他人たにんがどう思うか { a を問わず、
b もかまわず、 } 電車の中や路上ろじやうで電話をしている人を見かける。
- 4 合格ごうかくするかどうか { a をよそに、
b はともかく、 } 一応受験いちおうじゅけんしてみるつもりだ。
- 5 サッカーの試合しあいは天候てんこう { a はさておき
b のいかにによらず } 行われます。
- 6 面接めんせつの結果は採否けつ か さいひ { a にかかわらず
b はともかく } 手紙で通知つうちします。
- 7 田中たなかさんは経済的困難けいざいてきこんなん { a をものともせず
b はさておき } いつも力強くちからづよ生きている。
- 8 山田やまださんの家庭事情かていじじやう { a にかかわらず、
b をよそに、 } 会社は彼を單身赴任かれ たんしんふにんさせた。
- 9 神様 { a ならいざしらず、
b もかまわず、 } 真犯人しんはんじんが誰かだれは結局けつぎよくわからないのではないか。

例を挙げたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか

a とか b やら c にしろ d や e にしても

- 日本語では、漢字やらひらがな____、三つも文字を覚えなければならい。
- 太郎にしても次郎____、うちの子はどうしてみんな運動が苦手なんだろう。
- ただぶらぶらしていないで、本を読むとか旅行をする____、もっと休みを有効に使ったらどうですか。
- 天ぷらを揚げるにしろ、ケーキを焼く____、料理は火加減が大切だ。
- 机の上には資料や図面____色鉛筆などが置いてある。



使えますか

- a 林さんの部屋には大型テレビやらステレオやら、高そうな電気製品がいっぱいある。

b 林さんの部屋にはテレビやらステレオやら、何もない。
- a わたしは桜とか梅とかいった } 木に咲く花が好きだ。

b わたしは桜やら梅やらいった }
- a 花子さんはやさしいとか親切とか、クラスでとても人気がある。

b クラスにはあき子さんとかみち子さんとか、人気者が多い。
- 大学にせよ専門学校にせよ、 { a あなたはどちらに行くのですか。

b 行くなら目的をはっきり持ちなさい。
- a 決まったら電話するやらファックスするやらして } 知らせてください。

b 決まったら電話するとかファックスするとかして }

答は次のページにあります。

例示 れい じ 例を挙げたい時 あ



- 1 ~とか~とか
- 2 ~やら~やら
- 3 ~にしても~にしても・
~にしろ~にしろ・
~にせよ~にせよ



- 4 ~なり~なり
- 5 ~といい~といい
- 6 ~といわず~といわず
- 7 ~であれ~であれ



1 ~とか~とか【~や~など】

●あるものごとや方法の具体例をいくつか示したい時の言い方。

①科目の中では、わたしは数学とか物理とかの理科系の科目が好きです。

②病院とか図書館とかいったところでは静かに歩きましょう。

③「親と話し合うとか先輩に相談するとかして早く進路を決めてください。」

④「夜遅くなくても、タクシーを拾うとか友達に送ってもらうとかして必ず家に帰って来なさい。」

👉 1 ③④のように方法の具体例の場合は「~とか~とかして」の形になる。

👉 2 「~といた」の使い方もある。

・インド料理とかタイ料理といった南の国の食べ物は辛いものが多い。

・父は「パソコン、ファミコンといったものは苦手だよ」といつも言っている。

🔗 動詞の辞書形 / 名詞 + とか



2 ~やら~やら【~や~など】

●まだ外にもいろいろあるが、まず1、2の例を挙げたい時に使う。



1 b 2 e 3 a 4 c 5 d



1 a 2 a 3 b 4 b 5 b

- ①色紙は赤いのやら青いのやらいろいろあります。
- ②机の上には紙くずやらノートやらのりやらがごちゃごちゃ置いてある。
- ③びっくりするやら悲しむやら、ニュースを聞いた人たちの反応は様々だった。
- ④マラソンで3位に入賞した時、うれしいやら悔しいやら複雑な気持ちだった。

㊦ 動詞・い形容詞の辞書形/名詞 + やら



3 ~にしても~にしても・~にしろ~にしろ・~にせよ~にせよ 【~でも~でも】

- 「~でも~でも」と例をいくつか挙げて「その全部にあてはまる」と言いたい時に使う。

- ①野球にしろサッカーにしろ、スポーツにけがはつきものです。
- ②動物にせよ植物にせよ、生物はみんな水がなければ生きられない。
- ③東京にしても横浜にしても大阪にしても、日本の大都市には地方から出て来た若者が多い。
- ④リンさんにしてもカンさんにしても、このクラスの男の人はみんな背が高い。
- ⑤泳ぐにしろ走るにしろ、体を動かす時は準備運動が必要だ。

㊦ 動詞の辞書形/名詞 + にしろ →18課6「~にしても・~にしろ・~にせよ」、21課3「~としても・~にしても」、21課4「~にしろ・~にせよ」



4 ~なり~なり 【~でもいい~でもいい】

- 「~でもいい~でもいい、何か」と考えられる例を挙げる言い方。

- ①「奨学金のことは先生になり学生課の人になり相談してみたらどうですか。」
- ②「黙っていないで、反対するなり賛成するなり意見を言ってください。」
- ③隣の部屋の人がうるさいので、朝早く起きるなり図書館へ行くなり、勉強の方法を考えなければならない。

㊦ ×いただいた魚は煮るなり焼くなりして食べました。
過去のことには使えない。

○この魚は煮るなり焼くなりして食べてください。

㊦ 動詞の辞書形/名詞/名詞+助詞 + なり




5 ～といい～といい【～も～も】

●あることがらについて、いくつかの例を取り上げて「どの点から見ても～だ」と話す人の評価を言いたい時に使う。

- ①デザインといい色といい、彼の作品が最優秀だと思ふ。
- ②頭のよさといい気のやさしさといい、彼はリーダーとしてふさわしい人間だ。
- ③リーさんといいラムさんといい、このクラスにはおもしろい人が多い。
- ④額の広いところといいあごの四角いところといい、この子は父親にそっくりだ。

🔗 名詞 + といい




6 ～といわず～といわず【～だけでなく～だけでなく】

●「～も～もみんな」と例を挙げる。

- ①彼の部屋は机の上といわず下といわず、紙くずだらけです。
- ②手といわず足といわず、子どもは体中泥だらけで帰って来た。
- ③新聞記者の山田さんは国内といわず海外といわずいつも取材で飛び回っている。
- ④母はわたしのことが心配らしく、昼といわず夜といわず電話してくるので、ちょっとうるさくて困る。

🔗 「～も～も、どこも（いつも、どれも、みんな、など）」と強調して言いたい時に使う。

🔗 名詞 + といわず



7 ～であれ～であれ【～でも～でも】

●「～でも～でも」と例をいくつか挙げて「その全部にあてはまる」と言いたい時に使う。

- ①着るものであれ食べるものであれ、無駄な買い物はやめたいものです。
- ②物理学であれ化学であれ、この国は基礎研究が遅れている。
- ③学校教育であれ家庭教育であれ、長い目で子どもの将来を考えた方がいい。
- ④論文を書くのであれ、研究発表をするのであれ、十分なデータが必要だ。



15 例示

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を_____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a なり～なり b やら～やら c であれ～であれ

- パーティーでは、すし_____サンドイッチ_____食べきれないほどのごちそうが出た。
- 誰かの家に招待された時は、後でカードを送る_____電話をする_____してお礼の気持ちを表すといい。
- J R _____私鉄_____日本の鉄道は時間が正確だ。

a とか～とか b なり～なり c といい～といい

- わたしはインド_____メキシコ_____いった暑い国が好きだ。
- 駅で何か事件があったらしく、駅の中_____周辺_____人や救急車などでいっぱいだった。
- 連休には、海_____山_____、どこか空気のきれいな所へ行きたい。

a にしても～にしても b とか～とか c といわず～といわず

- 東京の名所と言え、上野_____浅草_____いった町がすぐ頭に浮かぶ。これらの町は東京の「下町」と呼ばれ、人々に親しまれている。上野には公園や美術館や動物園があり、浅草には「浅草寺」という有名なお寺がある。また、上野_____浅草_____、古くからの店がたくさん残っていて、おもしろい。特に浅草は、休日_____普段の日_____、いつも観光客でにぎわっている。

意味を強くしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a など b として c までして d こそ e さえ

- 1 彼の極端な意見に賛成するものは、誰一人_____いなかった。
- 2 早く仕事が決まらないと、家賃_____払えなくなる。
- 3 過ちを認める勇気_____が大切だ。
- 4 有効期限が切れている薬_____飲まない方がいい。
- 5 体を壊すようなこと_____ダイエットはしたくない。



使えますか

- 1 a あの人は人のわずかなミスこそ許さない } 厳しい人だ。
b あの人は人のわずかなミスさえ許さない }
- 2 チャーハンぐらいはわたしにも { a 作れます。
b 作れません。
- 3 b あの人の言うことなんか { a 信じられない。
b 信じられる。
- 4 a 今月はお金が余ったから、ビデオカメラまで買しましょう。
b お金がない、ない、と言いながら、ビデオカメラまで買ったんですか。
- 5 わたしの意見は会議で何一つとして { a 取り上げられた。
b 取り上げられなかった。

答は次のページにあります。

I 強調 その1 ことば 言葉の意味を強くしたい時



- 1 ~さえ・~でさえ
- 2 ~として



- 3 ~たりとも
- 4 ~といえども
- 5 ~すら・~ですら
- 6 ~だに



I・1 ~さえ・~でさえ【~も】

●特に極端な「~」を取り出して「外はもちろん」と言いたい時。

- ① 幼い息子を失った彼女は生きる希望さえなくしてしまった。
- ② 彼は日本に3年もいるのだから会話は不自由ないが、読み書きの方はひらがなさえだめだそうだ。
- ③ えり子は親友の花子にさえ知らせずに外国へ旅立った。
- ④ 山の上には夏でさえ雪が残っている。

🔗 名詞 + さえ



I・2 ~として【~も】

●最小のものを挙げて、「~も~ない」と全否定を強く言う言い方。

- ① 火事で焼けてしまったため、わたしの子ども頃の写真は一枚として残っていない。
- ② 娘が突然いなくなって以来、わたしは一日として心安らかに過ごした日はない。
- ③ 犯人が通った出入り口の近くに人が何人かいたのだが、誰一人として気がついた人はいなかった。

🔗 「(疑問詞) + 1 + 助数詞 + として + ~ない」の形で使うことが多い。



1 b 2 e 3 d 4 a 5 c



1 b 2 a 3 a 4 b 5 b

他例 何一つとして



I・3 ～たりとも【～も】



●最小のものを挙げて、「～も～ない」と全否定を強く言う言い方。

- ①彼の働きぶりは一分たりとも無駄にしたいくないという様子だった。
- ②開会式までの日数を考えると、工事は一日たりとも遅らせることはできない。
- ③一日2時間給水という厳しい制限の中で、この夏、水は一滴たりとも無駄にするとはできなかった。

☞ 「1 + 助数詞 + たりとも + ～ない」の形で使うことが多い。



I・4 ～といえども【～も】



●最小のものを挙げて、「～も～ない」と全否定を強く言う言い方。

- ①日本は物価が高いから、一円といえども無駄に使うことはできない。
- ②わたしは一日といえども仕事を休みたくない。
- ③熱帯雨林にすむ動物たちの中には、森を離れたら一日といえども生きられない動物もあるそうだ。

☞ 「1 + 助数詞 + といえども + ～ない」の形で使うことが多い。

→18課9 「～といえども」、21課5 「～といえども」



I・5 ～すら・～ですら【～も/～でも】



●特に極端な「～」を取り出して「外はもちろん」と言いたい時。

- ①高橋さんは食事をする時間すら惜しんで、研究している。
- ②腰の骨を傷めて、歩くことすらできない。
- ③大学教授ですらわからないような数学の問題を10歳の子どもが解いたと評判になっている。

☞ 「～さえ」と同じように使う。



I・6 ～だに【～だけでも／～も】



●「～だけでも～だ」と強調する時の表現。

- ①あの人との再会さいかいは、想像そうぞうするだに胸むねがドキドキする。
- ②街まちで毒どくガスをまく人がいるとは聞くだに恐ろおそしい話だ。
- ③私しが賞しょうをいただくなどは夢ゆめにだに思おもわなかった。
- ④50年前ごじゅうねんには、今日けふのような日本にっぽんの繁栄はんえいは想像そうぞうだにだにしなかった。

👉 1 想像する、聞く、など決まった動詞どうしとともに慣用的かんようてきに使つかわれる例れいが多い。
古い言い方。

👉 2 ③④は「～だに～ない」の形かたちで「想像そうぞうもしない」などと言いいたい時の言い方。

II 強調きょうちよう その2 言葉ことばの意味いみを強つよくしたり弱よわくしたり、重おもくしたり軽かろくしたりしたい時



- 1 ～くらい
- 2 ～など・～なんか・～なんて
- 3 ～こそ
- 4 ～まで・～までして



- 5 ～からある・～からの
- 6 ～というもの
- 7 ～にして
- 8 ～あつての
- 9 ～極きわまる・～極きわまりない
- 10 ～の極きわみ
- 11 ～の至いたり



II・1 ～くらい【～のような軽いこと】

●「～」を軽かろく考かんがえている（軽視けいしする）時の言葉。

- ①「子どもじゃないんだから、自分の部へ屋やぐらい自分で掃そう除じしなさい。」
- ②自分一人ぐらいはルいールはん違い反はんをしてもいいだろう、と思おもっている人ひとが多い。
- ③ちょっと会あったくらいで、人ひとのこことがわわかるはずはずはない。



II・2 ～など・～なんか・～なんて【～のようなものは】

●「～」を大切ではないと考えている（軽視する）時の言葉。

- ① 変なにおいのする納豆など二度と食べたくない。
- ② こんな簡単な仕事なんか一日でできる。
- ③ いつもそばかりついているあんな人の言うことなんて信じられない。

☞ 「～なんか」「～なんて」は口語的。



II・3 ～こそ

●大切なことを外と区別して強調したい時に使う。

- ① 今年こそ大学に入れるよう、勉強します。
- ② 「子どもがいつもお世話になっております。」
「こちらこそ。」
- ③ 知識の量を増やすのではなく考える訓練をすることにこそ学校の存在価値がある。

☞ 1 ×丸暗記こそやりたくない。
×テレビゲームこそ、嫌いだ。

マイナスの意味での強めにはあまり使わない。

☞ 2 「～てこそ」は「～てはじめて」の意味。後の文は可能表現が多い。
・日本シリーズで勝ってこそ日本一の投手と言えるのだから、がんばります。
・スポーツでもゲームでも自分でやってこそ、おもしろさがわかる。



II・4 ～まで・～までして【～も／～ても／～もして】

●極端なことを挙げて「そんな程度の～も」と強調したい時の言い方。

- ① 「一番の親友のあなたまで、わたしを疑うの。」
- ② 映画の仕事は彼が家出をしてまでやりたかったことなのだ。
- ③ 「あなたは人をだますようなことまでして、お金をもうけたいのですか。」

☞ 話す人の相手への気持ちを含んだ言い方。また話す人の主張、判断、評価などを表す文が多い。



II・5 ～からある・～からの【～か、それ以上もある】

●数量を表す言葉につけて、多いことを強調する言い方。

- ①ホテルのエレベーターが故障していたので、20キロからある荷物を背負って7階まで階段を登った。
- ②田中さんは70歳になるのに10キロからある道を毎日歩いて通って来る。
- ③作業員は100枚からの窓ガラスを手際よく次々と磨いていく。



II・6 ～というもの【～という長い間】

●期間や時間を表す言葉について、それが長いことを感情を込めて言う。

- ①この10年というもの、一日もあなたのことを忘れたことはありません。
- ②地震が起こって以来、この1週間というもの食事らしい食事は一度もしていない。
- ③山の中で迷ってしまい、12時間というもの飲まず食わずでぐったりしているところを救援隊に救われた。

☞ 後には継続を表す文が来る。



II・7 ～にして【～だから／～でも】

●「～まで程度が高いから」または「～ほど程度が高いのに」と言いたい時。

- ①人間80歳にしてはじめてわかることもある。
- ②こんなに無邪気で楽しい絵は、純真な子どもにしてはじめて描ける絵だ。
- ③この芝居は人間国宝の彼にして「難しい」と言わせるほど、演じにくいものであるらしい。

共起 ～にしてはじめて

名詞 +にして



II・8 ～あつての【～があるから成り立つ】

●「～があるという条件があつてはじめて～が可能」ということを強調する。

- ①愛あつての結婚生活だ。愛がなければ、一緒に暮らす意味がない。

- ②私たちはお客様あっての仕事ですから、お客様を何より大切にしています。
- ③交渉は相手あってのことだから、自分の都合だけ主張してもうまくいかない。

🔗 名詞 + あっての + 名詞

II・9 ～極まる・～極まりない【この上なく～だ】

- ①電車の中などで見る最近の若い者の態度の悪いこと、まったく不愉快極まる。
- ②あのレストランのウェイターの態度は不作法極まる。もう二度と行くものか。
- ③目が合ってもあいさつもしないとは、隣の息子は失礼極まりない。

👉 話す人が感情的な言い方をする時に使われることが多い。

🔗 な形容詞の語幹 + 極まる

II・10 ～の極み【最高の～/～の最高だ】

- ①この世の幸せの極みは子や孫に囲まれて暮らすことだと言う人もいる。
- ②現在の祭りの極みはオリンピックだろう。
- ③能・狂言は日本文化のおもしろさ、深さの極みだ。
- ④こんなに細かく美しい竹細工があるとは！ これぞ手仕事の極み！

👉 話す人が感激してその気持ちを表す時に使われることが多い。

II・11 ～の至り【最高の～】

- ①「私のような者が、こんな立派な賞をいただくとは光栄の至りでございます。」
- ②私の書いたものが認めていただけるとは、感激の至りだ。
- ③こんな失敗をすることは、まったく赤面の至りだ。

👉 話す人が感激した時や強く感じたことを表現する時に言う。慣用的な古い表現。



16 強調 きょうちよう

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を_____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a など b こそ c まで d として e にさえ f ぐらい

- 1 この1か月はとても忙しくて、一日_____ゆっくり休めた日はなかった。
- 2 毎日、新聞_____出ないような小さな事件が日本中で山ほど起こっているに違いない。
- 3 毎日の小さな努力の積み重ね_____が大切だと思う。
- 4 1度や2度の失敗_____で落ち込んでいてはだめだ。
- 5 これについてはもう話し合う必要_____ない。もう決まったことだ。
- 6 イエスマンになって_____課長に気に入られようとは思わない。

a すら b たりとも c あっての d というもの e にして

- 7 経費節減にご協力ください。コピー用紙なども1枚_____無駄にしないこと。
- 8 東京の学校に行っている息子から、「電気代を払うお金_____なくなった」と言ってきた。困ったものだ。
- 9 単身赴任の夫から、この3週間_____、連絡がない。どうしたのだろうか。
- 10 サービス業というのは、お客_____仕事だから、そのことを忘れないように。
- 11 伝統工芸というのは、経験30年という職人_____はじめて可能な仕事が多い。

あることを話題にする時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a というのは b というものは c というのと d といったら
e にかけては



- 1 小学校____、大勢のおおぜい子どもたちや広い校庭が頭に浮かびます。
- 2 友達____、ありがたいものだ。
- 3 入管____、入国管理局の略である。
- 4 決勝戦で負けた時の悔しさ____、言葉では表せないほどだった。
- 5 彼は走る____、誰にも負けないだろう。




使えますか

- 1 「うり二つ」というのは、二つのものが { a よく似ていることです。
b よく似ています。
- 2 a 外国で一人で暮らすというものは } 大変ですね。
b 外国で暮らすということは
- 3 校則というのと、 { a わたしは好きではありません。
b まず、とても厳しいものを想像します。
- 4 この夏の暑さといったら、 { a 我慢できないほどだった。
b それほどでもなかった。
- 5 わたしは水泳にかけては、 { a 自信があります。
b あまり上手ではないのです。


答は次のページにあります。


 2級 1 ~とは・~というのは 2 ~というものは・~ということは 3 ~といえは 4 ~というと・~はというと 5 ~といたら 6 ~にかけては	 1級 7 ~ときたら
---	---

 **1 ~とは・~というのは【~は】**

●「~」の意味や定義ていぎを言う時。


- ①教育ママきょういくとは自分の子どもの教育に熱心ねっしんな母親ははおやのことです。
- ②水蒸気すいじょうきというのは気体きたいの状態じょうたいに変わった水かのことである。
- ③季語きごというのは季節きせつを表す言葉あらわで、俳句ことばの中で必ずはいく使われるかならものです。

 **名詞** +とは


 **2 ~というものは・~ということは【~は/~ことは】**


●本質ほんしつ、普遍的な性質ふへんてきを感情せいしつを込めて述べるために、あることを話題にする時。

- ①親おやというものはありがたいものだ。
- ②外国がいこくで一人で暮らすく大変さたいへんというものは、経験けいけんしないとわからない。
- ③社会しゃかいを変えるかへということは大変なことだなあ。

 後の文には話す人の感想かんそう、感慨かんがいなどを表す文が来る。

 **名詞** +というものは **普通形型** +ということは

 1 c 2 b 3 a 4 d 5 e

 1 a 2 b 3 b 4 a 5 a

3 ～といえば【～を話題にすれば】

●その場の誰かが話題にしたこと、または自分の心に思い浮かんだことから取り上げて話題にする時の言い方。

- ①今年海外旅行をする人が多かったそうです。海外旅行といえば、来年みんなでタイへ行く話が出ています。
- ②子どもの頃、川にホタルをとりに行ったことを思い出す。ホタルといえば、先日「ホタルの光、窓の雪」という歌を聞いたが、あれはいい歌だと思う。
- ③「きのうの台風はすごかったねえ。記録的な大雨だったようですよ。」
「記録的といえば、今年の暑さも相当でしたね。」

4 ～というと A【～という言い方をすると】

●「～」を話題にした時、すぐ連想されることを言う時。

- ①この町に新しく病院ができた。病院というとただ四角だけの建物を想像するが、この病院はカントリーホテルという感じのものだ。
- ②わたしは毎日建設会社に通勤しています。通勤しているというとラッシュアワーの混雑を想像するでしょうが、会社は家から歩いて10分ほどのところなんです。

～というと B【あなたが今言った～は】

●相手の言った言葉が自分の思っているのと同じかどうか確かめる時に使う。

- ①「林さんが結婚したそうです。あいさつ状がきました。」
「林さんというと、前にここの受付をしていた林さんのことですか。」
- ②「リーさんは荷物を整理して、もう国へ帰りました。」
「というと、もう日本には戻らないということでしょうか。」

～はというと C【一方～はどうかというと】

●あることを対比的に話題として取り上げる言い方。

- ①父も母ものんびり過ごしています。わたしはというと、毎日馬か牛のようにただ忙しく働いています。

- ②ここ10年間で保育所の数は大幅に増えたようだ。しかし、わたしの地域はというと、まったく増えていない。



5 ～といたら【～は】

- 驚いたり、あきれたり、感動したりなどの感情をもって話題にする時。
- ①あの学生のまじめさといたら、教師の方が頭が下がる。
- ②広いキャンパスや市民開放のプールなど、この大学の施設といたら驚くものばかりです。
- ③山の中の一軒家にたった一人で泊まったんです。あの時の怖さといたら、今思い出してもゾッとします。

🔗 名詞 +といたら →27課 I・6 「～といたらない・～といたらありはしない」



6 ～にかけては【～では】

- 「～の素質や能力に関しては自信がある、外より優れている」と言いたい時。
- ①あの方は事務処理にかけてはすばらしい能力をもっています。
- ②水泳部員は50人もいるけれど、飛び込みのフォームの美しさにかけては、あの選手の右に出るものはいない。
- ③足の速さにかけては自信があつたのですが、若い人にはもうかないません。

🔗 名詞 +にかけては



7 ～ときたら【～は】

- 非難、不満の気持ちをもって話題にする時に使う。

- ①「お宅の息子さんは外でよく遊んでいいですね。うちの子ときたらテレビの前から動かないんですよ。」
- ②周りの家はみんなきれいなのに、わが家ときたら草がいっぱい生えているし、へいも壊れかけている。
- ③この自動販売機ときたらよく故障する。取り替えた方がいいと思う。





17 話題

A □の中の言葉を使って、下の文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a というものは b というと c はというと
d といったら e にかけては f ときたら

I 時間1 _____ 早くたってしまうものだ。今はもう秋。あたたかいお風呂がうれしい季節だ。お風呂といえば、去年行った温泉を思い出す。温泉2 _____ 大きなお風呂を思い浮かべるが、その温泉は小さなお風呂が二つあるだけだった。しかし、そのお風呂に入った時の気持ちのよさ3 _____ 今でも忘れられない。宿の主人は「料理4 _____、この辺ではここが一番だ」と自慢していた。客たちはのんびり楽しんでいたが、わたし5 _____、一日中机に向かって原稿を書いていた。本当は自分のうちで書いた方がいいのだが、わが家6 _____、いつも人が出たり入ったりして、とてもうるさいのだ。今年もまたぜひ行きたい。

II 弟や妹たちは今夏休みだが、サラリーマンのわたし1 _____、毎日会社勤めだ。会社2 _____、立派な建物を想像する人が多いが、わたしの会社はマンションの一室である。マンションといえば、林さんが今のマンションを売りたいと言っていた。そういうこと3 _____ わたしは腕のいいセールスマンだから、林さんの力になってあげられると思う。セールスマン4 _____、このように常に売り買いを考えているのだ。土曜も日曜もない。それにうちの社長5 _____、命令ばかりしているのだが、それでもわたしはこの仕事が好きだ。契約が成立した時のうれしさ6 _____ 何ともいえない。

B □の中の言葉^{ことば}を使って、文を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉は1回^{かい}しか使えません。

a 家族 b 音楽^きを聴く c うちの弟 d 猫舌^{ねこじた}
e 都市部^{としぶ}の住宅難^{じゅうたくなん} f ビザ^{えんちよう}延長^{てつづ}の手続き

- 1 _____ というのは、どんな意味でしょうか。
- 2 _____ というものはありがたいものだ。
- 3 _____ ということは楽しいことだ。
- 4 _____ というと、まず複雑^{ふくざつ}でめんどうだというイメージを持つ。
- 5 _____ といったら驚^{おどろ}くほどだ。
- 6 _____ ときたら、人に迷惑^{めいわく}ばかりかけている。

前の文のことから考えて、当然^{とうぜん}とは言えないことを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a くせに b にもかかわらず c といっても d ながら e ものの

- 1 今日^{きょう}は休日^{きゅうじつ}だった____、連日^{れんじつ}の雨^{こうらくち}で行楽地^すはどこも空^すいていた。
- 2 必ず^{かなら}来ると約束^{やくそく}した____来ないとは、本当^{ほんとう}にあいつは信頼^{しんらい}できない。
- 3 この辺^{へん}は都心^{としん}であり____、緑^{みどり}も多く、街^{まち}の騒音^{そうおん}も聞こえないすばらしい住^{じゅう}宅地^{たくち}です。
- 4 入院^{けんさ}した____、検査^{けんさ}のためだけです。
- 5 昼間^{ひるま}は全体^{ぜんたい}に晴^はれる____、北風^{きおん}が強く気温^{きおん}は上がらないでしょう。(天気^{てんき}予報^{よほう})



使えますか

- 1 a いろいろなことを考えていながら、散歩^{さんぽ}するのは楽しい。
b 毎日、運動^{うんどう}をしていながら、ちっともやせない。
- 2 彼は通勤^{かむ}に20分^{つうきん}しかかからない所^{ところ}に住^すんでいるくせに、

{	a 遅刻 ^{ちこく} が多い。
	b 遅刻 ^{ちこく} はしない。
- 3 a 気^きをつけてはいたものの、
b 気^きをつけてはいたくせに、

}	かぜをひいてしまった。
---	-------------
- 4 新入社員^{しんにゅう}であるにしても、

{	a 彼は仕事 ^{おそ} が遅 ^{おそ} すぎる。
	b 彼は仕事 ^{はや} が速 ^{はや} い。
- 5 a 先生^{せんせい}が見るなと言^いつつ、
b 悪いと知^しりつつ、

}	試験 ^{しけん} でやっぱり友達 ^{ともだち} の答 ^{こた} を見てしまった。
---	---

答^{こた}は次のページにあります。



- 1 ~ながら
- 2 ~くせに・~くせして
- 3 ~つつ・~つつも
- 4 ~ものの・~とはいふものの
- 5 ~にもかかわらず
- 6 ~にしても・~にしろ・~にせよ
- 7 ~といっても
- 8 ~からといって



- 9 ~といえども
- 10 ~とはいえ
- 11 ~ながらも
- 12 ~ところを
- 13 ~ものを
- 14 ~と思いきや



1 ~ながら【~のに/~だが】

●「~から予想されることがらとは違って実際はこうだ」と言いたい時。

- ①彼は金持ちでありながら、とても地味な生活をしている。
- ②お手紙をいただいているながら、お返事もさしあげずに失礼いたしました。
- ③一郎という子は、子どもながら将棋では大人も勝てないほど強い。
- ④残念ながら、わたしたちのチームは負けてしまった。
- ⑤父は耳が少し不自由ながら、体は非常に元気です。

👁️ 「~」には状態性の動詞や「~ている」の形、形容詞、名詞なども来る。
 ⑤のように一つの話題についてなら、前の文と後の文で主語が違っていい。

他例 勝手ながら、いやいやながら、陰ながら、及ばずながら

🗨️ 動詞の(ます)形/い形容詞の現在形 +ながら
 な形容詞(+であり)/名詞(+であり) +ながら

→ 7課10「~ながら・~ながらに・~ながらの」



1 b 2 a 3 d 4 c 5 e



1 b 2 a 3 a 4 a 5 b



2 ～くせに・～くせして【～のに】

●悪い点を非難したり、軽蔑したりする気持ちや意外な気持ち、不満を表す時。

- ①本当のことを何も知らないくせに、わかっているようなことをいうものではない。
 ②和男は二十歳にもなったくせに、まだ親に部屋の掃除をしてもらっている。
 ③今度入社した人は、新人のくせにあいさつもしない。
 ④あの人はお金もないくせに、旅行ばかりしている。

☞ 「～くせに」の前後の文は、主語が同じ。

🔗 連体修飾型 +くせに



3 ～つつ・～つつも【～ているのだが】



- ①悪いと知りつつ、友達の宿題の答を書いてそのまま出してしまった。
 ②毎日お返事を書かかなければと思いつつ、今日まで日がたってしまいました。
 ③悪いと知りつつも、ごみを分別せずに捨ててしまう。
 ④顔色の悪い佐藤さんのことが気になりつつも、急いでいたので何も聞かずに帰って来てしまった。

☞ 話す人が反省したり後悔したり告白したりする場合に使われることが多い。

🔗 動詞の(ます)形 +つつ → 7課2「～つつ」



4 ～ものの・～とはいいうものの【～けれども／～のに】

●「～のことは一応本当なのだが、そのことから考えられる通りにはいかない」と言いたい時に使う。

- ①頭ではわかっているものの、実際に使い方を言葉で説明するのは難しい。
 ②コンピューターの使い方は専門家の兄に聞けばいいと思うものの、兄はいつも忙しいので聞きにくい。
 ③立春とはいいうものの、春はまだ遠い。
 ④オリンピックは「参加することに意義がある」とはいいうものの、やはり自分の国の選手には勝ってほしいと思う。

5 ~にもかかわらず【~のに、それでも】

● 「~の事実から予想されることとは違った結果になる」と言いたい時。

① 耳が不自由というハンディキャップがあるにもかかわらず、彼は優秀な成績で大学を卒業した。

② 「本日は雨にもかかわらず大勢の方々がお集まりくださって本当にありがとうございました。」

③ あれだけ多くの人が出たにもかかわらず、犯人の顔を見た人は一人もいなかった。

☞ 後の文は話す人の驚き、意外、不満、非難などの気持ちを表す文が多い。

名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある) +にもかかわらず →14課2「~にかかわらず・~に(は)かかわりなく」

6 ~にしても・~にしろ・~にせよ【~のはわかるが、しかし】

① あ的那个人は一日中忙しかったにしても、「今日は帰れない」という電話をかける時間ぐらいあったと思う。

② 今度の事件とは関係がなかったにしろ、あのグループの人たちが危ないことをしているのは確かだ。

③ 西さんほどではないにせよ、林さんだつてときどき遅れて来る。

☞ 後の文には話す人の意見、不審や納得できない気持ち、非難、判断、評価が来ることが多い。

名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある) +にしても

→15課3「~にしても~にしても・~にしろ~にしろ・~にせよ~にせよ」、

21課3「~としても・~にしても」、21課4「~にしろ・~にせよ」

7 ~といっても【~というけれども、実は】

● 「~から期待されるものと違って、実は~だ」と説明をする時の言い方。

- ①わたしの住んでいるところはマンションといっても9戸だけの小さなものです。
- ②入学金は高いといっても払えない額ではなかった。
- ③アフリカで暮らしたことがあるといっても、実は3か月だけなんです。
- ④彼はロシア語ができるといっても日常会話だけで、読んだり書いたりはだめだ。

☞ ① ② ③ ④ ふつう後の文には、話す人の意見、判断などの文が来ることが多い。

① ② ③ ④ 名詞／普通形型 + といっても



8 ～からといって【～ということから当然考えられることとは違って】

- ①大学を出たからといって、必ずしも教養があるとは言えない。
- ②アメリカに住んでいたからといって、英語がうまいとは限らない。
- ③「幼いからといって油断するな。あの子は将棋じゃ大人を負かすほど強いぞ。」
- ④「あの人はお金持ちだから、きっと寄付してくれるよ。」
「金持ちだからって、寄付をしてくれるとは限らないよ。」

☞ 1 後の文には「～わけではない、～とは限らない、～というわけではない」などの部分否定の文が来ることが多い。話す人の判断や、批判を言う時によく使う。

☞ 2 「～からって」は口語。

① ② ③ ④ 普通形型 + からといって



9 ～といえども【～だが／～とはいっても】

●特別な立場の人やものや場合を取り上げ、「～だが、それでも」と言う時。

- ①祖父は88歳といえども、まだまだやる気十分だ。
- ②副主任といえども、彼は監督者だったのだから、事故の責任は逃れられない。
- ③彼は暴力で友達から金を取り上げるということをしたのだから、未成年といえども罰を受けるべきだ。

① ② ③ ④ 名詞／普通形型 + といえども →16課 I・4「～といえども」、21課 5「～といえども」



10 ～とはいえ【～けれども】

●「～」から受ける印象や特徴の一部を否定して実際のことを説明する表現。

- ①彼は留学生とはいえ、日本語を読む力はふつうの日本人とほとんど同じです。
- ②ここは山の中とはいえ、コンピューターもファックスもあるから不便は感じない。
- ③新聞に書いてあるとはいえ、これがどこまで本当のことかはわからない。
- ④梅雨が明けたとはいえ、朝夕は涼しくて少し寒いくらいだ。

👁️ ふつう後の文には話す人の意見、判断などの文が来ることが多い。

🔗 名詞／普通形型 + とはいえ



11 ～ながらも【～けれども／～のに】

- ①今月引っ越したばかりの新しい事務所は狭いながらも駅に近いので満足している。
- ②彼は豊かな音楽の才能に恵まれながらも、その才能を十分に生かせないうちに病に倒れ、32歳で亡くなってしまった。
- ③ミレーはあれほど多くの優れた作品を残しながらも、当時は絵が売れず生活は非常に貧しかったという。

👁️ 「～ながら」より硬い表現。使い方や意味は同じ。

🔗 「～ながら」と同じ。 → 7課10「～ながら・～ながらに・～ながらの」



12 ～ところを【～のに／～だったのに】

● 「～という状況なのに～した」と言いたい時。

- ①「お忙しいところをご出席くださり、ありがとうございました。」
- ②あの人は疲れているところを、わたしのためにいろいろ調べてくれた。
- ③黙っていてもいいところを彼は「ぼくがやりました」と自分から正直に言った。
- ④お世話になった方が病気と聞き、すぐにお見舞いに行くべきところを、外国にいたためお見舞いにも行けなかった。

👁️ 話す人の感謝や後悔などの感情のこもった言い方が多い。あいさつの時の慣用表現が多い。

👤 他例 お疲れのところを、ご多忙のところを、おやすみのところを

🔗 連体修飾型 + ところを



13 ～ものを【～のに】

● 不満、恨み、非難、後悔、残念な気持ちを込めて言う時の言い方。

- ① 先輩があんなに親切に言ってくれるものを、彼はどうして断るのだろう。
- ② 「知っていれば教えてあげたものを。知らなかったんです……。ごめんなさい。」
- ③ 夏の間にもう少し作業を進めていけばよかったものを。怠けていたものだから、今になって、締め切りに追われて苦しんでいる。
- ④ あの時、薬さえあれば彼は助かったものを。

☞ ②③④のように、期待とは違ってしまった現実を悔やんだり、不満に思ったりした時によく使われる。④の例のように、後の文が省略される場合が多い。

🔗 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） +ものを

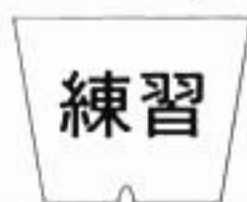


14 ～と思いきや【～かと思ったら、そうではなく】

● 「ふつうに予想すると～だが、この場合は～ではなかった」と意外な気持ちを表す。

- ① 父は頑固だから兄の結婚には反対するかと思いきや、何も言わずに賛成した。
- ② 彼はマリにあんなに会いたがっていたんだから帰国したらすぐに彼女のところに行くかと思いきや、なかなか行かない。どうしたんだろう。
- ③ 父親が大酒飲みだったから彼もどんなにたくさん飲むのだろうと思いきや、一滴も飲めないんだそうだ。

☞ 公式の文や論文などの硬い文章にはあまり使われない。



18 逆接・譲歩

A の中から適切な語を選んで、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a とはいえ b のところを c にもかかわらず
d にしても e しながらも

1 悪天候なのに、それでも 大勢の人が30キロのウォーキング大会に参加した。

()

2 「お金がないのはわかるが、食事ぐらいはちゃんと食べなさい」と母に言われた。

()

3 あの会社は小規模だけれども、なかなかいい業績をあげている。

()

4 お疲れなのに、わざわざ来てくださって、すみません。

()

5 うちの父はテレビの批判をするけれども、それでも、毎日見ている。

()

B の中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a といっても b くせに c からといって d ながら
e ものの f ものを g と思いきや h つつも

ぼくは、母が音楽家であり1 _____、今まで特に音楽に興味^{きょうみ}がなかった。「音楽家の親^{おや}がいる2 _____何も楽器^{がっき}がひけないのか」と友達^{ともだち}に言われて、最近^{さいきん}、ギターでもひけるようになりたいと思うようになった。友達が「一口^{ひとくち}にギター3 _____いろいろあるから、一度見に行ってみたら」と言うので、ある日、秋葉原^{あきはばら}の楽器店^{てん}へ行ってみた。ギターはさぞかし高いだろう4 _____、ぼくにも買えそうな安いのもあった。ぼくが安いギターばかり見ていたら、店員が「初心者^{しょしんしゃ}だ5 _____安い楽器でいいというわけじゃありませんよ」と言う。ぼくは「なるほど」とは思った6 _____、やはり経済状況^{けいざいじょうきょう}を考えて安めのを買った。さて、練習^{れんしゅう}は……せっかく楽器を手に入れたのだから、早く上手^{じょうず}になりたいと思い7 _____、なかなか練習の時間がとれない。その上、母に「このギター、あまり音がよくないわね」と言われてしまった。あの店員のアドバイスを聞いていればよかった8 _____と、ちょっと後悔^{こうかい}している。

ものごとがそうなったわけや、そのように感じたり考えたり判断したりするわけなどと言う時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ことだから b 以上 c ばかりに d おかげで e だけに

- 1 「わたしがやる」と約束した____、何かあっても最後までやります。
- 2 あのまじめな林さんの____、約束の時間を守らないということはないだろう。
- 3 心配していた____、無事だという知らせを聞いて本当にうれしかった。
- 4 漫画家なんかになった____、いつも雑誌の締め切りに追われて忙しい。
- 5 先輩の____、新入社員のぼくも会社に早く慣れることができた。





使えますか

- 1 これだけ資金をつぎ込んだからには、
 - a 失敗は許されない。
 - b 失敗するだろう。
- 2 部屋の電気が消えているところを見ると、
 - a 田中さんは留守だった。
 - b 田中さんは留守だろう。
- 3 はじめに水を1cc加えなかったばかりに、
 - a 実験は失敗してしまった。
 - b 実験は成功するだろう。
- 4 子どもの頃、重い病気をしたせいで、
 - a わたしは今でも体が弱い。
 - b 今からでもがんばろう。
- 5 リンさんはさすが漫画家だけあって
 - a 人の表情をかくのがうまい。
 - b 不規則な生活をしている。

答は次のページにあります。

I 原因・理由 その1 そうなったわけやそう思うわけを言いたい時

 2級	 1級
1 ~によって・~による 2 ~から・~ことから・ ~ところから 3 ~からこそ 4 ~につき	5 ~こととて 6 ~とあって 7 ~ゆえ(に)・~ゆえの

I・1 ~によって・~による【~が原因で】


- ①この店はいっさくねん一昨年からのふけいき不景気によってついに店を閉めることとなった。
- ②女性じょせいの社会進出しんしゅつが進んだことにより、女性じょせいの社会的地位てきちいもだんだん向上こうじょうしてきた。
- ③地震じしんによる被害者ひがいしゃは6千人以上になるようだ。


 めいし名詞 + によって

→13課1「~によって・~による」

I・2 ~から・~ことから・~ところから【~が原因で/~が理由で】

- ①たばこの火ふの不始末ふしまつから火事になった。
- ②友人ともの無責任むせきにんなひとことから、彼女かのじょは会社にいられなくなって会社をやめた。
- ③この辺へんは桜さくらの木が多いことから、桜木町さくらぎちょうと呼ばれるようになった。
- ④彼女はアラビア語ができるということから、オリンピックオリンピックの通訳つうやくに推薦すいせんされた。
- ⑤灰皿はいざらに煙けむりの立っている吸い殻すが残のこっていたところから、犯人はんじんはまだ遠くへは行っていないと思われる。

 「~ところから」は外にも理由があると思われる、という気持ちくわが加わる。


 名詞 + から れんたいしゅうじゅくがた連体修飾型 (「名詞+の」の形かたちはない) + ことから



1 b 2 a 3 e 4 c 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 a



I・3 ～からこそ A【～から】

●「～」がただ一つの理由であり、大切であることを強調したい時に使う。

- ①「あなただからこそ、話すのです。外の人には言いませんよ。」
- ②彼は数学や英語の成績がよかったからこそ、合格できたのでしょう。
- ③先生に手術をしていただいたからこそ、再び歩けるようになったのです。

👉 1 「～からこそ、～のだ。」という形の使い方が多い。


👉 2 ×努力しなかつたからこそ、合格できなかつたのですよ。

マイナスの意味を強める時にはあまり使われない。

～からこそ B【～から、かえって】

●常識に反する理由だが、その理由を特に言いたい時の言い方。

- ①かわいいと思っているからこそ、厳しくしつけるのです。
- ②知らない人ばかりだったからこそ、言いにくいことも言うことができたのだ。
- ③雨だからこそ、うちにいたくない。雨の日にうちにいるのは寂しすぎる。



I・4 ～につき【～のため】




①店内改装中につき、しばらく休業いたします。

②本日は祭日につき、休業。

③この手紙は料金不足につき、返送されました。(郵便局からの通知)

👉 お知らせ、掲示、張り紙など、通知の文の決まった言い方。

🔗 名詞 + につき



I・5 ～こととて【～ことだから】



①「世間知らずの若者のしたこととて、どうぞ許してやってください。」

②「山の中の村のこととて上等な料理などございませんが……。」

③子どものこととて、何を聞いても泣いてばかりいる。

🔗 連体修飾型 + こととて



I・6 ～とあって【～というわけで／～ので】



●「～ので～だ」という^{かんさつ}観察などを言いたい時。

- ①外国へ行くのは^{はじ}初めてとあって、会員たちはみんな^{こうふん}興奮していた。
- ②^{さいまつ}歳末大売り出しが始まったが、^{ふけいき}不景気とあって、デパートの^{ひとで}人出はよくなかった。
- ③^{ひさ}久しぶりの^{せいてん}晴天の^{きゅうじつ}休日とあって、山は^{こうよう}紅葉を楽しむ人でいっぱいだ。
- ④^{くる}苦しい^{れんしゅう}練習を越えての^こ優勝とあって、どの^{せんしゆ}選手の^{かお}顔も^{よろこ}喜びにあふれていた。

後の文では特別な^{ようす}様子や^{じょうきよう}状況についての話す人の観察を言う。



I・7 ～ゆえ（に）・～ゆえの【～から／～のため】



- ①^{えんだか}円高ゆえ、今年の^{かいかい}夏休みに^{ひとびと}海外に出かけた人々は^{れいねん}例年より多かった。
- ②新しい仕事は^な慣れぬことゆえ、^{しっぱい}失敗ばかりしております。(手紙文)
- ③^{とうじ}当時は^{まず}貧しさゆえに、小学校に行けない子どももいた。
- ④^{はんこう}犯行の^{げんいん}原因は^{あいじょう}家族の愛情が^{とぼ}乏しかったゆえのことだろうか。

少し古い^{ぶんごてき}文語的な^{ひょうげん}表現。

^{めいし}名詞(+の)／^{れんたいしゅうじよくがた}連体修飾型(「な」と「の」がない場合もある) +ゆえに

II原因・理由 その2 ^{げん いん} ^{り ゆう} そうなったわけ、またはある^{はんだん}判断をするわけを言いたい時



- 1 ～おかげで・～おかげか・
～おかげだ
- 2 ～せいで・～せいか・～せいだ
- 3 ～ものだから・～もので・～もの
- 4 ～ばかりに
- 5 ～だけに・～だけの
- 6 ～だけあって
- 7 ～あまり・～のあまり・
あまりの～に



- 8 ～ばかり

II・1 ～おかげで・～おかげか・～おかげだ【～の助けで】

●「～の助けがあったので、よい結果になった」と感謝の気持ちで言う時。

- ①母は最近新しく発売された新薬のおかげで、ずいぶん元気になりました。
- ②彼がけさ電話をかけてきてくれたおかげで、遅刻しないですんだ。
- ③夜の道路工事が終わったおかげか、昨夜はいつもよりよく寝られた。
- ④今日、私が指揮者として成功できたのは齊藤先生の厳しいご指導のおかげです。

連体修飾型 + おかげで

II・2 ～せいで・～せいか・～せいだ【～が原因で】

●「～の原因で、悪い結果となった」と言いたい時の言い方。

- ①林さんが急に休んだせいで、今日は3時間も残業しなければならなかった。
- ②マリが授業中に何回も話しかけてくる。そのせいでわたしまで先生に叱られてしまう。
- ③タンさんは最近体の具合が悪いと聞いているが、気のせいか、顔色が悪く見える。
- ④兄さんが今日晩御飯を全然食べなかったのは病気のせいだと思う。

連体修飾型 + せいで

II・3 ～ものだから・～もので・～もの【～ので】

●個人的な言いわけを言いたい時によく使う言い方。

- ①先生「どうして遅刻したんですか。」
学生「目覚まし時計が壊れていたものですから。」
- ②姉「あっ、わたしのベストまた着てる。どうして、黙って着るの。」
妹「だって、これ、好きなんだもん。それに、お姉さん、いなかったし……。」
- ③今週は忙しかったもので、お返事するのがつい遅くなってしまいました。(手紙文)

連体修飾型 (「名詞+の」は「名詞+な」になることが多い) + ものだから

II・4 ～ばかりに【～ことが原因で】

●「そんなことが原因で、予想外の悪い結果となってしまった」と言いたい時。

- ①注意を忘れてちょっと生水を飲んだばかりに、おなかを悪くしてしまった。
 ②パスポートを取りに行ったが、はんこを忘れたばかりに、もらえなかった。
 ③コンピューターの知識がないばかりに、社内の希望の課に行けなかった。

☞ 後には悪い結果の文が来る。当然、「～するつもり」など人の意志を表す文は来ない。話す人の後悔の気持ち、残念な気持ちを表す。

㊦ 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） +ばかりに



II・5 ～だけに・～だけの A【～ので、それにふさわしく】

- 「～ので、当然のことだが」と言いたい時。

- ①連休だけに、道路は行楽地へ向かう車でいっぱいだ。
 ②辻さんは子どもの時からイギリスで教育を受けただけに、きれいな英語を話す。
 ③さすがスピーチ大会で優勝したタンさんだけのことはある。今日のパーティーのスピーチもとても上手だった。

☞ 前の文で理由となる事実を言い、後の文では「その価値、能力にふさわしく～だ」と当然出てくる評価や判断などを強調して言う。

共起 さすが～だけに

～だけに・～だけの B【～ので、もっと】

- 「～ので、～ふつう以上に」という意味。

- ①父は年をとっているだけに、病気をすると心配だ。
 ②この都市には電車がないだけに、市民生活にとってよい道路が大切なのです。
 ③体調が悪くてあきらめていただけに、今日の優勝は特にうれしい。

㊦ 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） +だけに



II・6 ～だけあって【～ので、それにふさわしく】

- 「その才能や身分にふさわしく～だ」と感心したり、ほめたりする時の言い方。

- ①ここは一流ホテルだけあって、サービスがとてもいい。
 ②さすがオリンピックの選手だけあって、期待どおりの見事な演技を見せてくれた。

③10年もフランスに住んでいただけあって、彼女は洋服のセンスがよい。

共起 さすが～だけあって

⑤ 「～だけに」と同じ。

II・7 ～あまり・～のあまり・あまりの～に【～すぎるので/あまり～ので】

● 「～すぎるので、ふつうでない状態やよくない結果になった」と言う時の表現。

①今のオリンピックは勝ち負けにこだわるあまり、スポーツマンシップの大切なものをなくしているのではないか。

②問題は簡単だったのに、考えすぎたあまり、間違えてしまった。

③夫が突然の事故で亡くなったので、彼女は悲しみのあまり仕事が手につかなくなっていました。

④合格の知らせを聞いて、彼女はうれしさのあまり泣き出した。

⑤今年の夏はあまりの暑さに食欲もなくなってしまった。

☞ 「～のあまり」の「～」には感情を表す言葉が来る。「あまりの～に」の「～」には形容詞に「さ」がついた名詞が来ることが多い。

他例 驚きのあまり、心配のあまり、感激のあまり、懐かしさのあまり

他例 あまりの難しさに、あまりのやさしさに、あまりの寒さに、あまりの寂しさに

⑤ 連体修飾型（肯定形だけ） +あまり あまりの+名詞+に

II・8 ～ばこそ【～から】

● 「～から～のだ。ほかの理由ではない」と言いたい時に使う表現。

①君の将来を考えればこそ、忠告するのだ。

②音楽があればこそ、こうして生きていく希望も湧いてくる。



③私が勤めを続けられるのも、近所に子どもの世話をしてくれる人がいればこそだ。

④練習が楽しければこそ、もっとがんばろうという気持ちにもなれるのだ。

☞ 話す人の積極的な姿勢の理由を強く言う言い方。「～」は状態の表現が多い。

III 原因・理由 その3

決心、判断、推量などをする時の理由を言いたい時

 2級	 1級
1 ~以上 (は) 2 ~上は 3 ~からは・~からには 4 ~ことだから・~ことだ 5 ~ところをみると	6 ~ではあるまいし

III・1 ~以上 (は)【~のだから】

●「~のだから、^{とうぜん}当然」と理由を言い、話す人の判断、^{けつい}決意、^{すす}勧めなどを言う時。

- ① ^{やくそく}約束した以上、^{まも}約束は守るべきだと思う。
- ② この学校に入学した以上、^{こうそく}校則は守らなければならない。
- ③ 学生である以上は、^{だいいち}勉強を第一にきなさい。

☞ 後の文には推量、判断、決意、^{こころがま}心構え（「~べきだ、~つもりだ、~はずだ、~にちがいない、~てはいけない」など）のような話す人の意志の表れた言い方、または^{きんし}勧め、^{あいて}禁止などの話し相手へ働きかける言い方がよく使われる。このことは2「~上は」、3「~からは・~からには」も同じ。

🔗 ^{れんたいしゅうじょくがた}連体修飾型（「^{めいし}名詞+の」の^{かたち}形はない） + 以上 (は)

III・2 ~上は【~のだから】

●「~のだから当然」と理由を言い、話す人の判断、決意、勧めなどを言う時。

- ① 社長が^{けつだん}決断した上は、^{われわれ}我々社員はやるしかない。
- ② 実行する上は、^{じゅうぶん}十分な^{じゅんび}準備が^{ひつよう}必要だ。
- ③ やろうと^{けつしん}決心した上は、たとえ^{けつ}結果が悪くても^{ぜんりょく}全力をつくすだけだ。
- ④ ^{おやもと}親元を^{はな}離れる上は、^{かくご}十分な覚悟をしてもらいたい。

☞ 1「~以上 (は)」の☞を参照。^{さんしやう}

🔗 連体修飾型 + 上は

III・3 ～からは・～からには【～のなら／～のだから】

●「～のなら、^{とうぜん}当然」と理由を言い、話す人の^{はんだん}判断、^{けつい}決意、^{すす}勧めなどを言う時。

- ①ひきうけたからは^{せきにな}責任があるのだ。
- ②「やるからには、^{さいご}最後までやれ。」
- ③日本に来たからには、日本のことを^{てっていき}徹底的に知りたい。
- ④こちらからお願いするからには、^{れい}できるだけのお礼をさせていただきます。

☞ 「～以上（は）」の☞を^{さんしやう}参照。

🔗 普通形型（な^ふつうけいがた けいようし めいし 形容詞と名詞は「である型」） +からは

III・4 ～ことだから・～ことだ【～なのだから】

●お互いにわかっている「～」から^{すいりやう}判断して、^{たが}推量したことを言う時に使う。

- ①戦争中^{せんそうちゆう}のことだから、何が起るかわからない。
- ②「林さん、^{おそ}遅いですね。来ないんでしょうか。」
「いや、いつも遅く来る彼の^{かれ}ことだ。きっと20分ぐらいしたら来るよ。」
- ③健^{けん}のことだ。^{おこ}怒ってカッとなったら、何を^{おこ}するかわからない。

☞ 前の文で、話す人の^{しゆかんてき}主観的な判断のわけを言う。③のように話す人と聞く人の間でお互いにわかっていること（この場合は健^{けん}の^{せいかく}性格）は^{しょうりやく}省略されることが多い。


🔗 名詞+の +ことだから

III・5 ～ところをみると【～から判断すると】

●「～の様子を見て～と^{すいそく}推測される」と言いたい時に使う。

- ①^{へや}部屋の電気がついているところをみると、^{もり}森さんはまだ起きているようだ。
- ②互いに^{えんりよ}遠慮し合っているところをみると、あの二人はそう^{した}親しい^{かんけい}関係ではないのだらう。
- ③今回の^{こんかい}募集^{ぼしゆう}に対して、^{よそう}予想以上^{もう}に^こ申し込みが多かったところをみると、この^{きかく}企画は^{せい}成功^{こう}するかもしれない。

 後の文は推量や断定の表現が来る。

 連体修飾型 +ところをみると



III・6 ～ではあるまいし【～ではないのだから】

● 「～ではないのだから、当然」と言いたい時の表現。


① 神様ではあるまいし、10年後のことなんかわたしにわかるはずはありません。

② 子ども「この虫とこの虫はよく似ているけど、どこが違うの。」

母 「学者じゃあるまいし、そんな難しいことはママにはわからないわ。」

③ 学生「先生、この申込書、どう書けばいいのですか。」

先生「えっ、外国語で書くのじゃあるまいし、あなたの母国語で書けばいいんだから大丈夫でしょう。」

 後の文には、相手に対する話す人の判断や、主張、話し相手への忠告、勧めなどが来る。いくらか口語的な表現。



19 原因・理由

A の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を_____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a につき b による c ゆえに d ところから e とあって

1 事故_____電車の遅れは15分程度ということだった。

2 今日「成人の日」_____着物やスーツでおしゃれをした若者が多い。

3 この山は姿が富士山に似ている_____、「信濃富士」と呼ばれている。

4 「道路工事中_____、足元にご注意ください。」

5 彼は病弱だった_____希望の道に進めなかった。

a から b こととて c あまりの d 上は e ことだ

- 6 このように方針を決めた____、もう後は迷わずやるだけだ。
- 7 (寮で) 「田中、遅いなあ。もう12時だぞ。」
「あいつの____。またどこかで飲んでいるんだろう。」
- 8 まだこの辺りに不慣れな____、周りの方にご迷惑ばかりかけております。☒
- 9 間違った情報____ひどい目にあった人が大勢いるようだ。
- 10 フルートをちょっと習ってみたが、____難しさについてやめてしまった。

a だけあって b 以上 c によって d せいか e もの

- 11 寝る前にお茶を飲んだ____、ゆうべはなかなか眠れなかった。
- 12 これは昔のイタリアの名人が作った楽器____、素晴らしい音が出る。
- 13 親に高いギターを買ってもらった____、上手にならなきゃ申し訳ない。
- 14 母「また、Tシャツ買ってきたの。たくさんあるじゃないの。」
娘「だって、こんなのほしかったんだ____。」
- 15 今回の規則改正____、会の運営方法が大きく変わった。
- B □の中から適当なものを選んで、()の言葉と一緒に使い、前の文と後の文をつなげなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a あまり b おかげで c ばかりに d だけに e からこそ

(よかった)

- 1 姉の教え方が____、英語の成績が上がった。
(うれしさ)
- 2 母は弟のけががたいしたことはないと聞いて、____泣き
出してしまった。

(買う)

3 無理して新車を_____、しばらくは旅行もできない。
(好きなもの)

4 自分が_____あげるのです。嫌いなものをあげたりしません。

(春休み)

5 今は_____、電車の中や街に子どもたちの姿が目立つ。

a ことだから b からは c ばかり
d ではあるまいし e ところを見ると

おおがねも
(大金持ち)

6 _____、100万円もする楽器は買えない。

(買ってもらった)

7 新しいピアノを_____、一生懸命練習して上手にならなくては。

たなか
(田中さん)

8 お酒が好きな_____、このワインをあげたら、さぞ喜ぶだろう。

(している)

9 青い顔を_____、あき子さんはどこか具合が悪いに違いない。

しんぱい
(心配する)

10 あなたのことを_____、今、厳しいことを言うのです。

もしある状況じょうきょうになったら、または、ある状況のもとでは、そうする、そうなる、と言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a をぬきにしては b ないことには c としたら d さえあれば
 e ようものなら

- 1 結婚けっこんするかどうかわからないが、もしする____30歳さいになる前がいい。
- 2 みんなの協力きょうりやく____この仕事は成功せいこうしなかっただろう。
- 3 家族が病気になると、健康けんこうで____外ほかに何もいらないと思えてくる。
- 4 くつははいてみ____合あうかどうかわからない。
- 5 兄はカメラをととても大切にしている。黙だまって借り____後ごが怖い。



使えますか

- 1 a 時間さえなければ、何もできない。
 b この仕事は時間さえあれば、できる。
- 2 a お金で解決かいけつできるものなら、そうしたい。
 b 春が来るものなら、暖あたたかくなるだろう。
- 3 宝くじでも当たらないかぎり、
 { a 何か別の方法ほうほうを考えよう。
 b 家は買えない。
- 4 a わたしの嫌きらいなケンけんをぬきにしては、パーティーは楽しいだろう。
 b 人気者にんきもののミキみきをぬきにしては、パーティーは楽しくないだろう。
- 5 夜、遅おそく帰ろうものなら、
 { a 父ちちにどなられる。
 b 父が駅えきに迎むかえに来てくれて、うれしい。

答は次のページにあります。

仮定条件・確定条件

もしある状況になったら、または、ある状況のもとでは、そうする、そうなると言いたい時



- 1 ~さえ~ば
- 2 ~としたら・~とすれば・
~とすると
- 3 ~ないことには
- 4 ~ものなら
- 5 ~をぬきにしては
- 6 ~う (よう) ものなら
- 7 ~ないかぎり



- 8 ~が最後・~たら最後
- 9 ~なくして (は)
- 10 ~とあれば



1 ~さえ~ば

●ある状況が成立するのに、一番必要な条件を仮定する時に使う。

- ①うちの子は暇さえあれば、本を読んでいます。
- ②これは薬を飲みさえすれば治るといふ病気ではない。入院が必要だ。
- ③謝りさえすれば許されるといふのは間違いだ。謝っても許されない罪もある。
- ④子どもたちが丈夫でさえあれば、親はそれだけで満足だ。

① 動詞の (ます)形 + さえすれば 名詞 + さえ + 動詞の ~ば形
 ② 形容詞の語幹 + くさえあれば な形容詞の語幹 + でさえあれば



2 ~としたら・~とすれば・~とすると【~と仮定したら】

●「今は~という状況にはないが、もしその状況を仮定すれば」と言いたい時。

- ①「もし、ここに100万円あったとしたら、何に使いますか。」
- ②「T大学を受験するとしたら、どんな準備が必要でしょうか。」



1 c 2 a 3 d 4 b 5 e



1 b 2 a 3 b 4 b 5 a

- ③わたしの言葉が彼を傷つけたのだとしたら、本当に申し訳ないことをしたと思う。
- ④まだ大学に進むかどうかわからないけど、もし行くとすれば、一人暮らしをすることになる。
- ⑤運転免許証を取るのに30万円以上もかかるとすると、今の経済状況では無理だ。

普通形型 + としたら

3 ~ないことには【~なければ】

●「~なければ、後のことは実現しない」と言いたい時に使う。

- ①ある商品が売れるかどうかは、市場調査をしてみないことには、断定できない。
- ②山田さんが資料を持っているんだから、彼が来ないことには会議が始まりません。
- ③体が健康でないことには、いい仕事はできないだろう。

☞ 後には否定の意味の文が来る。話す人の消極的な気持ちを表す場合が多い。

4 ~ものなら【もし~できるなら】

- ①できるものなら鳥になって国へ帰りたい。
- ②「ねえ、田中さんも一緒に旅行に行きましょうよ。」
「ぼくも行けるものなら行きたいんだけど、ちょっと無理そうだなあ。」
- ③スケジュールが自由になるものなら、広島に1泊したいのだが、そうもいかない。

☞ 1 「~ものなら」の前には可能の意味を含む動詞が来る。そして実現が難しそうなことを、「もしできるなら」と仮定して、後の文で希望や命令など話す人の意志を表す。

☞ 2 「~のようなことになるなら」と仮定して、後の文で希望や命令など話す人の意志を表す使い方もある。

- ・どうせ治らないものなら、手術なんか受けたくない。
- ・来てくれるものなら、早く来てほしい。

動詞の辞書形 + ものなら



5 ～をぬきにしては【～を考えに入れずには】

●「～を考えに入れないと、後のことがらの実現が難しい」という時に使う。

①料理の上手な山田さんをぬきにしては、パーティーは開けません。

②モーツァルトの一生は父との旅をぬきにしては語るができない。

③この国の将来は、観光事業の発展をぬきにしてはあり得ない。

👉 後には「～することができない、難しい」という否定的な意味の文が来る。

→7課6「～をぬきにして・～はぬきにして」



6 ～う（よう）ものなら【もし～のようなことをしたら／もし～のようなことになったら】

●「もしそんなことをしたら大変なことになる」と言いたい時に使う。

①この学校は規則が厳しいから、断らずに欠席しようものなら、大変だ。

②彼のような責任感のない人が委員長になろうものなら、この委員会の活動はめちゃくちゃになる。わたしは反対だ。

③大川さんはこの仕事に人生をかけている。もし失敗しようものなら、彼は二度と立ち直れないだろう。



7 ～ないかぎり【～しなければ】

●「前のことがらが成立しなければ、後のことがらが実現しない」と言いたい時。

①この建物は許可がないかぎり、見学できません。

②責任者の田中さんが賛成しないかぎり、この企画書を通すわけにはいかない。

③参加各国の協力が得られないかぎり、この大会を今年中に開くことは不可能だ。

👉 後の文には、否定や困難の意味を表す文が来る。ただし、その部分が省略されることもある。

- ・化学の実験で水とえば、特に断らないかぎり、(ふつうの水ではなく)蒸留水のことを指す。



8 ～が最後・～たら最後【もし～のようなことをしたら／もし～のようなことになったら】

- 「最後」という言葉の示すとおり、「～のようなことをしたら、もうすべてがだめになる、最後だ」という気持ちが強い。

- ①ワープロのこのキーをいったん押したら最後、フロッピーの中のメモリーは全部消えてしまいます。
- ②父は厳しい人だ。父の言うことにちょっとでも反対したら最後、ぼくはこの家にいられなくなるだろう。
- ③彼は国境を一歩出たが最後、二度と故郷には戻れないことを知っていた。

🔗 動詞の～た形 + が最後 動詞の～たら形 + 最後



9 ～なくして (は) 【～がなければ】



- 「～がなければ、後のことは実現しない」と言いたい時に使う。

- ①努力なくしては成功は難しいだろう。
- ②事実の究明なくしては、有罪か無罪かの正しい判断などできるはずがない。
- ③愛なくして何のための人生だろうか。

👉 「～」には望ましい意味の名詞が来る。後には否定的な意味の文が来る。

🔗 名詞 + なくして (は)



10 ～とあれば【～なら】



- 「～のためなら、そのことは受け入れられる」と言いたい時に使う。

- ①子どもの教育のためとあれば、多少の出費もしかたがない。
- ②彼は人柄がいいから、彼のためとあれば協力を惜しまない人が多いだろう。

👉 後には依頼や誘いの文は来ない。



20 仮定条件・確定条件

□の言葉を使って、下線の言葉を言い換えなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a さえ～ば b としたら c ないことには d ものなら
e をぬきにしては f う(よう)ものなら g ないかぎり
h たら最後 i なくして(は) j とあれば

- もし世界一周旅行に行くと仮定したら、飛行機と船旅とどちらがいいだろうか。
()
- この会は一般会員の人たちの協力を考えに入れずには運営できない。
()
- 設備も人材もそろっている。ただ、もう少し研究費があれば、より満足のいく仕事ができるのだが。
()
- あの人にお金を渡したらもう終わり、なくなるまでお酒を飲んでしまう。
()
- こんな仕事、やめられるなら、すぐにでもやめたい。でも、そういうわけにもいかないし。
()
- お世話になった木村さんのためなら、相当の援助を惜しまないつもりだ。
()
- 実際に会ってみなければ、彼がどんな人かわからない。
()
- もしも弱い者いじめのようなことをしたら、父は私を許さないでしょう。
()
- 君との友情がなければ、ぼくは今日まで生きては来られなかった。
()
- 彼が誠意を示さなければ、私は二度と彼と仕事をするつもりはない。
()

ある状況じょうきょうになってもそうする、そうなると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- 1 たとえ大きい地震じしんが (a 起きたら b 起きても c 起きると)、このビルは大丈夫だいじょうぶだろう。
- 2 今からどんなに (a がんばったところで b がんばったら c がんばれば)、もうどうにもならない。
- 3 どんな事業じぎょうを始める (a としたら b としても c とすれば)、資金しきんが必要ひつだ。
- 4 あなたがどちらの進路しんろを選択せんたくする (a として b としろ c にせよ)、わたしはあなたを応援おうえんし続つづけます。
- 5 結婚けっこんするにしろ、しない (a とせよ b にしろ c にせよ)、早く自分の家を持ちたい。



使えますか

- 1 a たとえ1日が24時間でも、
b たとえ1日が30時間でも、 } わたしはやっぱり忙いそしい。
- 2 どんなに急いそいだところで、 { a 8時の新幹線しんかんせんに乗れるはずだ。
b 8時の新幹線しんかんせんに乗れるはずがない。
- 3 a 誰だれか訪ねて来るとしても、
b 誰も訪ねて来ないとしても、 } いつも部屋へやをきれいにしておきなさい。
- 4 どんなに高いものであるにせよ、 { a 彼かれなら買えるはずだ。
b わたしには買えるはずがない。
- 5 a わたしの母は84歳さいにしろ、まだまだ元気だ。
b どこへ行くにしろ、母はわたしと一緒いっしょに行きたがる。

答は次つぎのページにあります。

ぎゃく せつ か てい じょう けん
逆接仮定条件 ある状況になってもそうする、そうなりと言いたい時

2級	1級
1 たとえ～ても	5 ～といえども
2 ～たところで	6 ～であれ
3 ～としても・～にしても	7 ～う(よう)が・ ～う(よう)と(も)
4 ～にしろ・～にせよ	8 ～う(よう)が～まいが・ ～う(よう)と～まいと



1 たとえ～ても【もし～ということになっても】

● 「～が成立しても、それに関係なく後の文のようになる」と言いたい時。

- ① たとえ雪が降っても、仕事は休めません。
- ② たとえお金がなくても、幸せに暮らせる方法はあるはずだ。
- ③ たとえ困難でも、これを一生の仕事と決めたのだから最後までがんばりたい。
- ④ たとえそのうわさが事実でも、あの先生に対するわたしの信頼は崩れません。



2 ～たところで【～ても】

● 「～が成立しても、結果は予期に反して無駄なこと、役に立たないことになってしま
う」という話す人の判断を言いたい時に使う。

- ① 今から走って行ったところで、間に合うはずがない。
- ② 周りの人が何を言ったところで、彼は自分の意見を曲げないだろう。
- ③ いくら働いたところで、こう物価が高くては生活は楽にはならない。

☞ 後の文は話す人の主観的判断、推量などの文が多い。

共起 たとえ～たところで、いくら～たところで、疑問詞～たところで



1 b 2 a 3 b 4 c 5 b



1 b 2 b 3 b 4 a 5 b



3 ～としても・～にしても【～と仮定しても】

●「今は～ではないが、もしそうなっても関係なく」と言いたい時に使う。

- ①たとえわたしが大金持ちだとしても、毎日遊んで暮らしたいとは思わない。
- ②仮にわたしが病気で倒れたとしても、これだけの蓄えがあれば大丈夫だろう。
- ③いつかはこのアパートを出なければならぬにしても、あまり遠くへは引っ越したくない。
- ④「賛成するにしても反対するにしても、それなりの理由を教えてください。」

共起 たとえ～としても、仮に～としても、疑問詞～としても

普通形型 + としても 名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。

ただし、「である」がない場合もある) + にしても

→15課3 「～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ」、

18課6 「～にしても・～にしろ・～にせよ」



4 ～にしろ・～にせよ【～と仮定しても】

●「今は～ではないが、もしそうなっても関係なく」と言いたい時に使う。


- ①たとえ家を買うにしろ、親にお金を出してもらうわけにはいかない。
- ②就職先がたとえ小さな会社であるにしろ、就業規則というものがあるはずだから、それに従わなければならない。
- ③参加するにしろしないにしろ、返事は早くした方がいい。
- ④どんなことをするにせよ、十分な計画と準備が必要だ。
- ⑤どんなにわずかな額の予算にせよ、委員会の承認を得なければならない。

共起 たとえ～にしろ、仮に～にしろ、疑問詞～にしろ

普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」) + にしろ

→15課3 「～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ」、

18課6 「～にしても・～にしろ・～にせよ」



5 ～といえども【～でも】

●極端な立場のものを仮定して、「それほどの～でも」と言いたい時に使う。

- ①どんな悪人といえども、悪いことをした後いい気分はしないと思う。

- ②どれほどの悪条件といえども、一度決めた計画は必ず実行しなければならない。
- ③たとえ宗教といえども、人の心の自由を奪うことはできないはずだ。
- ④いかなる知識人といえども、50年後のわが国の姿を正確には予想できないのではないだろうか。

共起 たとえ～といえども、疑問詞～といえども

名詞 + といえども →16課 I・4 「～といえども」、18課 9 「～といえども」



6 ～であれ【～でも】



- ①命令されたことが何であれ、きちんと最後までやらなければならない。
- ②引っ越し先がどこであれ、きっとその土地が好きになると思います。
- ③たとえ相手が社長であれ、わたしは自分の意見をはっきり言おう。
- ④どのような体制の国家であれ、教育を重視しない国家は発展しないだろう。

☞ 後の文は話す人の主観的判断や推量を表す文が来ることが多い。

共起 たとえ～であれ、疑問詞～であれ

名詞 + であれ →15課 7 「～であれ～であれ」



7 ～う（よう）が・～う（よう）と（も）【～ても】

- ①誰が何と言おうが、わたしは決心を曲げないつもりだ。
- ②あの人は周りがどんなにうるさかろうが、気にしない人です。
- ③どんなに悪く言われようと、あの人は平気らしい。
- ④あの人は他人がどんなに困っていようとも、心を動かさない人だ。

共起 たとえ～う（よう）が、疑問詞～う（よう）が



8 ～う（よう）が～まいが・～う（よう）と～まいと【～ても～なくても】

●二つの対立することからを仮定して、どちらの場合にも後の文が成立すると言いたい時に使う。

- ①雨が降ろうと降るまいと、この行事は毎年必ず同じ日に行われます。
- ②あの人が来ようとするまいと、わたしには関係ないことだ。

③ 「参加しようがするまいが、会費だけは払わなければなりませんよ。」

🔗 動詞の辞書形 (動詞II、IIIは「(ない)形+まいが」もある。「するは」は「すまい」もある) +まいが →10課II・1 「～う(よう)か～まいか」



21 逆接仮定条件

() 中の言い方を使って下線の言葉を書き換えなさい。

1 病気になってもこの仕事はやめられない。(たとえ～ても)

()

2 人に何と言われても、私は自分の決心を変えるつもりはない。(～う(よう)と)

()

3 雨が降っても雪が降っても、走る練習をしなければならない。(～う(よう)が)

()

4 どんなに忠告しても、あの人は聞き入れないでしょう。(～たところで)

()

5 一人暮らしをすると仮定しても、親元からあまり離れたくない。(～としても)

()

6 たとえ親友でも、悪いことをすればわたしは許さない。(～といえども)

()

7 この計画を実行するかしないか、今検討中です。どちらになる場合でもあさって

までに結論を出します。(～にせよ) ()

8 相手が誰でも、あの人はていねいな言葉を使わない人ですね。(～であれ)

()

9 男でも女でも、仕事には責任をもたなければいけない。(～だろうと)

()

10 休み中帰国してもしなくても、このレポートは必ず仕上げなさい。(～う(よう)

と～まいと) ()

ある事情によりそのことができない、できる、難しい、やさしいと言いたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか

a かねて b がたい c ようがない d 得ない e わけにはいかない

- 1 テレビの修理屋が今日来るって言っていたから、留守にする_____。
- 2 彼からは国を出てから何の連絡もないので、手紙の出し_____。
- 3 彼が最近言ったり書いたりしていることは、理解し_____ことが多い。
- 4 入ったばかりの会社をやめることになってしまったのだが、このことは両親には言い出し_____いる。
- 5 彼はその晩わたしの家にいたのだから、事件の場所にいたなどということはあり_____。



使えますか

- 1 a わたしの仕事は夜の仕事なので、朝早くは起きがたい。
b 労働条件についての会社側のこの提案は受け入れがたい。
- 2 a それについてはすぐにはお答えしかねます。
b 新しいワープロを買いたかったのだが、お金が足りなくて買いかねた。
- 3 a 法律では未成年者はたばこを吸うわけにはいかないことになっている。
b 彼女からのせっかくのプレゼントだから、大きすぎて着られないなどと言うわけにはいかない。
- 4 a 材料が何もないのだから、
b 今日は疲れているのだから、 } おいしい料理なんか作りようがない。
- 5 a ここから富士山が見え得ますか。
b 考え得る方法は、もうみんな試してみたのだが……。

答は次のページにあります。

ふ か のう か のう こん なん よう い
不可能・可能・困難・容易

ある事情によりそのことができない、
 できる、難しい、やさしいと言いたい時



- 1 ~がたい
- 2 ~わけにはいかない
- 3 ~かねる
- 4 ~ようがない・~ようもない
- 5 ~得る・~得ない



- 6 ~う(よう)にも~ない
- 7 ~にかたくない
- 8 ~に足る
- 9 ~にたえる・~にたえない



1 ~がたい【~するのは難しい】

- ①あの元気なひろしが病気になるなんて信じがたいことです。
- ②弱い者をいじめるとは許しがたい行為だ。
- ③幼い子どもと離れて暮らすことは彼には耐えがたかったのだろう。

☞ ×わたしにはコンピューターは難しく、使いがたいです。

×まだけがが治っていないので、長い時間は歩きがたい。

「能力的にできない」という意味では使わない。

🌀 動詞の(ます)形 +がたい



2 ~わけにはいかない【~できない】

- 「~をしたい気持ちはあるが、社会的、道徳的、心理的などの理由でできない」と言いたい時。

- ①あしたは試験があるから、今日は遊んでいるわけにはいかない。
- ②「これは死んだ友人がくれた大切なもので、あげるわけにはいかないんです。」
- ③資源問題が深刻になってきて、企業もこれを無視するわけにはいかなかった。

🌀 動詞の辞書形 +わけにはいかない →27課II・1「~ないわけにはいかない」



1 e 2 c 3 b 4 a 5 d



1 b 2 a 3 b 4 a 5 b



3 ～かねる【～できない】



●「気持ちの上で抵抗ていこうがあって～できない、～することは難しいむづか」という意味。

①親の希望きぼうを考えると、結婚けっこんのことを両親りょうしんに言い出しかねています。

②わたしの経済的けいざいてきに困った状況じょうきょうを見かねたらしく山田やまださんが助けてくれた。

③客 「ホンコン行きの飛行機ひこうきは何時に出ますか。」

係りかかりの人「ここではわかりかねますので、あちらのカウンターでお聞きください。」

④客 「A席の切符きっぷをB席と取り替かえてもらえませんか。」

係りかかりの人「申し訳わけございませんが、予約よやくがいっぱいですのでご希望ごうきんに応じかねます。」

☞ ③④は、サービス業ごうなどで客の希望ごうきんに応じられないことを婉曲えんきよくに言う例である。

🔗 動詞どうしの(ます)形けい +かねる



4 ～ようがない・～ようもない【～できない】

●「そうしたいが、その手段しゅだん、方法ほうほうがなくてできない」と言いたい時に使う。

①あの人の住所も電話番号ばんごうもわからないのですから、知らせようがありません。

②推薦状すいせんじょうを書いてくれと言われても、あの人のことをよく知らないのだから、書きようがない。

③社員はやる気があるのだが、会社の方針ほうしんがかわらないのだからどうしようもない。

④夜遅く、電車もバスもなくなり、どうしようもなく歩いて帰りました。

🔗 動詞どうしの(ます)形けい +ようがない



5 ～得る・～得ない【～の可能性かのうせいがある/できる・～の可能性かのうせいがない/できない】



①これは仕事を成功させるために考え得るさいじょう最上の方法です。

②患者かんじゃ「やはり手術しゅじゅつをしなければならいんでしょうか。」

医者「ええ、そういうこともあり得ますね。」

③彼が事件じけんの現場けんばにいたなんて、そんなことはあり得ない。

④この事故じこはまったく予測よそくし得ぬことであった。

③ 動詞の(ます)形 + 得る

6 ~う(よう)にも~ない【~しようと思ってもできない】

●「~したくても、それを妨げる事情があつてできない」という意味。

- ①大切な電話がくることになっているので、出かけようにも出かけられません。
- ②なにしろ言葉が通じないのだから、道を聞こうにも聞けなくて困った。
- ③大けがをして今病院のベッドの上です。動こうにも動けない状態です。
- ④早く電話をしようにも、近くに電話がなかったんです。

7 ~にかたくない【~できる/~するのはやさしい】

●「状況から考えて容易に~できる」と言いたい時に使う。

- ①彼が親の死後どうしたか、想像にかたくありません。
- ②母親のその言葉を聞いて傷つた子どもの心のうちは想像にかたくない。
- ③父がわたしの変わりようを見て、どんなに驚いたか想像にかたくない。

☞ 「想像にかたくない」という形で慣用的に使うことが多い。

8 ~に足る【~できる/~するだけの価値がある】

- ①彼は今度の数学オリンピックで十分満足に足る成績がとれるだろう。
- ②これはわざわざ議論するに足る問題だろうか。
- ③田中君は大学の代表として推薦するに足る有望な学生だ。

☞ 「~に足る+名詞」の形で使う。

③ 動詞の辞書形/する動詞の名詞 + 足る + 名詞

9 ~にたえる・~にたえない【~ことに耐えられる・~ことに耐えられない】

●「~にたえない」は「不快感、心理的圧迫感があつて、そうしていることが我慢できない」という意味。

- ①あの映画は子ども向けですが、大人の鑑賞にも十分たえる映画です。

- ②彼の絵はとてもへたで専門家の批評にたえる絵ではない。
 ③あの人の話はいつも人の悪口ばかりで、聞くにたえない。
 ④事故現場はまったく見るにたえないありさまだった。

🔗🔗🔗 どうし 動詞の辞書形 / する 動詞の名詞 + にたえる



22 不可能・可能・困難・容易

A () 中の言葉と□中のどれかを一緒に使って、下の文を完成しなさい。

a わけにはいかない b かねる c ようがない

- 1 客 「このシャツ、もう少し安くなりませんか。」
 店員 「申し訳ございませんが、これ以上お安くは (いたす) _____
 _____。」
- 2 ラジカセが故障したけど古い型のため部品がなく、(直す) _____。
- 3 今晚泊めてくれないかと友達に頼まれているけど、今、両親が来ていて (泊めてあげる) _____。
- 4 田中課長は今、休暇をとって旅行中なので、この2日間は連絡を (とる) _____
 _____。
- 5 先週もアルバイトを休んだから、今週は (休む) _____。
- 6 友人にお金を借りに行ったのですが、やはり (言い出す) _____、
 そのまま帰って来てしまいました。

B □の中の言葉を使って文を完成しなさい。記号で答えなさい。

- a 聞くにたえない b 信頼に足る c 信じがたい d あり得ない
 e 想像にかたくありません f なぐさめようにもなぐさめられません

やました
 山下さんが会社のお金を不正に使ってしまったんですって。山下さんという人をよく知っているわたしとしてはとても1 _____ ことです。そんなことは絶対に2 _____ と思います。だって彼ほど3 _____ 人はいないといつも思っていたんですもの。でも、もし事実だとしたら、今頃は後悔して……どんなに苦しんでいるか4 _____。上田さんなんか、5 _____ ひどいことを言っているんですよ。もし、このことが原因で会社をやめることにでもなったら、わたしは6 _____。わたしに何かしてあげられることはないかしら。早く事実を調べなければ……。

ものがどんな状態、状況か、または、動作がどんな様子かを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ほどの b がちだ c げ d かのよう e だらけ

- 1 忙しくて何日もそうじしなかったから、部屋がほこり_____だ。
- 2 彼は不採用の通知をいかにも悔し_____に破って捨てた。
- 3 まだ十月なのに、けさはストーブをつけたくなる_____寒さだった。
- 4 山の上で見る星は今にも降ってくる_____近く感じられる。
- 5 外食ばかりしていると、カルシウムが不足し_____。



使えますか

- 1 彼はわたしを見て、

{	a 覚えていないほどの顔をした。
	b 覚えていないかのような顔をした。
- 2 a この頃成績が下がり気味で、
 b この頃あの夫婦は離婚気味で、

}	心配している。
---	---------
- 3 a このパンは古げだ。食べない方がいい。
 b 近頃の木村さんは寂しげな様子だ。何かあるに違いない。
- 4 a 最近、山田さんは会社に遅れっぽい。疲れているのだろうか。
 b 山田さんは、この頃忘れっぽくなって困った、と言っている。
- 5 a 週末はくもりがちの天気になるそうだ。
 b 週末は晴れがちの天気になるそうだ。

答は次のページにあります。

I 傾向・状態 けい こう じょう たい ものがとがどんな状態かを言いたい時



- 1 ~がちの・~がちだ
- 2 ~っぽい
- 3 ~きみ気味
- 4 ~だらけ



- 5 ~きれいがある
- 6 ~まみれ
- 7 ~ずくめ
- 8 ~めく



I・1 ~がちの・~がちだ【よく~になる／~の状態になることが多い】

●自然しぜんになりやすい傾向について言う時の言い方。主おもによくない傾向に使う。

- ①森もりさんは小学校4年生のとき体を悪くして、学校も休やすみがちだった。
- ②田中たなかさんは留守るすがちだから、電話してもいないことが多い。
- ③今週はくもりつゆがちの天気が続つづいたが、今日は久ひさしぶりによく晴はれた。
- ④環境破壊かんきょうはかいの問題は自分の身みに迫せまってこないと、無関心むかんしんになりがちである。

☞ 名詞めいしのように使う。外から見えたことではなく、そうなる傾向を内うちにもっている場合ばあいに使う。回数かいすうの多いことを表す場合が多い。

共起きうき とかく~がち、ややもすると~がち

他例たれい 忘れわすがち、怠なまけがち、遠慮えんりょがち、~になりがち、~しがち、病びょう気がち

🔗 動詞どうしの(ます)形けい／名詞 + がち



I・2 ~っぽい【~の感かんじがする／よく~する】

- ①この部屋へやは日ひ当たりが悪いので、いつもなんとなく湿しめっぽい。
- ②きみ子はもう二十歳はたちなのに話すことがずいぶん子どもっぽい。
- ③花子はなこは飽あきっぽくて何をやってもすぐやめてしまう。
- ④母は年のせいごろかこの頃ころ忘れわすっぽくなって、いつもものを探さがしている。




1 e 2 c 3 a 4 d 5 b




1 b 2 a 3 b 4 b 5 a

⑤「あの白っぽいセーターを着ている人が田中さんですよ。」

 回数かいすうの多さではなく、ものの性質せいしつについて言う。よくないことに使うことが多い。

他例 男たれいっぽい、女たれいっぽい、色いろっぽい、白しろっぽい、黒くろっぽい、疲れつかっぽい

 動詞どうし（ます）形／名詞 っぽい

I・3 ～気味【少し～の感じかんがする】


●「程度ていどはあまり強くないが、～の傾向けいこうがある」と言いたい時の表現ひょうげん。

①「今日はちょっとかぜ気味なので、早めに帰らせてください。」


②最近さいきん、忙しい仕事いそがが続つづいたので少し疲れ気味です。

③長雨ながあめのため、このところ工事こうじはかなり遅れ気味だ。

④「この頃ごろ成績せいせきがちょっと下がり気味ですが、どうかしたんですか。」

 よくない場合ばあいに使うことが多い。

他例 太りふと気味、不足ふそく気味、押されお気味、物価ぶつが上がり気味

 動詞の（ます）形／名詞 + 気味


I・4 ～だらけ【～がたくさんある／～がたくさんついている】

①子どもたちは泥どろだらけになって遊あそんでいる。


②わたしが英語で書いた間違いまちがだらけの手紙をジムに直なおしてもらった。

③けんかでもしたのか、彼は傷かれだらけになって帰ってきた。

④休暇でわたしが家に帰ると、祖母はしわだらけの顔かおをいっそうくしゃくしゃにして、うれしそうに「よく帰ってきたね。待まちってたよ」と言いって迎むかえてくれる。

 ふつう、目で見えるもので、よくないものに使う。

他例 ほこりほこりだらけ、ごみごみだらけ、血ちだらけ、灰はいだらけ、穴あなだらけ

 名詞 + だらけ

I・5 ～きらいがある【～の傾向けいこうがある】

●自然しぜんにそうなりやすいよくない傾向けいこうについて批判ひはん的に言う時に使う。

- ①人は自分の聞きたくないことは耳に入れないというきらいがあるのではないか。
- ②どうもあの人の話はいつも大げさになるきらいがある。
- ③人は中年になると、新しいものに興味を持たなくなるきらいがある。
- ④最近の国の選挙では投票率が低くなるきらいがある。

👁️ その時の外から見たことや様子ではなく、本質的な性質に使われる。

📖 動詞の現在形 +きらいがある

I・6 ～まみれ【～がたくさんついている】

●不快な液体や細かいものが体など全体について汚れている様子。

- ①二人とも、血まみれになるまで戦った。
- ②吉田さんは工事現場で毎日ほこりまみれになって働いている。
- ③足跡から、犯人は泥まみれのくつをはいていたと思われる。
- ④汗まみれになって農作業をするのは楽しいことだ。

👁️ 体そのものの変化や、ある場所にたくさんあるもの、散らかっているものなどには使わない。×傷まみれ、×しわまみれ、×間違いまみれ

📖 名詞 +まみれ

I・7 ～ずくめ【～ばかり／～が続いて起こる】

- ①山田さんのうちは、長男の結婚、長女の出産と、最近、おめでたいことずくめだ。
- ②あの時、彼はお葬式の帰りだったらしく、黒ずくめの服装だった。
- ③彼から手紙が来たし、叔父さんからお小遣いももらったし、今日は朝からいいことずくめだ。

👁️ 物、色、できごとなどにも使う。よいことの例が多い。


📖 他例 ごちそうずくめ、金ずくめ、けっこうずくめ

📖 名詞 +ずくめ

I・8 ～めく【～らしくなる／～らしく見える】

●「十分に～ではないが、～の感じがする」と言いたい時。



- ①日ごとに春^ごめいてまいりました。その後、お元気でいらっしゃいますか。(手紙文)
- ②冗談^{じょうだん}めいた言い方だったが、中村君^{なかむらくん}は離婚^{りこん}したことをわたしにうちあけた。
- ③まゆみはいつも謎^{なぞ}めいたことを言^{まわ}っては、周り^{こま}の人を困らせる。

 名詞に接続して動詞のように使う。活用は動詞Iと同じ。

他例 秋^{あき}めく、儀式^{ぎしき}めいたこと、親^{おや}めいたこと

 名詞 + めく

II 様子^{ようす} ものがとがどんな状況^{じょうきょう}か、または動作^{どうさ}がどんな様子かを言いたい時

 2級	 1級
1 ~ほど・~ほどの・~ほどだ	5 ~ごとく・~ごとき
2 ~くらい・~くらいの・ ~くらいだ	6 ~ともなく・~ともなしに
3 ~かのように・~かのようにだ	7 ~つ~つ
4 ~げ	8 ~んばかりに・~んばかりの・ ~んばかりだ
	9 ~とばかり(に)

II・1 ~ほど・~ほどの・~ほどだ

●ある状態^{じょうたい}がどのくらいそうなのか、強調^{きょうちょう}して言いたい時に使う。


①きのうは山登^{のぼ}りに行って、もう一歩^{いっぽ}も歩^{つか}けないほど疲^{つか}れました。

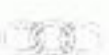
②「足、けがをしたんですって。」

「うん、きのうまでは泣^なきたいほど痛^{いた}かったけど、今日は大分^{だいぶん}よくなったよ。」

③悩^{なや}んでいた時、友人^{ゆうじん}が話を聞いてくれて、うれしくて涙^{なみだ}が出るほどだった。

④それは大人^{おとな}から見るとたいしたことではなくても、子どもにとっては死^しにたいほどのつらい経験^{けいけん}なのかもしれない。


 「～」には話す人の意志^{いし}を表さ^{あらわ}ない動詞や動詞の「～たい形」が来ることが多い。

 連体修飾型^{れんたいしゅうじきがた} + ほど → 6課II・1 「～ば～ほど・～なら～ほど・～ほど」



II・2 ～くらい・～くらいの・～くらいだ

- 「～ほど・～ほどの・～ほどだ」とほとんど同じ意味と使い方。



II・3 ～かのように・～かのようにだ【～ように】

- 「まるで～のように」と何かにととえて、^{きょうちよう}強調する言い方。

- ① 山田さんの部屋は何か月もそうじしていないかのように汚い。
- ② リンさんはその写真をまるで宝ものか何かのように大切にしている。
- ③ 四月になって雪が降るなんて、まるで冬が戻って来たかのようにです。
- ④ 田中さんにその話をすると、彼は知らなかったかのような顔をしたが、本当は知っているはずだ。

【多義】 ふつうけいがた (な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある) +かのように



II・4 ～げ【～そう】

- 人の「そのような様子」を表す。


- ① 「お母さんはどうしたの」と聞くと、子どもは悲しげな顔をして下を向いた。
- ② 高い熱のあるひろしは、わたしと話すのも苦しげだった。
- ③ よう子は楽しげに初めての海外旅行の話をしてくれた。
- ④ 会議の後、彼はいかにも不満ありげな顔をしていた。

【音】 ふつう、人の気持ちの様子を表す場合に使われる。やや古い言い方。

【他例】 意味ありげ、寂しげ、恥ずかしげ、不安げ、懐かしげ

【共起】 いかにも～げ、さも～げ

【多義】 い形容詞・な形容詞の語幹 +げ



II・5 ～ごとく・～ごとき【～ように】



- ① あの人**は**氷のごとく冷たい人だ。
- ② この10年**は**矢のごとく過ぎ去った。
- ③ 彼のごとき優秀な人でも失敗することがあるのだ。

- ☞ ③は例示の意味を含む。
- ④ 名詞+の +ごとく



II・6 ～ともなく・～ともなしに【特に～しようというつもりでなく】

●「ふと～すると（なんとなく～していたら）、こんな意外なことが起こった」と言いたい時に使う。

- ① 見るともなく窓の外を見ると、流れ星が見えた。
- ② ラジオを聞くとともなしに聞いていたら、とつぜん飛行機墜落のニュースが耳に入ってきた。
- ③ 夜、考えるともなしに会社でのことを考えていたら、課長に大切な伝言があったことを思い出した。

☞ 「ともなく」の前後には同じ動作性の動詞（見る、言う、聞く、など）が来る。

参考例 ・彼はいつからともなく、皆に帝王と呼ばれるようになった。

・彼は置き手紙をすると、どこへともなく去って行った。

④ 動詞の辞書形 +ともなく



II・7 ～つ～つ【～たり～たりしながら】

●「～つ～つ」の後に来る動詞の動作や作用がどんな様子で行われるかを言う。

- ① マラソンの最後の500メートルで二人の選手はぬきつぬかれつの接戦になった。
- ② 風に吹き飛ばされた赤いぼうしは木の葉のように浮きつ沈みつ川を流れて行った。
- ③ 変な男の人がうちの前を行きつ戻りつしている。何をしているんだろう。

☞ 「～つ～つ」の「～」には二つの対立する動詞が並ぶ。慣用的に使う。

④ 動詞の（ます）形 +つ+（ます）形 +つ



II・8 ～んばかりに・～んばかりの・～んばかりだ【ほとんど～しそうな様子で】

- ①彼女は泣かんばかりに「手紙をくださいね」と言いながら別れて行った。
- ②せっかく会いに行ったのに、彼は帰れと言わんばかりにむこうを向いてしまった。
- ③リンさんはかごいっぱい、あふれんばかりのりんごを持って来てくれた。
- ④彼の言い方は、まるでぼくの方が悪いと言わぬばかりだ。

☞ 話す人自身の様子には使わない。「ぬ(ん)」は古語から来た言葉。

🔗 動詞の(ない)形 +ん(ぬ)ばかりに(「する」は、「せんばかりに」)



II・9 ～とばかり(に)【いかにも～という様子で】

- 「～」を言葉で言うのではなく、いかにもそのような態度や様子で、ある動作をするという意味。

- ①あの子はお母さんなんか嫌い**とばかりに**、家を出て行ってしまいました。
- ②彼はお前も読め**とばかり**、その手紙を机の上に**ほう**り出した。
- ③みんなが集まって相談していると、彼女はわたしには**かんけい**ない**とばかりに****よこ**を向いてしまった。

☞ 外の人の様子を表現する言い方であるから、話す人自身の様子には使わない。



練習

23 傾向・状態・様子

どちらの文が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。

- 1 a 最近、仕事**いそ**が忙しくて、疲れ**つか**気味だ。
b 最近、わたしはテレビを見がちだ。
- 2 a 誰でも困っている人を見ると、助けたがる**たす**きらいがある。
b 誰でも面倒な仕事は後回しにしたがる**あとまわ**きらいがある。

- 3 タンカーの事故で油が流れ出して { a 海の鳥たちが油まみれになってしまった。
b 海が油まみれになってしまった。
- 4 彼の話がとても愉快なので、 { a みんなおなかが痛くなるくらい笑った。
b みんなおなかが痛いかのように笑った。
- 5 a ゆり子さんはユリのごとく美しい。
b ゆり子さんはユリとばかりに美しい。
- 6 a 見るともなくテレビを見ていたら、友人の作家が新人賞をもらったというニュースが報道されていた。
b 寝るともなく寝ていたら、夢を見た。
- 7 a うちの祖父はあと1週間で100歳にならばかりです。
b 彼はかみつかんばかりの顔でわたしをにらみつけた。
- 8 a 息子はぼくの部屋に入るなとばかりに部屋にかぎをかけてしまった。
b 息子はいつもぼくの部屋に入るなとばかりだ。
- 9 a あの時は大声で泣くかのようにつらかった。
b あの時は大声で泣きたいほどつらかった。
- 10 a 子どもたちは運動場で追いつ追われつ、楽しそうにかけ回っています。
b 公園の中を家族連れの人たちが歌いつ歩きつしています。

どのような過程かてい とおを通してそうなったか、どのような結果けつがになったかを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ということだ b きり c ことになる d あげく e ところだった

- 1 会社をやめるかどうか、いろいろ迷った____、やはりやめることにした。
- 2 前のバスが行った____、30分もたつのにまだ次のバスが来ない。
- 3 先週の火曜日から外食がいしょくしているから、今日でもう1週間も外食している____。
- 4 駐車する時あわてていたので、もう少しで隣の車となりにぶつける____。
- 5 「高校のサッカーの決勝戦けっしょうせんは引き分けらしいよ。」
「ということは、つまり、両校優勝りょうこうゆうしょう____ね。」



使えますか

- 1 a なんでも最後までやりぬくことが大切だ。
b このくつははきぬいたから、新しいのを買おう。
- 2 就職しゅうしょくについて両親りょうしんに相談そうだんしたところ、

{	a 大阪の会社に決めた。
	b 自分で決めろと言われた。
- 3 a 一生懸命いっしょうけんめいがんばれば、必ず後かならで満足まんぞくするところでした。
b 一生懸命いっしょうけんめいがんばらなければ、必ず後かならで後悔こうかいすることになりますよ。
- 4 a 何度も国家試験こっか しけんを受けた末すえに、ついに合格ごうかくした。
b 今年の国家試験ことうんを受けた末すえに、幸運こううんにも合格ごうかくした。
- 5 a わたしは3時に出発しゅっぱつしたいことになっている。
b わたしたちは3時に出発しゅっぱつすることになっている。

答は次のページつぎにあります。

I 経過 けい か どのような過程かてい とおを通して、そうなったかを言いたい時

 2級	 1級
1 ~たところ 2 ~あげく (に)・~あげくの 3 ~末 <small>すえ</small> (に)・~末の 4 ~きり・~きりだ	5 ~っぱなし 6 ~に至 <small>いた</small> って (は)

I・1 ~たところ【~したら/~した結果けっか】

●「~した結果、こうなった」と言いたい時に使う。

- ① 久しぶりに先生のお宅たくをお訪ねたずしたところ、先生はお留守るすだった。
- ② 留学りゅうがくについて父に相談そうだんしてみたところ、父は喜んで賛成さんせいしてくれた。
- ③ 山で採とってきたキノコが食べられるかどうか、食品研究所しょくひんけんきゅうじょに問い合わせとあせてみたところ、食べられないことがわかった。
- ④ 山川さんならわかるだろうと思って聞いてみたところが、彼かれにもわからないということだった。

I・2 ~あげく (に)・~あげくの【いろいろ~した後で、とうとう最後さいごに】

●「いろいろ~した後で、とうとう残念ざんねんな結果になった」と言いたい時に使う。

- ① 大学を受験じゅけんするかどうか、いろいろ考えたあげく、今年ことしは受けないことに決きめた。
- ② さんざん道みちに迷まよったあげく、結局けっぎよく、駅前えきまへに戻もどって交番こうばんで道を聞かなければならなかった。
- ③ この問題もんだいについては、長時間ちゆうじかんにわたる議論ぎろんのあげく、とうとう結論けつろんは出なかった。
- ④ 何日間も協議きようぎを続つづけたあげくの果てはの結論として、今回は我々の会こんかいとしては代表だいりょうを送らないことにした。




1 d 2 b 3 c 4 e 5 a



1 a 2 b 3 b 4 a 5 b

🔗 動詞の～た形 / する動詞の名詞＋の +あげく

 I・3 ～^{すえ}末(に)・～末の【いろいろ～した後、とうとう^{さいご}最後に】

●「いろいろ～した後で、こうなった」と言いたい時に使う。


①帰国するというのは、さんざん迷った^{まよ}末に出した^{けつろん}結論です。

②帰国するというのは、さんざん迷った^{まよ}末の結論です。

③試合はAチームとBチームの^{はげ}激しい^{たたか}戦いの^{すえ}末、Aチームが^か勝った。

④5時間に及ぶ^{およ}討議^{とうぎ}の^{すえ}末、^{りょうこく}両国はオレンジの^{じゆうか}自由化問題について^{さいしゅうてき}最終的な^{ごうい}合意に^{たっ}達した。

🔗 動詞の～た形 / する動詞の名詞＋の +末

 I・4 ～^{きり}きり・～^{きり}きりだ【～して、そのままずっと】


①子どもが朝、出かけた^{きり}きり、夜の8時になっても帰って来ないので^{しんぱい}心配です。

②^{きむら}木村さんは10年前にブラジルへ行った^{きり}きり、そのままブラジルに^{ていじゆう}定住してしまっらしい。

③^{かのじょ}彼女には去年一度会った^{きり}きりです。その後手紙ももらっていません。

👂 後の文には次に起こるはずのことが起こらないで^よ予想外^{そうがい}の状態^{じゆうたい}が続いているという文が来る。

🔗 動詞の～た形 +きり

 I・5 ～^{っぱなし}っぱなし【～したままだ】

●「～したままで、後の^{とうぜん}当然しなければならぬことをしない」という意味。

①「^{どうぐ}道具が出し^{っぱなし}っぱなしだよ。使ったら、^{かた}片づけなさい。」

②「くつは^ぬ脱ぎ^{っぱなし}っぱなしにしないで、きちんとそろえておきなさい。」

③あのメーカーは売り^{っぱなし}っぱなしではなく、アフターケアがしっかりしている。

🔗 動詞の(ます)形 +っぱなし





I・6 ～に至って(は)【～という重大な事態になって】



- ① 39度もの熱が3日も続くという事態に至って、彼はやっと医者へ行く気になった。
- ② 関係者は子どもが自殺するに至って初めて事の重大さを知った。
- ③ 学校へほとんど行かずにアルバイトばかりしていた彼は、いよいよ留年という事態に至っては、親に本当のことを言わざるを得なかった。

㊦ 動詞の辞書形/名詞 + に至って(は)

II 結末 どのような結果になったかを言いたい時



- 1 ～きる・～きれる・～きれない
- 2 ～ぬく
- 3 ～わけだ
- 4 ～次第だ
- 5 ～ことになる
- 6 ～ことになっている・
～こととなっている
- 7 ～ということだ
- 8 ～ところだった
- 9 ～っけ



- 10 ～に至る
- 11 ～しまつだ
- 12 ～までだ・～までのことだ



II・1 ～きる・～きれる・～きれない

- ① 3巻から成る小説を夏休み中に全部読みきった。
- ② あのゲームソフトは人気があるらしく、発売と同時に売りきれてしまった。
- ③ 慎重な彼が「絶対にやれる」と言いきったのだから、相当の自信があるのだろう。
- ④ 山口さんは年をとった両親と入院中の奥さんを抱え、困りきっているらしい。
- ⑤ 母は買い物に行くといつも手に持ちきれないほどの荷物を抱えて帰って来る。

☞ 「～」の動詞に「全部～する」①②⑤、「自信をもって～する」③、「非常に～する」④などの意味を加える。

🔗 動詞の(ます)形 + きる

II・2 ～ぬく

① マラソンの精神というのは、試合に負けても最後まで走りぬくことだ。

② 彼は両親を失いながらも、10年間も続いた内戦の時代をなんとか生きぬいた。

③ わたしは親としてあの子の長所も欠点も知りぬいているつもりです。

④ 彼は幼い子を失ったことを悲しみぬいて、自分の命をも断ったという。

☞ 「～」の動詞に「困難なことを乗り越えて最後まで完全に～し終える」①②、「完全に～する」③、「徹底的に～する」④などの意味を加える。

🔗 動詞の(ます)形 + ぬく

II・3 ～わけだ

● 事実や状況から、「当然～の結論になる」と言いたい時に使う。

① 30ページの宿題だから、一日に3ページずつやれば10日で終わるわけですよ。

② 夜型の人間が増えて来たために、コンビニエンスストアがこれほど広がったわけですよ。

③ このスケジュール表を見ると、京都には1泊しかしないから水曜日の午前中には東京へ帰って来られるわけだ。

④ 彼に頼まれなかったから、わたしはその仕事をやらなかったわけですよ、頼まれればいつでもやってあげるつもりだ。

🔗 連体修飾型 + わけだ

II・4 ～次第だ【～わけだ】

● 理由や事情を説明して、「それでこういう結果になった」と言いたい時に使う。

① 社長「君は大阪には寄らなかったんだね。」

社員「はい、部長から帰れという連絡が入りまして急いで帰って来た次第ですよ。」

② 客「品物が届かなかったのはそちらの手違いだというんですね。」

店員「はい、まことに申し訳もうわけございませんが、そういう次第しだいでございます。」

③以上のような次第しだいで、来週けんがくの工場見学ちゅうしは中止にさせていただきます。

 連体修飾型 + 次第だ



II・5 ～ことになる


●「ある事情じじょうから考えて、当然とうぜんそうなる」と言いたい時に使う。

①この事故じこによる負傷者ふしょうしゃは、女性じょせい3人、男性だんせい4人の合あわせて7人ということになる。

②彼かれの話しんようを信用しんようすれば、彼は出張中しゅっちやうちゆうだったのだから、そのとき東京にはいなかったことになる。

③「今、遊あそんでばかりいると、試験の前くになって悔くやむことになりますよ。」

④あの人にお金を貸かすと、結局返けっきよくかえしてもらえないことになるので貸かしたくない。

 ①②は「～わけだ」とほとんど同じ意味。③④は、好このましくない結果けっかになることを警告けいこくしたりする使い方。

 連体修飾型 + ことになる



II・6 ～ことになっている・～こととなっている 【～という決きまり（予定よてい、習慣しゅうかんなど）になっている】

①この会社では社員は1年に1回健康診断かいけんこうしんだんを受うけることになっています。

②「あすは中山先生なかやまが休みで、かわりの先生がいらっしゃることになっています。」

③日本語の敬語けいごでは、たとえば自分の父母ふぼのすることについて外の人に話す時、尊敬語そんけいは使つかわないことになっている。

④「午前ぶんかの分科会かいはこれで終了しゅうりょういたします。なお、午後ごの分科会は2時からということとなっておりますので、1時50分までにお集まりください。」

 連体修飾型 + ことになっている



II・7 ～ということだ【つまり～だ】

●ある事実を受けて、そこから「つまり～だ」と結論を引き出したり、相手に確かめたりする言い方。

①社長は急な出張で今日は出社しません。つまり、会議は延期ということです。

②「山田さんはまだ来ていませんか。つまり、また遅刻ということですね。」

③係りの人「あしたは特別の行事のため、この駐車場は臨時に駐車禁止になります。」

客 「ということは、つまり車では来るとということですね。」



II・8 ～ところだった【もう少しで～のような結果になりそうだった】

●「～のような結果になりそうだったが、実際にはならなかった」と言いたい時に使う。

①誤解がもとで、あやうく大切な親友を失うところだった。

②考えごとをしながら歩いていたので、もう少しで横道から出て来た自転車にぶつかるところだった。

③試験の結果が悪く、危なく留年になるところだったが、再試験を受けることでようやく4年生になれた。

共起 もう少しで～ところだった、危なく（あやうく）～ところだった

動詞の辞書形・～ない形 +ところだった



II・9 ～っけ

●相手に念を押したり、確かめたりする言い方。

①「英語の試験は5番教室だっけ。」

「8番じゃない？」

②「『ケン討する』の『ケン』は、キヘンだっけ、ニンベンだっけ。」

「キヘンにきまってるでしょ。」

③「今度の研修旅行には、工場見学も日程に入っていましたっけ。」

「時間的に無理だというんで除かれたんだよ。」

普通形型（「～ましたっけ」「～でしたっけ」もある） +っけ





II・10 ～に至る【～までになる】

●「いろいろなことが続いた後、ついにこうなった」と言いたい時に使う。

- ①被害は次第に広範囲に広がり、ついに死者30人を出すに至った。
- ②小さなバイクを造ることから始めた本多氏の事業は発展し続け、とうとう世界的な自動車メーカーにまで成長するに至った。
- ③工場閉鎖に至ったその責任は、誰にあるのか。

共起 ついに～に至る、とうとう～に至る

動詞の辞書形／名詞 + 至る



II・11 ～しまつだ【～という悪い結末だ】

●「悪いことを経て、とうとう最後にもっと悪い結果になった」と言う時に使う。

- ①あの子は乱暴で本当に困る。学校のガラスを割ったり、いすを壊したり、とうとうきのうは友達とけんかして、けがをさせてしまうしまつだ。
- ②きのうはいやな日だった。会社では社長に注意されるし、夜は友人とけんかしてしまし、最後は帰りの電車の中にかばんを忘れて来てしまうしまつだ。
- ③「君はきのうもまた打ち合わせの時間に遅れたそうじゃないか。そんなしまつじゃ人に信用されないよ。」

連体修飾型 + しまつだ



II・12 ～までだ・～までのことだ【～しただけなのだ】

●「ただそれだけの事情や理由である」と言い訳をしたい時の言い方。

- ①娘「もしもし、あら、お母さん、どうしたの。こんなに遅く電話なんかして。」
母「何度電話しても、あなたがいないから、ちょっと気になったまでよ。」
- ②「まあ、たくさんのお買い物ですね。何か特別なことでもあるんですか。」
「いいえ、ふるさとのものなので懐かしくてつい買い込んだまでのことなんです。」
- ③わたしの言葉に特別な意味はない。ただ、彼をなぐさめようと思って言っているまでだ。



どうし ふつうけい
動詞の普通形 + までだ

→29課7 「～までだ・～までのことだ・～ばそれまでだ」



24 けい か けつまつ
経過・結末

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を_____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a ところ b に至って c きて
d きり e っぱなし f 末に

I

- 1 彼は夏頃一度手紙をくれた____、その後何も言って来ません。
- 2 子どもたちが授業をボイコットする____、先生たちはようやく子どもたちの言
い分にも耳を傾けるようになった。
- 3 売り場に問い合わせしてみた____、その切符はもう売り切れということだった。
- 4 よう子は職場の人間関係に困り____、先輩に相談した。
- 5 あちこちの図書館を回った____、ようやくある小さな図書館でほしい本を見つけ
ました。
- 6 入り口にずっと置き____のかさは、誰のでしょうね。

II

a ところだった b ことになる c しまつだ d までです
e ということです f わけです g ことになっています

- 1 きちんと計画を立てて勉強しないと、あとで後悔する____よ。
- 2 今日の試合では自分のミスで敵に先制点を許すし、動きも鈍いし、最後には反則で
退場させられる____。A選手は本当に調子が悪い。
- 3 出版社の人「この本は秋の初め頃には出版したいんですよ。」
本を書く人「ということは原稿を6月には出してほしい____ね。」

- 4 父が^{こうこがく}考古学、兄が^{れきし}歴史学の研究者^{しや}なので、わたしも歴史に^{きょうみ}興味をもった_____。
- 5 けさ、人に^お押されてもう少しで電車とホームの間に^お落ちる_____。
- 6 ^{しんにゆう}新入社員は入社^{にゆうしや}後、4週間の^{けんしゅう}研修^うを受ける_____。
- 7 ^{やまだ}山田「^{しやうちょう}所長の^{しやうちやう}出張は来月の15日からでしたよね。」
- ^{おがわ}小川「そうですよ。山田さん、ちゃんとノートに書いていたじゃありませんか。」
- 山田「いえ、ちょっと^{かくにん}確認した_____。」

ものごとを打ち消したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a どころじゃない b はずがない c わけてはない d ものか
e こともない

- 1 こんないい加減な仕事のやり方では、課長のOKが出る_____。
- 2 今週はカラオケに行く約束だったけど、忙しくてカラオケ_____。
- 3 「駐輪禁止」と書いてあったけど、1台ぐらいかまう_____と置いて置いて来た。て来てしまった。
- 4 希望者が多いので、申し込んでもみんな参加できる_____。
- 5 「先日の仕事の話、無理すればやれない_____んですが……。」
「そうですか。それではお願いします。」



使えますか

- 1 大阪からは3時間かかるから、

{	a 2時には着くわけがない。
	b 2時には着くどころじゃない。
- 2 ご質問の件ですが、ちょっと私どもでは、

{	a わからないのですが……。
	b わかりっこないのです。
- 3 a 品物は安ければ必ず売れるはずがない。
b 品物は安ければ売れるというものではない。
- 4 大学院へ行くことを決めたことは決めたんだけど、

{	a 自信がない。
	b 自信がある。
- 5 あんな映画がおもしろいものか。

{	a ぼくは3回も見た。
	b ぼくは途中で見るのをやめた。

答は次のページにあります。

I 否定 ひ てい ものごとを打ち消す時 う け



- 1 ~わけがない・~わけはない
- 2 ~はずがない
- 3 ~っこない
- 4 ~ものか
- 5 ~どころではなく・
~どころではない
- 6 ~ことなく




- 7 ~なしに・~ことなしに
- 8 ~までもなく・~までもない



I・1 ~わけがない・~わけはない【当然とうぜん~ない】

●ある事実じじつをもとに「そんなことはない」と言いたい時。

- ①まだ習っていない問題を試験に出されても、できるわけがない。
- ②こんなに低温ていおんの夏なんだから、秋にできる米こめがおいしいわけがない。
- ③こんな漢字の多い本を正ただしが読むわけはない。彼は漫画まんがしか読まないんだから。

 話す人の主観しゅかんてき的な判断はんだんを表す。あらわ

 連体修飾型 れんたいしゅうじょくがた +わけがない



I・2 ~はずがない【当然かのうせい~という可能性がない】

●ある事実をもとに「その可能性がない」と言いたい時。

- ①「田中君たなかくんどうしたんだろう。今日はきっと来ると思ったんだけど。」
「田中？ 今日けふは来られるはずがないよ。今、神戸こうべへ帰っているんだから。」
- ②「大山さん、暇ひまかな。テニスに誘さそってみようか。」
「彼女かのじょは今就職活動中しゅうしょくかつどうちゅうだから暇なはずはないよ。」



1 b 2 a 3 d 4 c 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 b

③チンさんは生の魚は食べないから「さしみが食べたい」などと言うはずはない。

連体修飾型 +はずがない

I・3 ～っこない【絶対に～ない】

●強く否定したい時。

①こんな難しい本を買ってやったって、小学校1年生の健にわかりっこない。

②こんなにひどい嵐じゃゴルフなんかできっこない。今日はやめよう。

③「いいマンションね。でも、家賃が30万円だって。」

「30万円！ そんな高い家賃、ぼくたちに払えっこないよ。」

話す人の主観的な判断を表す。

動詞の(ます)形 +っこない

I・4 ～ものか【決して～ない】

●話す人の強い否定の気持ちを表現する時の言い方。

①「一人暮らしは寂しいでしょう」

「寂しいものか。気楽でのびのびしていいものだよ。」

②あんな失礼な人と二度と話をするものか。

③連休の遊園地なんか人が多くて疲れるばかりだ。もう、二度と行くものか。

④「この機械が複雑だって？ 複雑なもんか。実に簡単だよ。」

反語を使った感情的な言い方。

共起 絶対に～ものか、決して～ものか

連体修飾型(名詞は「名詞+な」になることが多い) +ものか

I・5 ～どころではなく・～どころではない【～はとてできない】

●「～する余裕はない」と強く否定する言い方。

①「高橋さん、今度の休みに京都へ行くんだけど、一緒に行かない。」

「ごめんなさいね。わたし、今忙しくて、旅行どころじゃないの。」

② 当時はお金もなく、誕生日といっても祝うどころではなかった。

③ 春だというのに、お花見どころではなく、夜遅くまで仕事をしている。

🔗 動詞の辞書形 / 名詞 + どころではなく



I・6 ~ことなく【~ないで】



● 「~しないで、~をする」「~しないで、そのままいる」と言いたい時。

① ニコさんの部屋の電気は1時を過ぎても消えることなく、朝までついていた。

② 彼らは生活のため、休日も休むことなく働いた。

③ スミスさんは専門課程に進むことなく、帰国してしまった。

🔗 動詞の辞書形 + ことなく

→ 7課4 「~ことなく」



I・7 ~なしに・~ことなしに【~ないで/~なく】



● 「~をしないで、~をする」「~をしないで、そのままいる」と言いたい時。

① わたしたちは3時間、休息なしに歩き続けた。

② 彼のことが気になって朝まで一睡もすることなしに、起きていた。

③ 彼は研究のため夏の休暇中も帰国することなしに、ずっと大学にとどまっていた。

🔗 動詞の辞書形 + こと / する動詞の名詞 + なしに

→ 7課11 「~なしに・~ことなしに」



I・8 ~までもなく・~までもない【~しなくてもいい】

● 「~の程度までは必要ない」と言いたい時。

① 「あの映画はとてもおもしろいよ。わざわざ映画館に見に行くまでもないけど、ビデオでも見るといいんじゃない。」

② 社長はけさ退院なさったそうだ。中山さんがご家族から直接聞いたのだから、確かめるまでもないと思う。

③ 説明書に詳しく書いてあるから、わざわざ説明を聞くまでもないと思う。

他例 「言うまでもなく」は慣用的な表現で「もちろん」という意味。

動詞の辞書形 +までもない

II 部分否定 部分的に打ち消したり、消極的に肯定したりしたい時



- 1 ~というものではない・
~というものでもない
- 2 ~わけではない
- 3 ~ないことはない・
~ないこともない
- 4 ~ことは~が



- 5 ~ないものでもない・
~ないでもない

II・1 ~というものではない・~というものでもない【~とは言えない】

●「いつも必ず~とは言えない」と言いたい時。

- ①バイオリンは、習っていれば自然にできるようになるというものではない。
- ②会議では何を言うかが大切だ。ただ出席していればいいというものではない。
- ③鉄道は速ければいいというものでもありません。乗客の安全が第一です。
- ④まじめな人だから有能だというものでもない。

普通形型 +というものではない


II・2 ~わけではない【全部が~とは言えない/必ず~とは言えない】

- ①わたしは学生時代、勉強ばかりしていたわけではない。よく旅行もした。
- ②自動車立国というが、日本人がみんな車を持っているわけではない。
- ③会社をやめたいという、あなたの今の気持ちもわからないわけではありません。でも、
将来のことも考えないと……。 (先輩からの手紙)

1 ③「~ないわけではない」は部分的に肯定する言い方。

連体修飾型 +わけではない

- ☞ 2 「特に～のではない」と説明したい時にも使う。
- ・熱があるわけではないが、なんとなく体がだるい。
 - ・今日の会は特に参加したいわけじゃないんだけど、頼まれたから行くんです。

 II・3 ～ないことはない・～ないこともない【場合によっては～かもしれない】


- 「～という可能性がないとは言えない」と消極的に言う時。

① 「司会は、林さんに頼めばやってくれるかな。」

「うん、林さんなら頼まれれば引き受けないこともないんじゃない。」

② 東京駅まで快速で20分だから、すぐ出れば間に合わないこともない。

③ 車の代金は一度に払えないことはないが、やっぱりローンの方がいいだろう。

 II・4 ～ことは～が【一応～が】

- 「一応～は事実だが、しかし～だ」と言いたい時の表現。

① 中国語はわかることはわかるんだけど、話し方が速いとよくわからない。


② きのう本屋へ行ったことは行ったが、店が閉まっていたて買えなかった。

③ わたしのうちは広いことは広いんですが、古くて住みにくいのです。

④ タイに行く前にタイ語を勉強したことはしたのですが、たった2週間だけです。

☞ 「ことは」の前後の「～」には同じ語が来る。

 連体修飾型 +ことは～が

 II・5 ～ないものでもない・～ないでもない【～ないのではない】

- 「ある場合は～することもある」「条件が合えば～するかもしれない」の意味。

① 3人でこれだけ集中してやれば、四月までに完成しないものでもない。

② 「わたしだってロックを聞かないものでもないよ。今度いいコンサートがあったら教えてくださいよ。」

③ 「日本酒は全然飲まないんですか。」

「いえ、飲まないものでもないんですが、ワインの方がよく飲みます。」

☞ 消極的に肯定する。個人的な判断、推量、好き嫌いについて言うことが多い。



25 否定・部分否定

□の中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

I

- a までもない b はずがない c わけてではない
d ないものでもない e どころではない

木村「日本語のスピーチコンテストのことですが、タムさんに出られるかどうか聞いてみましょうか。」

ジム「タムさんは出られる1 _____ と思いますよ。修士論文が忙しくて、スピーチコンテスト2 _____ と言っていましたから。」

木村「確かめてみましたか。」

ジム「確かめる3 _____ と思います。この1週間も毎日図書室にいたし……。」

木村「そうですね、困りましたね……。それじゃ、あなたはどうですか。」

ジム「残念ながら、ぼくはだめですよ。このスピーチコンテストは外国人なら誰でも出られるという4 _____ んです。在日2年未満という制限がありますから。」

木村「ああ、そうでしたね。あなたは、もう3年になるんですけどね。」

ジム「その制限がなければ、ぼくも出5 _____ んですが。」

II

- a わけがない b なしに c ものか d っこない

弟「お兄ちゃん、ぼくにもそのプラモデル、作らせて」

兄「二郎にはまだ無理だよ。できる1 _____ よ。」

弟「できるよ。」

兄「でき2 _____ よ。」

弟「絶対できる。」

兄「じゃあ、やってごらん。休み3 _____ 最後までやるんだぞ。」

弟「うん。」

(1時間たっても、まだできない。)

兄「ほら、無理だろう。」

弟「絶対あきらめる4 _____ 。」

聞いたことを伝える時や、確かでないことについて自分がどう考えているかを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a かねない b ということだ c まい d とみえて e に^{ちが}違いない

- 1 春休みが始まった____、バスには学生の姿が少ない。
- 2 テレビの予報によると、今年の夏は水不足が心配だ_____。
- 3 選手の強化を^{はか}図らないと、オリンピック出場などとても期待でき_____。
- 4 時間に正確な山木さんが来ないのは、事故か何かがあったから_____。
- 5 準備体操をせずに^{はげ}激しいスポーツをしたら、けがをし_____。





使えますか

- 1 そちらでは地震の被害は { a ほとんどなかったとのこと、よかったですね。
b ほとんどなかったそうです。よかったですね。
- 2 娘「この不景気だから、 { a お姉さんの就職は難しいのではあるまいか。」
b お姉さんの就職は難しいんじゃないかしら。」
母「そうねえ。難しいかもしれないわねえ。」
- 3 a タバコは健康を害するおそれがありますので、 } ⁺吸いすぎに注意しまし
b タバコは健康を害するに相違ありませんので、 }
よう。(タバコの^{こうこく}広告)
- 4 a 彼はニコニコしているとみえて、何かいいことがあったらしい。
b 彼は何かいいことがあったとみえて、ニコニコしている。
- 5 a この薬を飲めば、病気が^{なお}治りかねない。
b 山川さんはこのままだと、病気になりかねない。


答は次のページにあります。

I 伝聞 でん ぶん 聞いたことを伝える時 つた

 2級	 1級
1 ~ということだ・ ~とのこと (だ) 2 ~とか	3 ~由 <small>よし</small>

I・1 ~ということだ・~とのこと (だ) 【~そうだ/~と聞いている】

- ①今は田畑たはたしかないが、昔むかしはこの辺りあたが町ちゆうしんの中心ちゆうしんだったということだ。
- ②新聞によると、あの事件じけんはやっと解決かいけつに向かったとのことです。
- ③大統領だいてうりゆうの来日らいにちは今年10日ということだったが、来月えんきに延期えんきされたそうだ。また、今こん回は夫人ふじんは同行どうこうしないだろうとのことだ。
- ④お手紙てがみによると、太郎君たろうくんも来年らいねんはいよいよ社会人かっやく じんになられるとのこと、ご活躍かつやくを心こころから祈いのっています。✉

 この言い方は、直接的な引用という感じが強いので、「~」には推量すいりゆうや命令めいれいの形かたちなども来る。「~ということだった」という形もある。

I・2 ~とか 【~そうだが/~と聞いたが】


- ①「テレビで見たんだけど北海道ほっかいどうはきのう大雪おおゆきだったとか。」
 「そうですね。いよいよ冬ふゆですねえ。」
- ②「ニュースで聞いたんですけど、ゆうべ新宿しんじゆくで火事かじがあったとか……あなたの住すんでいる方かたじゃないですか。」
 「ええ、近くちかくだったんです。5人も亡なくなったとかで、大騒おおさわぎでした。」
- ③来年らいねんは妹いもうとさんが日本にっぽんへ留学りゅうがくのご予定よていだとか。楽しみに待まちっています。✉



1 d 2 b 3 c 4 e 5 a



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b


 伝聞の「～そうだ」や、「～ということだ」より不確かな気持ちがある場合や、はっきり言うことを避けたい時に使う。



I・3 ～由【～そうで】



- ① そちらでは紅葉が今が盛りとの由ですが、うかがえなくて残念です。✉
- ② 来月は久しぶりに上京なさる由、その時はぜひご一報ください。✉
- ③ 別便で新米をお送りくださる由、家族一同楽しみに待っております。✉

 手紙などで使う言葉。

II 推量 すい りょう 確かでないことについて自分がどう考えているかを言いたい時




- 1 ～まい
- 2 ～まいか
- 3 ～おそれがある
- 4 ～かねない
- 5 ～に違う
- 6 ～に相違ない
- 7 ～とみえて・～とみえる




II・1 ～まい【～しないだろう】



- ① この事件は複雑だから、そう簡単には解決するまい。
- ② 彼は人をだまして町を出て行ったのだから、二度とここへ戻ることはあるまい。
- ③ この不況は深刻だから、安易な対策では景気の早期回復は望めまい。

 「～まい」は現代でも使われている古い語。

 動詞の辞書形（動詞II・IIIは「～ない形+まい」もある。「する」は「すまい」もある） +まい →29課1「～まい」

II・2 ～まいか【～ないだろうか】



- ① 山口さんはそう言うけれども、必ずしもそうとは言い切れないのではあるまいか。
 ② 水不足が続くと、今年も米の生産に影響が出るのではあるまいかと心配だ。
 ③ 不況、不況というが、これがふつうの状態なのではあるまいか。

📖 現代でも使われている古い語。主に「～のではあるまいか」の形で文末に使い、「～」ということを婉曲に言う表現。

🔗 1「～まい」と同じ。

II・3 ～おそれがある

● 「～という悪いことが起こる心配がある」と言いたい時に使う。

- ① このガスは環境を破壊するおそれがあります。
 ② この薬は副作用のおそれがあるので、医師の指示に従って飲んでください。
 ③ 小中学校の週休二日制は子どもの塾通いを増加させるおそれがあると言われている。

🔗 連体修飾型 + おそれがある

II・4 ～かねない

● 「～という悪い結果になる可能性がある」と言いたい時に使う。

- ① 「そんな乱暴な運転をしたら事故を起こしかねないよ。」
 ② 食事と睡眠だけはきちんととらないと、体を壊すことになりかねません。
 ③ 最近のマスコミの過剰な報道は、無関係な人を傷つけることにもなりかねない。

🔗 動詞の(ます)形 + かねない

II・5 ～に違いない【きっと～と思う】

- ① 何度電話してもいないから、アリさんは旅行にでも行っているに違いない。
 ② 彼は何も言わなかったが、表情から見て、本当のことを知っていたに違いない。
 ③ 着ている服や話し方から見て、あの人は出版関係の仕事をしている人に違いない。

④課のみんなが知らないということは、川田さんがちゃんと報告しなかったに違いない。

👉 6「～に相違ない」の👉を参照。

🔗 普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある）＋に違いない

🎁 II・6 ～に相違ない【きっと～だ】



①反対されてすぐ自分の意見を引っ込めたところを見ると、彼女は初めから自分の意見を信じていなかったに相違ない。

②彼の言ったことは事実に相違ないだろうとは思いますが、一応調べてみる必要がある。

③不合格品がそれほど出たとは、製品の検査が相当厳しいに相違ない。

👉 5「～に違いない」と「～に相違ない」には断定的の意味を表す使い方もある。

・係りの人「この証明書はあなたのですね。」

学生 「はい、私のに違いありません。」

・30年ぶりに帰って来た山本さんは確かにわたしの昔の友人に相違なかったが、30年という歳月はずいぶん人間を変えるものだと思った。

🔗 5「～に違いない」と同じ。

🎁 II・7 ～とみえて・～とみえる【～らしく／～らしい】

①夜遅く雨が降ったとみえて、庭がぬれている。

②母はまだ病気からすっかり回復していないとみえて、何をしても疲れると言う。

③彼の話聞いたところでは、彼はこの計画に相当自信をもっているとみえる。

👉 ある事実を基にして、そこから推量することを述べる言い方。

🔗 普通形型（な形容詞と名詞は「だ」がない場合もある）＋とみえて



26 伝聞・推量

A どちらが正しいですか。正しい方の記号に○をつけなさい。

1 「リンさんは今週末には帰国したい { a ということでしたが、 } 切符が取れず、
b そうでしたが、

帰国を延期した { a そうですよ。 }
b との由。」

2 最近お体の調子があまりよくない { a とのこと、 } どうぞご自愛ください。
b そうで、

3 上田「銀行の田中さんは何時ごろ来社される { a とか? }
b ということですか?」

山下「3時までには見える { a とのことです。 }
b 由。」

4 最近の木村さんの暗い顔を見ると、何か大きな問題でも抱えているのではある

{ a まい } と気になる。
b まいか

B 中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの場合は1回しか使えません。

a とみえて b とのこと c かねない
d に違いない e ということ

4月には新しいことが始まる月だ。部長の話では、わが社も20人の新入社員を迎える
1 _____、しばらくは落ち着かない日が続くだろう。古い社員たちも、それなりに緊張している
2 _____、いつもとは違った表情だ。誰もが新しい年度がスタートする緊張感と新鮮さを感じている
3 _____。話によると、会社も近々、大型のコンピューターを入れる
4 _____だ。ぼくものんびりしていると、若いパワーに追い越され
5 _____から、がんばろう。

その感じが強い、自然にそう感じる、または、心理的にそうしないことは避けられないということ
 を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a ないわけにはいかない b ずにはいられなかった c たまらない
 d ならなかった e ざるをえない

- 1 重そうな荷物を持っているおばあさんがいたので、持ってあげ_____。
- 2 虫歯ができたのか、今日は朝から歯が痛くて_____。
- 3 あの頃は定職がなかったので、将来のことが不安に思えて_____。
- 4 会には行けなかったが、行くと約束していたので会費を払わ_____。
- 5 保証人の海外転勤が決まってしまったので、外の方にお願いせ_____。



使えますか

- 1 大切な会議だから、
 { a 出席しないわけにはいかない
 b 出席するわけにはいかない。
- 2 先日も彼の誘いを断ったから、
 { a 今日はつき合わないわけにはいかない。
 b 今日はつき合わないではいられない。
- 3 彼の表情を見ると、
 { a どうもうそをついていたと言わざるをえない。
 b どうもうそをついていたと言わずにはいられない。
- 4 a みつ子さんは朝から寒気がしてならない。
 b 朝から寒気がしてならない。今日は早く帰ろう。
- 5 このテレビゲームは
 { a 高くてたまらない。
 b 楽しくてたまらない。

答は次のページにあります。

I 心情の強調 しん じょう きょう ちよう そのような感じが強い、自然にそう感じるということを言いたい時 かん しぜん



- 1 ~てしかたがない・
~てしょうがない
- 2 ~てたまらない
- 3 ~てならない



- 4 ~てやまない
- 5 ~かぎりだ
- 6 ~といたらない・
~といたらありはしない



I・1 ~てしかたがない・~てしょうがない【非常に~だ】 ひじょう

●ある心や体の状態が「とても強くて抑えられない」という時に使う。

- ①いよいよあした帰国かと思うとうれしくてしかたがありません。
- ②自分の不注意でこんなことになってしまって、残念でしかたがない。
- ③彼がどうしてあんなことを言ったのか気になってしかたがないのです。
- ④ワープロを始めたせいか、この項目が疲れてしょうがない。

☞ ふつう、話す人の気持ちにだけ使う。このことは2「~てたまらない」、3「~てならない」、4「~てやまない」、5「~かぎりだ」についても同じ。三人称に使う時は文末に「~ようだ、~らしい、~のだ」などをつける注意が必要。



I・2 ~てたまらない【非常に~だ】

●ある心や体の状態が「とても強い」と言いたい時に使う。

- ①かぜ薬のせいか、眠くてたまりません。
- ②試験のことが心配でたまらず、夜もよく眠れない。
- ③若い頃は親元を離れたくてたまらなかったが、今は親のことがたまらなく懐かしい。
- ④どうしたんだろう。今日は朝からのどが渴いてたまらない。



1 b 2 c 3 d 4 a 5 e



1 a 2 a 3 a 4 b 5 b

- 📖 1 ×病気の母のことを思うと涙が出てきてたまらない。
 ×体調が悪い時は周りのうるさい人たちがじゃまに思えてたまらない。
 「～てしかたがない」は自発を表す言葉（思える、泣ける、気になるなど）にも使えるが、「～てたまらない」にはこの用法はない。
 ○病気の母のことを思うと涙が出てきてしかたがない。
 ○体調が悪い時は、周りのうるさい人たちがじゃまに思えてしょうがない。
- 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・3 ～てならない【我慢できないほど～だ】

- ある心や体の状態がとても強くて「抑えられない」と言いたい時に使う。
- ①あの人はどうも悪いことを考えているのではないかという気がしてならない。
 ②この先、日本は危険なことが増えていくように思えてならない。
 ③この写真を見ているとふるさとのことが思い出されてなりません。
 ④この収入で家族が生活していけるのかと心配でなりません。

- 📖 1 自発の意味を表す言葉と接続して、マイナスの気持ちを表すことが多い。
 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・4 ～てやまない【心から～ている】

- 相手に対する祈りや願いの気持ちが強く、ずっとそう思っていると言いたい時。
- ①くれぐれもお大事に。一日も早いご回復を祈ってやみません。✉
 ②「今後も会員の皆さまのご活躍を願ってやみません。」
 ③水不足のため、水道が止まっているとのことですが、早く雨が降るように祈ってやみません。✉

- 📖 1 祈る、願う、希望する、などの動詞とともに使う。ふつう、現在形で使う。
 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・5 ～かぎりだ【最高に～だと感じる】

- 客観的に外の人を外側から見てわかることではなく、現在、自分が非常にそう感じているという心の状態を表す。

- ①いよいよあしたは出発しゅっぱつです。なんともうれしいかぎりです。
- ②鈴木すずきさんはいつもさわやかに自己主張じこしゅちやうする。うらやましいかぎりである。
- ③大事な仕事なのに彼が手伝てつだってくれないなんて、心細こころばそいかぎりだ。

👉 「～てしかたがない」の👉を参照さんしょう。

👉👉 形容詞の辞書形／な形容詞＋な／名詞＋の ＋かぎりだ

I・6 ～といたらない・～といたらありはしない【～は口では表現ひょうげんできないほど～だと思う】

- ①海を初めて見たときの感激かんげきといたらなかった。
- ②がんばって自分の主張しゅちやうを通した時の吉田よしださんの態度たいどの立派りっぱさといたらなかった。
- ③山口やまぐちさんの部屋へやの汚きたなさといたらない。足の踏み場ふみばもないくらいだ。
- ④朝から晩ばんまで同じことの繰くり返かえしなんて、ばかばかしいといたらありやしない。

👉 プラスの評価ひょうかでもマイナスの評価ひょうかでも使えるが、「～といたらありやしない」はマイナス面めんだけで、特にくだけた言い方。 →17課5「～といたら」

II 強制きやうせい 外ちからからの強い力があって、心理しんりてき的にそうしないことは避けさけられないと言いいたい時

👉
2級

- 1 ～ないわけにはいかない
- 2 ～ざるをえない
- 3 ～ないではいられない・
～ずにはいられない

👉
1級

- 4 ～ないではすまない・
～ずにはすまない
- 5 ～ないではおかない・
～ずにはおかない
- 6 ～を禁さんじ得えない
- 7 ～を余儀よぎなくされる

II・1 ～ないわけにはいかない【～しないことは避けさけられない／どうしても～する必要ひつようがある】

●心理しんりてき的、社会にんげんかんけい的、人間関係じじゆうなどの事情じじゆうのために「～ないことは避けさけられない」と言いいたい時。

- ①今日は熱ねつも少しあるけれども、会議かいぎでわたしが発表はっぴやうすることになっているので、出しゅつ

席せきしないわけにはいかなかった。

②25日は、取引先とりひきさきの会社の社長はじが初めて日本に来るので空港まで迎えむかに行かないわけにはいかない。

③あしたの試験しっぱいに失敗しんきょうしたら進級しんきゅうできない。今日こそ勉強べんきょうしないわけにはいかない。

→22課2 「～わけにはいかない」



II・2 ～ざるをえない【どうしても～しないことは避けられない／どうしても～する必要がある】



●～したくはないが、避けられない事情じじょうがあるので「しかたなく～する」と言う時。

①上司じょうしに命めいじられた仕事なら、いやでもやらざるをえない。

②資金不足しきんぶそくのために、この開発計画かいはつも今後大幅な修正こんごおおほばしゅうせいをせざるをえないだろう。

③化学は好きかかくすではないが、必修ひっしゅうだから取らざるをえない。

④倒産とうさんという事態じたいになったのは、K氏しに責任せきにんの大半たいはんがあると云わざるをえない。

👉 「～ざる」は古語から来た言葉で「～ない」という意味。

「～ざるをえない」は、「～ないわけにはいかない」より強制力きょうせいりょくが強い。

🔗 動詞どうしの(ない)形けい + ざるをえない



II・3 ～ないではいられない・～ずにはいられない【どうしても～しないていることはできない】

●身体的しんたいてきにがまんできない場合や、ものごとの様子ようすや事情を見て、自分の心こころの中で～しようという気持ちおきが起こって、抑えられない時の表現ひょうげん。

①会議中かいぎちゅうだったが、おなかいたが痛くて、体を横よこにしないでいられない。

②店の仕事と、子どもの世話かんびょうと、お父さんの看病はなこいそがという花子の忙しさを見たら、何か手伝わてつだずにはいられない。

③おもしろい！ 読み始めたら、終わりまで読まこうこくずにはいられない。(本の広告から)

④地震じしんの被災者ひさいしゃのことを思うと、早く復興ふっこうが進むすすようと願ねがわずにはいられません。

👉 ×林はやしさんは困こまった人を見ると助たすけないではいられない。

×チンさんは泣なかずにはいられない。

話す人の気持ちあらわを表す文であるから、三人称さんにんしょうに使う時は文末に「～ようだ、～らしい、～のだ」などをつける注意が必要である。

④ 動詞の(ない)形(「する」は「せずにはいられない」) + ずにはいられない

II・4 ~ないではすまない・~ずにはすまない【必ず~しなければならない】

● その場、その時の状況、社会的ルールを考えると「そうしないことは許されない」または「自分の気持ちからそうしなければならない」と言いたい時。

- ① 大切なものを壊してしまったのです。買って返さないではすまないでしょう。
- ② 「彼はかなり怒っているよ。ぼくらが謝らないではすまないと思う。」
- ③ 検査の結果によっては、手術せずにはすまないだろう。
- ④ 今回林さんにあんなに世話になったのだから、ひとことお礼に行かないではすまない。

👉 5「~ないではおかない」の👉を参照。

④ 3「~ずにはいられない」と同じ。

II・5 ~ないではおかない・~ずにはおかない【必ず~する】

● 「~しないでおく、ということは許さない。必ず~する」という強い気持ち、意欲、方針があるときの言い方。

- ① マナーが悪い人は聞かないではおかないというのが、この国の方針です。
- ② あの刑事はこの殺人事件の犯人は逮捕せずにはおかないと言っている。
- ③ チームに弱いところがあれば、敵はそこを攻めずにはおかないだろう。
- ④ 政府は急に方針を変えた。野党はそこを攻撃せずにはおかないだろう。

👉 「~ないではすまない・~ずにはすまない」は受身的で消極的な言い方。

「~ないではおかない・~ずにはおかない」は能動的で積極的な言い方。

④ 3「~ずにはいられない」と同じ。

II・6 ~を禁じ得ない【~を抑えることができない】

● ものごとの様子や事情を見て、心の中から自然にそのような気持ちが起こってきて「抑えることができない」と言いたい時。

- ① 戦災で家も夫も失い、小さい子どもを抱えて逃げ回ったという彼女の話聞いて、わたしは涙を禁じ得なかった。

②建てたばかりの家が地震で壊れてしまったそうだ。まったく同情を禁じ得ない。

③今回の県知事の不正行為は、税金を納めている県民として怒りを禁じ得ない。

👉 1 「～」には感情を表す言葉（名詞、する動詞の名詞）が来る。

👉 2 ×ヤンさんは林さんの様子を見て、涙を禁じ得ない。

×アリさんは政治家の不正行為に怒りを禁じ得ない。

話す人の感情を表す文であるから、ふつう一人称（わたし、わたしたち）の文に使う。



II・7 ～を余儀なくされる【しかたなく～する】



●「自然や自分の力では及ばない強い力でしかたなく～する」という表現。

①せっかく入った大学であったが、次郎は病気のため退学を余儀なくされた。

②国民の高齢化を支えるため、国民は税の高負担を余儀なくされることとなる。

③地震で家を失った人々は学校の校庭や公園でのテント暮らしを余儀なくされた。

👉 「～を余儀なくさせる」は立場が反対の表現である。

・太郎は役者になりたかったのだが、家庭の事情は太郎に家の商売を継ぐことを余儀なくさせた。

・人件費の高くなったことが新しい支店開設の中止を余儀なくさせた。



27 心情の強調・強制

□の中の適切な言葉を使って、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| a てたまりません | b てなりません |
| c てやみません | d ざるをえません |

- 1 彼が何か悩んでいるような気がとても強くします。
()
- 2 まだ体調がよくないのですが、人手が足りないので今日からどうしても出勤しなければなりません。
()
- 3 この頃、国のことが思い出されてとても寂しいです。
()
- 4 一日も早く被災地が復興することを心から願っています。
()

- a ないわけにはいかない b ないではいけない
c ないではすまない d ないではおかない

- 5 わたしは細かいこともどうしても確かめないでいることはできない性格なのだ。
()
- 6 失礼なことを言ってしまったのだから、お詫びしないで済ませることはできないと思う。
()
- 7 これ、先生に頼まれた仕事だから、どうしてもやる必要がある。
()
- 8 今度あいつに会ったら、ひとこと必ず謝らせるぞ。
()

- a かぎりだ b といったらない
c を禁じ得ない d を余儀なくされた

- 9 クラスのヤンさんのスピーチのうまさは本当にすごい。本当にうらやましい。
() ()
- 10 働き過ぎて体を壊し、しかたなく退職した山田さんの心情を思うと、同情を抑えられない。
() ()

あいて 相手を誘ったり、勧めたり、^{ようきゅう}要求などをしたりしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a べきだ b ものではない c ことだ d こと e ことはない

- 1 電車の中で騒いでいる子どもを見たら、ひとこと注意す_____。
- 2 疲れたな、と感じたら、とにかく休養をとる_____よ。
- 3 集合時間：午前8時30分。時間厳守の_____。(「お知らせ」などで)
- 4 携帯電話は、公共の場所ではやたらに使う_____。
- 5 この書類はオリジナルが1部あれば十分だ。コピーをとる_____。



使えますか

- 1 先生、この点について { a もう一度説明していただきたいのですが。
b もう一度説明することですよ。
- 2 年長者にはていねいな言葉を { a 使わないものではない。
b 使うものだ。
- 3 a 予定に変更があった時は、関係者にすぐ知らせるべきだ。
b 車を運転するには、まず免許を取るべきだ。
- 4 何もそんなことで { a 泣くことはないでしょう。
b 泣くものはないでしょう。
- 5 この案を直ちに実行に { a 移すのではないかと。
b 移そうではないかと。

答は次のページにあります。


誘い・勧め・注意・禁止 あいて 相手を誘ったり、勧めたり、ようきゅう 要求などをしたりしたい時



- 1 ~う (よう) ではないか
- 2 ~ことだ
- 3 ~こと
- 4 ~ものだ・~ものではない
- 5 ~べき・~べきだ・
~べきではない
- 6 ~ことはない





- 7 ~べからず・~べからざる

 1 ~う (よう) ではないか【~しよう】

●「一緒に~しよう」と誘いかける時の言い方。

- ①これからは少しでも人の役に立つことを考えようではないか。
- ②環境問題について、具体的に自分にはどんなことができるのか、一つひとつリストに書いてみようではないか。
- ③「旅行の費用を積み立てるとするのはいい考えですね。さっそく、わたしたちも来月から始めようじゃありませんか。」

 2 ~ことだ【~しなさい/~した方がいい】 

●相手のために「~した方がいい/~しない方がいい」と注意したい時。

- ①外の人に頼らないで、とにかく自分でやってみることだ。
- ②「あなたは病人なんだから、お酒はいけません。誘われても飲まないことです。」
- ③上級の読解力をつけたいのなら、毎日、新聞を読むことだ。


 話す人が個人の意見や判断を助言や忠告として言う言い方。



1 a 2 c 3 d 4 b 5 e



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

 3 ～こと【～しなさい】




●学校、^{だんたい}団体などで「～しなさい」「～してはいけない」と書いて^{つた}伝える時の^{ひょうげん}表現。

- ①レポートは10日までに^{ていしゅつ}提出すること。
- ②あしたは^{えんぴつ}赤鉛筆を^{わす}忘れないこと。
- ③11月3日は10時に駅前^{しゅうごう}に集合のこと。

👉 ^{こくばん}黒板や^{はいふよう}配布用のプリントなどに書いたり、時には口で伝えたりする。


🔗 動詞の辞書形・～ない形 +こと

 4 ～ものだ・～ものではない【～するのが^{とうぜん}当然だ／～しないのが当然だ】

- ①「もう10時半だよ。早く^ね寝なさい。子どもは10時前に寝るものだ。」
- ②^{むだ}無駄づかいをするものじゃない。お金は大切にするものだ。
- ③^{よわ}弱い者いじめをするものじゃないよ。
- ④「お^{みま}見舞いに^{はちう}鉢植えの花は持って行かないものですよ。」

👉 ^{こじん}個人の意見ではなく、^{どうとくてき}道徳的、^{じゅうしき}社会的な常識について^{せつきょう}説教したりする時の表現。

🔗 動詞の辞書形・～ない形 +ものだ →30課4「～ものだ」、30課5「～ものだ」

 5 ～べき・～べきだ・～べきではない【～した方がいい／～しない方がいい】

●「～するのが、または～しないのが人間としての^{ぎむ}義務だ」と言いたい時の表現。

- ①「1万円^{ひろ}拾ったんだって。そりゃあ、すぐに^{けいさつ}警察に^{とど}届けるべきだよ。」
- ②^{おや}親が生きているうちにもっと^{こうこう}親孝行するべきだった、と^{こうかい}後悔している。
- ③^{げんだい}現代はなに^{ちきゅうきぼ}ごとも地球規模で考えるべきだ。
- ④^{じょせい}女性に^{ねんれい}年齢を聞くべきではない。

👉 1 話す人が^{しゅちょう}義務だと^{ちゅうこく}主張したり、忠告したりしたい時に使う。

👉 2 ×^{かいがい}海外旅行に行く時はパスポートを持って行くべきだ。

^{きそく}規則や^{ほうりつ}法律で決まっている場合は「～なければならない」を使う。

○海外旅行に行く時はパスポートを持って行かなければならない。

🔗 動詞の辞書形 (「する」は「すべきだ」の形もある) +べきだ

6 ~ことはない【~する必要はない/~しなくてもいい】

- ①「怖がることはないよ。あの犬は、体は大きいけれど性質はおとなしいから。」
- ②けがで試験を受けられなくても、再試験があるから心配することはない。
- ③電話で済むのだから、わざわざ行くことはありません。
- ④パーティーといっても、親しい友達が集まるだけなんだから、なにも着替えることはない。

👉 忠告、助言的な言い方。

👉 共起 なにも~ことはない、わざわざ~ことはない

🔗 動詞の辞書形 +ことはない

7 ~べからず・~べからざる【~してはいけない】

- ①録音中。ノックするべからず。
- ②昔はよく立て札に「ここにごみを捨てるべからず」などと書いてあった。
- ③彼は母親に対して言うべからざることを言ってしまったと後悔している。

👉 1 禁止の古い言い方。張り紙、掲示板、立て札など。今はあまり用いられない。

👉 2 「~べからざる」は名詞につながる形。

🔗 動詞の辞書形 +べからず



28 誘い・勧め・注意・禁止

□の中から適切な言葉を選んで、次の会話を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a こと b ことはない c ようではありませんか d べきだ
e ものではない f べからず g べきではない h ことです

1. 「大学に入ったのに、新しい^{ともだち}友達がなかなかできなくて……。」
「人間^{にんげんかんけい}関係を広げるには、専攻^{せんこう}の同じ人とだけでなく、違^{ちが}う科^かや学部^{がくぶ}の人とも話して
てみる_____よ。」
2. 「最近^{さいきん}、みんな自分の仕事^{いそが}が忙しくて互^{たが}いに連絡^{れんらく}が不^ふ徹^{てつ}底^{てい}なことがよくあるね。」
「朝、仕事を始める前に簡^{かん}単^{たん}なミーティングの時間があるといいですね。さっそく
課長^{かちょう}に提^{てい}案^{あん}してみ_____。」
3. 「おじいちゃん、これ、何という意味？」
「『ここに駐^{ちゆう}車^{しゃ}する_____』か。車を止めてはいけないっていう意味だよ。」
4. (子どもたちが図書室で漫^{まん}画^がを見ながらペチャクチャおしゃべりをしている。)
「『図書室では静^{しず}かにする_____』って書いてあるよ。おしゃべりなんかする_____
__よ。」
5. 乗客^{じようきやく}「A駅へ行きたいんですが、B駅で急行^{きゆうこう}に乗り換^かえた方がいいでしょうか。」
駅員「お急ぎじゃなければ、わざわざ乗り換^かえる_____と思います。2、3分の違
いですから。」
6. 「最近、忙しくてなかなか家族^{いっしょ}と一緒に食^{しょく}事^じもできないんですよ。」
「そうですか。そろそろ我々^{われわれ}もこういう生活^{せいかつ}を改^{あらた}める_____と思いますね。仕事の
ために個^こ人^{じん}の大切^{たいせつ}なものを犠^ぎ牲^{せい}にし続^{つづ}ける_____と思います。」

気持ちを込めて主張する時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a まい b にほかならない c にきまっている d にすぎない
e しかない

- 1 こんなに無理をしたら、病気になる_____。
- 2 危ない山にはもう登る_____と思うけれど、やっぱりまた登りたくなる。
- 3 わたしの論文は、論文というよりレポートという程度のものである_____。
- 4 あした手術をする。今はもう神に祈る_____。
- 5 彼が子どもに厳しくするのは、彼の子どもに対する愛情_____。



使えますか

- 1 a もうテレビゲームはやめるまいと決心したが、
b もうテレビゲームはやるまいと決心したが、
} やっぱりやってしまう。
- 2 大人になるということは、
a 親からの独立にほかならない。
b 親から独立するにほかならない。
- 3 この文の本当の意味がわかった人は、
a ほんの数人にすぎなかった。
b 10人中8、9人にすぎなかった。
- 4 あの時は病気だったのだから、
a 休職するしかなかった。
b 休職したしかなかった。
- 5 たくさん働いた人の方が給料が少ない。
a これでは不公平ということだ。
b これでは不公平というものだ。

答は次のページにあります。

しゅ ちょう だん てい
主張・断定 気持ちを込めて主張する時



- 1 ~まい
- 2 ~にほかならない
- 3 ~にきまっている
- 4 ~にすぎない
- 5 ~しかない・
~(より)ほか(は)ない・
~ほか(しかたが)ない
- 6 ~というものだ



- 7 ~までだ・~までのことだ・
~ばそれまでだ
- 8 ~に(は)あたらない
- 9 ~でなくてなんだろう



1 ~まい【~のはやめよう】

●強い否定の意志を表す。

- ①鈴木さんは無責任な人だ。もう二度とあんな人に仕事を頼むまい。
- ②もう決して戦争を起こすまいと、わが国は固く決心したはずです。
- ③考えまい、考えまいとするけれど、やっぱりあしたのことが気になって眠れない。

🔗 動詞の辞書形 (動詞II、IIIは「(ない)形+まい」もある。するは「すまい」もある) +まい →26課II・1「~まい」



2 ~にほかならない【~だ/~以外のものではない】

●「絶対に~だ、~以外のものではない」と断定したい時。

- ①文化とは国民の日々の暮らし方にほかならない。
- ②山川さんが東京で暮らすようになってもふるさとの方言を話し続けたのは、ふるさとへの深い愛着の表れにほかならない。



1 c 2 a 3 d 4 e 5 b



1 b 2 a 3 a 4 a 5 b

③ ^{かれ}彼が ^{きび}厳しい態度を示すのは、子どもの ^{しょうらい}将来のことを ^{しんぱい}心配するから にほかならない。

④ 普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） + にほかならない



3 ～にきまっている【きっと～だ/必ず～だ】

① そんな ^{くら}暗いところで本を読んだら目に 悪いにきまっている。

② 今週中に30枚のレポートを書くなんて 無理にきまっています。

③ 「デパートよりスーパーの方が ^{しなもの}品物が 安いにきまっているよ。スーパーへ行こう。」

④ 推量に近い意味を表す使い方もある。

・ 選挙では林氏が 当選するにきまっている。なにしろこの土地の ^{とち}有力者だから。

・ こんなに急にやせるなんて 変だ。きっと何か悪い病気に きまっている。

・ この字は彼が 書いたにきまっています。わたしは彼の字のくせをよく知っています。

⑤ 普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） + にきまっている



4 ～にすぎない【ただ～だけだ】

● 「それ以上のものではない、ただその ^{ていど}程度のものだ」と言って、程度 ^{ひく}の低さを ^{きょうちよう}強調する時。

① 「あなたはギリシャ語ができるんですってね。」

「いいえ、ただちょっとギリシャ ^{もじ}文字が 読めるにすぎません。」


② この問題について正しく答えられた人は、60人中 わずか3人にすぎなかった。

③ わたしは ^{むめい}無名の一 ^{しみん}市民に すぎませんが、この ^{じけん}事件について ^{せいふ}政府に強く ^{こうぎ}抗議します。

④ 彼はただ ^{ちちおや}父親が有名である にすぎない。彼に ^{じつりょく}実力があるわけではない。


⑥ 共起 ただ～にすぎない、ほんの～にすぎない

⑦ 普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） + にすぎない

 5 ~しかない・~(より)ほか(は)ない・~ほか(しかたが)ない【~以外に方法はない】


- ①この事故の責任はこちら側にあるのだから、謝るしかないと思う。
 ②ビザの延長ができなかったのだから、帰国するしかない。
 ③当時わたしは生活に困っていたので、学校をやめて働くほかなかった。
 ④この病気を治す方法は手術しかないそうです。すぐに入院するほかありません。


 動詞の辞書形 / 名詞 + しかない


 6 ~というものだ【心から~だと思う】

●話す人がある事実を見て それについて批判、感想を断定的に言う時。

- ①子どもの遊びまでうるさく言う親……。あれでは子どもがかわいそうというものだ。
 ②あの議員は公費で夫人と海外旅行をした。それはずうずうしいというものだ。
 ③困った時こそ手をさしのべるのが真の友情というものでしょう。
 ④長い間の研究がようやく認められた。努力のかいがあったというものだ。

 過去形や否定形はない。いつも「~というものだ」の形で使う。

 普通形型 (な形容詞と名詞は「だ」がない場合もある) + いうものだ

 7 ~までだ・~までのことだ・~ばそれまでだ【~以外に方法はない】

●「外に適切な方法がないから、そうする」という覚悟、決意を表す。

- ①この台風で家までの交通機関がストップしてしまったら、歩いて帰るまでだ。
 ②これだけがんばってどうしてもうまくいかなかった時は、あきらめるまでだ。
 ③彼女がどうしてもお金を返さないと言うのなら、しかたがない。強行手段に出るまでのことだ。
 ④高い車を買っても、事故を起こせばそれまでだ。
 ⑤いくらお金をためても、死んでしまえばそれまでだ。

 ④⑤は、「そうになったら、すべてが無駄になってしまう」と言いたい時の表現。

 動詞の辞書形 + までだ →24課II・12「~までだ・~までのことだ」



8 ～に（は）あたらない【～ほどのことではない】

- ①彼の才能なんてたいしたことはない。驚くにあたらないと思う。
- ②この絵は上手だけれど有名な画家のまねのようだ。感心するにはあたらない。
- ③山田さんの成功は親の援助に負うところが大きいのです。称賛にはあたりません。

☞ 「～」には驚く、感心する、ほめる、称賛などの言葉が来ることが多い。

🔗 動詞の辞書形 / する動詞の名詞 + にはあたらない



9 ～でなくてなんだろう【これこそ～そのものだ】



- ①彼は体の弱い妻のために空気のきれいな所へ引越すことを考えているようだ。これが愛でなくてなんだろう。
- ②親鳥は北の国へ帰る日が来てもけがをした子鳥のそばを離れようとはしなかった。これが親子の情愛でなくてなんだろう。
- ③上田さんはぜいたくはせず、つねに人々のためを考えた。これが指導者の姿勢でなくてなんだろう。

☞ 2「～にほかならない」と同意だが、「～にほかならない」が断定的であるのに対して、「～でなくてなんだろう」は、より主観的で感情がこもっている。



練習

29 主張・断定

中の言葉を使って下の文を完成しなさい。一つの場合は1回しか使えません。

I

- a まい b にほかならない c にきまっている d しかない
e にすぎなかった f というものだ g にはあたらない

息子の太郎はバイクの腕がいい。(もっともこんなことはほめる 1 が……) し

かし、一度大けがをしてからは、もうバイクには乗る 2 と決心したようだった。でも、それは一時的な決心 3。夫はあの事故の後、彼からバイクをとりあげてしまった。もちろん太郎のことを心配するから 4。しかし、あれでは太郎がかわいそう 5。太郎もまもなく二十歳。バイクが危険なことはわかっている 6。わかっていて乗るのだ。わたしは、今はもうあの子の好きなようにさせる 7 と思っている。

- a まい b にほかならない c にきまっている
 d にすぎない e ほかない f というものだ
 g までだ h にはあたらない i でなくてなんだろう

II

- 親がわたしの気持ちをわかってくれないのなら、家を出る_____。
- この作品は大作ではあるけれど、内容がどうも低俗ですね。優秀作として掲載する_____と思います。
- この病気を治すためには、入院して手術を受ける_____でしょう。
- 日本が資源問題に関心をもってきた理由は、日本が資源に乏しい国だから_____。
- 自由をあきらめるくらいなら、わたしは一生結婚する_____。
- この質問の意味が理解できる人は、100人中5人_____。
- やりたくないからやらないなんて、君、それはわがまま_____よ。
- あれほどの事故だったのに全員無事だった。これが奇跡_____。
- 無理なダイエットをするより、健康的に食べてよく運動するのがいい_____。

感激かんげきして言ったり、感情かんじょうや願ねがいを強く言ったりする時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a たいものだ b ことだ c ことに d ものだ e ないものか

- 1 無事ぶじに赤ちゃんあかちゃんが生まれたようだ。本当ほんとうにめでたい_____。
- 2 父は、時間があると、よくわたしを魚いさなつりに連れて行ってくれた_____。
- 3 残念ざんねんな_____、山田やまださんは今年しゅうがくしんは奨学金しょうがくしんがもらえなかったそうだ。
- 4 ビンさんは、年をとる前まへになんとかして一度ひとたび故郷こきょうへ帰り_____と、いつも言っている。
- 5 雑誌ざっしの記事きじの締め切りしめきりが迫せまってくると、なんとかして時間が止とどまってくれ_____と思う。



使えますか

- 1 残念なことに、 $\left\{ \begin{array}{l} a \text{ わたしはこの会社をやめさせられたのです。} \\ b \text{ わたしはこの会社をやめるつもりです。} \end{array} \right.$
- 2 大学時代、よく田中たなか君くんと $\left\{ \begin{array}{l} a \text{ この喫茶店きっさてんに入ったものだ。} \\ b \text{ この喫茶店に入ったことか。} \end{array} \right.$
- 3 a 大きくなったことに、あの子がこんな料理を作れるようになったのか。
b あの子がこんな料理を作れるようになったのか。大きくなったものだ。
- 4 なんとかして今日けふ中にこの仕事を $\left\{ \begin{array}{l} a \text{ 終わらせたいものだ。} \\ b \text{ 終わらせないことか。} \end{array} \right.$
- 5 a コンピューターでこんなことまでできるとは、
b コンピューターでこんなことまでできるのは、 $\left. \right\}$ 驚おどろいた。

答は次のページにあります。

かん たん 感嘆・願望 がん ぼう

かんげき 感激して言ったり、かんじょう ねが 感情や願いを強く言ったりする時



- 1 ~ことに (は)
- 2 ~ことだ
- 3 ~ことか・~だろう・
~ことだろう
- 4 ~ものだ
- 5 ~ものだ
- 6 ~たいものだ
- 7 ~ないものか
- 8 ~ものがある



- 9 ~とは



1 ~ことに (は) 【非常に~ことだが】

●感情を表す言葉につく。話す人がある事実についてどう感じたかを強く言う時。

- ①驚いたことに、保守政党と革新政党が共に手を組んで連立内閣を作った。
- ②不思議なことに、何年も実がならなかった柿の木に今年はたくさん実がなった。
- ③悔しいことには、1点差でA校とのバスケットの試合に負けてしまった。
- ④うれしいことに、来年カナダに留学できそうだ。

✖ ×うれしいことに、来年カナダに留学するつもりだ。

後の文に、話す人の意志を表す文は来ない。

🔗 連体修飾型 (名詞につく例はない) + ことに (は)



2 ~ことだ 【非常に~だ】

●話す人がある事実について、どう感じたかを感情を込めて言いたい時。





1 b 2 d 3 c 4 a 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 a

- ① 弟がK大学に合格できた。本当にうれしいことだ。
 ② ここで遊んだのは、もう30年も前のことだ。ああ、懐かしいことだ。
 ③ 5年ぶりに兄がロシアから帰って来る。うれしいことだ。

 感情を表す形容詞につくことが多い。

 1「～ことに (は)」と同じ。

→28課2 「～ことだ」

3 ～ことか・～だろう・～ことだろう【非常に～だ】

● 心に強く感じたことや感激したことを感情を込めて言う時。

- ① 小鳥が死んだ時、あの子がどんなに悲しんだことか。
 ② 早く病院に行きなさいと何度注意したことか。手遅れだったとは本当に残念だ。
 ③ 「ああ、なんときれいな夕焼けでしょう。」
 ④ 気の合った友達と酒を飲みながら話すのはなんて楽しいんだろう。
 ⑤ 不幸な中で、幸せな日々を思い出すのはなんと辛いことだろう。


共起 なんと～ことか、どんなに～だろう、いかに～だろう、何+助数詞+～ことか

4 ～ものだ【よく～したなあ】

● 昔よくしたことを思い出して、懐かしんで感情を込めて言う時。

- ① 子どもの頃、寝る前に父がよく昔話をしてくれたものだ。
 ② 小学校時代、兄弟げんかをしてよく祖父に叱られたものだ。
 ③ 学生の頃は、この部屋で夜遅くまで酒を飲み、歌を歌い、語り合ったものだ。

共起 よく～ものだ

 動詞の～た形 +ものだ

→28課4 「～ものだ・～ものではない」

5 ～ものだ【本当に～だなあ】

● 心に強く感じたことや、驚いたり感心したりしたことを感情を込めて言う。

- ① 小さな子どもがよくこんな難しいバイオリンの曲をひくものだ。大したものだ。
 ② タンさんは家族を亡くし、たった一人で今日までよく生きてきたものだ。

③月日のたつのは早いもので、この町に引越して来たのはもう20年も前のことだ。

④知らない国を旅して、知らない人々に会うのは楽しいものだ。

🔗 連体修飾型 (名詞につく例はない) + ものだ → 28課4 「～ものだ・～ものではない」



6 ～たいものだ【～たいなあ】

●実現が難しいことを強く願ったり、望んだりする時の言い方。

①ライト兄弟は子どもの頃からなんとかして空を飛びたいものだと思っていた。

②今年こそ海外旅行をしたいものだ。

③20世紀の終わりまでに、環境問題を少しでも解決したいものだ。

共起 なんとか～たいものだ、なんとかして～たいものだ



7 ～ないものか【～ないだろうか】

●非常に強い願いを何かの方法で実現させたいという気持ちを言いたい時。

①人々は昔からなんとかして年をとらずに長生きできないものかと願ってきた。

②なんとかして世界を平和にできないものか。

③なんとか母の病気が治らないものかと、家族はみんな願っている。

共起 なんとかして～ないものか、なんとか～ないものか



8 ～ものがある【相当～だ／なんとなく～と感じる】

●話す人が、ある事実から感じたことを感情をもって言う時の表現。

①中学校の古い校舎が取り壊されるそうだ。思い出の校舎なので、わたしにとって残念なものがある。

②卒業後はわたしだけ村に残って、友達はみんな都会に出て行ってしまふのだ。ちょっと寂しいものがある。

③あの若さであのテクニック！ 彼の演奏にはすごいものがある。

👉 「～」には話す人の感情を表す言葉が来ることが多い。

🔗 連体修飾型 (現在形だけ。名詞につく例はない) + ものがある



9 ～とは【～という事実は／～ということは】

●「～」という事実を見たり聞いたりして、驚いた時や特別の感想をもった時に言う。

- ①いつもはおとなしい山下さんがそんなことまで言うとは意外でした。
- ②今日がわたしの誕生日だということを覚えていてくださるとは、感激しました。
- ③信じられないなあ、このわたしがR大学に入学できたとは。
- ④何でも機械がやってくれるとは、ありがたい世の中になったものだ。

☞ 前の文では知ったことなどについて言い、後の文には驚きなどを表す文が来る。



30 感嘆・願望

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を____の上に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a ないものか b ものがある c とは d ことだ
e ものだ f たいものだ g だろう h ことに

- 1 巣立って行った子どもたちがこうやって1年に数回帰って来て家族がそろうのはうれしい_____。
- 2 昔の子どもたちは年齢の大きい子も小さい子も一緒にあって外で遊んだ_____。
- 3 幸運な____、妹は事故のあった電車には乗っていなかったということだ。
- 4 今年こそジョギングを生活の習慣にし_____。
- 5 あのおとなしい健ちゃんが今や、しゃべるのが商売の弁護士になっている____、本当に驚いた。
- 6 なんとかしてこの商談を成立させることができ_____と、毎日、交渉を重ねている。
- 7 新人が入って半年もたたないうちに新人らしい新鮮さを失ってしまうのを見るのは、ちょっと寂しい_____。
- 8 A商社の受付の人は、なんときれいな人_____。

索引 (50音順)

あ	課	級	頁
～あげく(に)	24 I-2	②	176
～あげくの	24 I-2	②	176
～あつての	16 II-8	①	120
～あまり	19 II-7	②	143
あまりの～に	19 II-7	②	143
～いかんだ	13-10	①	103
～いかんで (体調いかに)	13-10	①	103
～いかんでは (天候いかなでは)	13-11	①	103
～いかににかかわらず (結果のいかににかかわらず)	14-6	①	108
～いかにによって (体調いかにによって)	13-10	①	103
～いかにによっては (天候のいかにによっては)	13-11	①	103
～いかにによらず (結果いかにによらず)	14-6	①	108
～いざしらず	14-9	①	108
～以上(は) (約束した以上)	19 III-1	②	144
～一方(で) (考える一方でも)	10 II-3	②	80
～一方だ (悪くなる一方だ)	6 I-1	②	50
～うえ(に) (話が長いうえに)	9 II-2	②	71
～上で (企画を成功させる上で)	2 I-2	②	21
～上で (一晩考えた上で)	5 II-2	②	45
～上の (一晩考えた上の決心)	5 II-2	②	45
～上は (約束した上は)	19 III-2	②	144
～うちに (話をしているうちに)	4-7	②	38
～うちに (若いうちに)	5 II-5	②	46
～う(よう)か～まいか (しようかするまいかと考える)	10 II-1	②	79
～う(よう)か (どこへ行こうか)	21-7	①	158
～う(よう)か～まいか (しようかするまいか関係ない)	21-8	①	158
～う(よう)ではないか	28-1	②	207
～う(よう)と～まいと (しようとするまいと関係ない)	21-8	①	158
～う(よう)と(も) (どんなに悪く言われようとかまわない)	21-7	①	158

～う(よう)にも～ない	22-6	①	163
～う(よう)ものなら	20-6	②	152
～得る	22-5	②	162
～得ない	22-5	②	162
～おかげか	19 II-1	②	141
～おかげだ	19 II-1	②	141
～おかげで	19 II-1	②	141
～おそれがある	26 II-3	②	195
～折(に)	4-1	②	36
～折の	4-1	②	36

か

か	課	級	頁
～かぎり(できるかぎり)	3-7	②	31
～かぎり(は) (体が丈夫なかぎり)	8-3	②	64
～かぎりだ (うれしいかぎりだ)	27 I-5	①	200
～かぎりでは (グラフを見るかぎりでは)	8-4	②	64
～かぎりの (できるかぎりの)	3-7	②	31
～かけだ	4-6	②	38
～かけの	4-6	②	38
～かける	4-6	②	38
～か最後	20-8	①	153
～かたい	22-1	②	161
～かたかた	7-9	①	59
～かたわら	7-7	①	58
～かちだ	23 I-1	②	167
～かちの	23 I-1	②	167
～かてら	7-8	①	58
～(か)と思うと	5 I-2	②	42
～(か)と思ったら	5 I-2	②	42
～か～ないかのうちに	5 I-3	②	43
～かねない	26 II-4	②	195
～かねる	22-3	②	162
～かのようだ	23 II-3	②	171
～かのように	23 II-3	②	171
～か早い	5 I-5	①	43
～から (タバコの不始末から)	19 I-2	②	138
～から～にかけて	3-3	②	30
～からある (20キロからある荷物)	16 II-5	①	120
～からいうと	11 I-4	②	87

～からいえば	11 I -4 ②……	87	～ごとく (氷のごとく)	23 II -5 ①……	171
～からいって	11 I -4 ②……	87	～ことだ (彼のことだ。きっと来るよ)	19 III -4 ②……	145
～からこそ	19 I -3 ②……	139	～ことだ (自分でやってみることだ)	28-2 ②……	207
～からして (学生の側からしても)	11 I -6 ②……	88	～ことだ (本当にうれしいことだ)	30-2 ②……	218
～からして (食べ物からして合わない)	3-2 ②……	29	～ことだから (彼のことだから必ず来る)		
～からすると	11 I -6 ②……	88		19 III -4 ②……	145
～からすれば	11 I -6 ②……	88	～ことだろう (なんと辛いことだろう)	30-3 ②……	219
～からといって	18-8 ②……	133	～こととて	19 I -5 ①……	139
～からには (日本へ来たからには)	19 III -3 ②……	145	～こととなっている	24 II -6 ②……	180
～からの (20キロからの荷物)	16 II -5 ①……	120	～ことなく (休むことなく働いた)	25 I -6 ②……	188
～からは (日本へ来たからは)	19 III -3 ②……	145	～ことなく (私に言うことなく去った)	7-4 ②……	57
～から見て	11 I -5 ②……	88	～ことなしに (休むことなしに働いた)	25 I -7 ①……	188
～から見ると	11 I -5 ②……	88	～ことなしに (血を流すことなしに戦う)	7-11 ①……	59
～から見れば	11 I -5 ②……	88	～ことに (は)	30-1 ②……	218
～かわりに	10 II -8 ②……	81	～ことになっている	24 II -6 ②……	180
～ ^{ぎみ} 気味	23 I -3 ②……	168	～ことになる	24 II -5 ②……	180
～きれいがある	23 I -5 ①……	168	～ことは～が	25 II -4 ②……	190
～きり	24 I -4 ②……	177	～ことはない	28-6 ②……	209
～きりだ	24 I -4 ②……	177			
～きる	24 II -1 ②……	178	さ	課 級 頁	
～きれない	24 II -1 ②……	178	～ ^{さい} 際 (に)	4-2 ②……	36
～きれる	24 II -1 ②……	178	～ ^{さい} 際の	4-2 ②……	36
～ ^{きわ} 極まりない	16 II -9 ①……	121	～ ^{さいちゅう} 最中 (に)	4-8 ②……	39
～ ^{きわ} 極まる	16 II -9 ①……	121	～ ^{さいちゅう} 最中だ	4-8 ②……	39
～くせして	18-2 ②……	131	～さえ	16 I -1 ②……	116
～くせに	18-2 ②……	131	～さえ～ば (暇さえあれば)	20-1 ②……	150
～くらい (自分一人ぐらい行かなくても)	16 II -1 ②……	118	～ざるをえない	27 II -2 ②……	202
～くらい (泣きたいくらい)	23 II -2 ②……	171	～しかない	29-5 ②……	214
～くらいだ (泣きたいくらいだ)	23 II -2 ②……	171	～ ^{しだい} 次第 (決まり次第知らせる)	5 I -4 ②……	43
～くらいの (泣きたいくらいの)	23 II -2 ②……	171	～ ^{しだい} 次第だ (こうなった次第だ)	24 II -4 ②……	179
～くらい～はない	10 I -2 ②……	77	～ ^{しだい} 次第だ (その日の天気次第だ)	13-3 ②……	101
～げ	23 II -4 ②……	171	～ ^{しだい} 次第で (その日の天気次第で)	13-3 ②……	101
～こそ	16 II -3 ②……	119	～ ^{しだい} 次第では (その日の天気次第では)	13-4 ②……	101
～こと (駅前に集合のこと)	28-3 ②……	208	～しまつだ	24 II -11 ①……	182
～ことか (どんなに悲しんだことか)	30-3 ②……	219	～ ^{じょう} 上 (形式上)	11 I -3 ②……	87
～ことから	19 I -2 ②……	138	～ ^{じょう} 上の (形式上のこと)	11 I -3 ②……	87
～ごとき (次のごとき日程)	12-10 ①……	97	～ ^{すえ} 末 (に)	24 I -3 ②……	177
～ごとき (氷のごとき冷たさ)	23 II -5 ①……	171	～ ^{すえ} 末の	24 I -3 ②……	177
～ごとく (次のごとく)	12-10 ①……	97	～ずくめ	23 I -7 ①……	169

～ずにはいられない	27 II-3	②	……	202
～ずにはおかない	27 II-5	①	……	203
～ずにはすまない	27 II-4	①	……	203
～すら	16 I-5	①	……	117
～せいか	19 II-2	②	……	141
～せいだ	19 II-2	②	……	141
～せいで	19 II-2	②	……	141
～そばから	5 I-8	①	……	44

た

課 級 頁

～たいものだ	30-6	②	……	220
～だけ (食べただけ食べてもいい)	3-6	②	……	31
～だけあって (一流ホテルだけあって)	19 II-6	②	……	142
～だけに (苦勞しただけに)	19 II-5	②	……	142
～だけの (できるだけのことはした)	3-6	②	……	31
～だけの (苦勞しただけのことはある)	19 II-5	②	……	142
ただ～だけでなく	9 I-5	①	……	69
ただ～のみ	8-5	①	……	64
ただ～のみならず	9 I-5	①	……	69
たとえ～でも	21-1	②	……	156
～たところ (父に相談してみたところ)	24 I-1	②	……	176
～たところで (今から行ったところで)	21-2	②	……	156
～たとたん (に)	5 I-1	②	……	42
～だに	16 I-6	①	……	118
～たび (に)	13-6	②	……	102
～だらけ	23 I-4	②	……	168
～たら最後	20-8	①	……	153
～たりとも	16 I-3	①	……	117
～たる	11 II-6	①	……	91
～だろう	30-3	②	……	219
～ついでに	7-1	②	……	56
～つけ (あれ、なんだつけ)	24 II-9	②	……	181
～っこない (できっこない)	25 I-3	②	……	187
～つ～つ (行きつ戻りつ)	23 II-7	①	……	172
～つつ (その車に揺られつつ)	7-2	②	……	56
～つつ (悪いとは知りつつ)	18-3	②	……	131
～つつある (沈みつつある夕日)	6 I-3	②	……	51
～つつも (悪いとは知りつつも)	18-3	②	……	131
～っぱなし (道具が出しっぱなし)	24 I-5	①	……	177

～っばい (忘れっばい)	23 I-2	②	……	167
～であれ (たとえ社長であれ)	21-6	①	……	158
～であれ～であれ (川であれ海であれ)	15-7	①	……	113
～て以来	5 II-3	②	……	46
～てからでない	5 II-4	②	……	46
～てからでなければ	5 II-4	②	……	46
～てからというもの	5 II-7	①	……	47
～でさえ	16 I-1	②	……	116
～てしかたがない	27 I-1	②	……	199
～てしょうがない	27 I-1	②	……	199
～ですら	16 I-5	①	……	117
～てたまらない	27 I-2	②	……	199
～でなくてなんだろう	29-9	①	……	215
～てならない	27 I-3	②	……	200
～ではあるまいし	19 III-6	①	……	146
～てはじめて	5 II-1	②	……	45
～てやまない	27 I-4	①	……	200
～と相まって	9 II-8	①	……	73
～とあって	19 I-6	①	……	140
～とあれば	20-10	①	……	153
～といい～といい	15-5	①	……	113
～ということだ (昔この辺は町の中心だったということだ)	26 I-1	②	……	193
～ということだ (つまり、会議は延期ということですね)	24 II-7	②	……	181
～ということは (書くということは)	17-2	②	……	124
～というと	17-4	②	……	125
～というところだ	3-12	①	……	33
～というのは (季語というのは)	17-1	②	……	124
～というもの (この10年というもの)	16 II-6	①	……	120
～というものだ (それでは不公平というものだ)	29-6	②	……	214
～というものではない	25 II-1	②	……	189
～というものでもない	25 II-1	②	……	189
～というものは (親というものは)	17-2	②	……	124
～というより	10 II-7	②	……	81
～といえども (一門といえども)	16 I-4	①	……	117
～といえども (子どもといえども)	18-9	①	……	133

～といえども (どんな悪人といえども)	21-5	①……	157	～とは (彼が来るとは驚いた)	30-9	①……	221
～といえば	17-3	②……	125	～とはいふものの	18-4	②……	131
～といったところだ	3-12	①……	33	～とはいえ	18-10	①……	133
～といったら (あの時の怖さといったら)	17-5	②……	126	～とばかり (に)	23II-9	①……	173
～といったらありはしない	27 I -6	①……	201	～とみえて	26II-7	②……	196
～といったらない (そのうれしさといったらない)	27 I -6	①……	201	～とみえる	26II-7	②……	196
～といっても	18-7	②……	132	～ともあろう	11II-5	①……	91
～といわず～といわず	15-6	①……	113	～ともなく	23II-6	①……	172
～と思いきや	18-14	①……	135	～ともなしに	23II-6	①……	172
～とおりに (に)	12-2	②……	95	～ともなると	11II-4	①……	90
～とおりだ	12-2	②……	95	～ともなれば	11II-4	①……	90
～とおりの	12-2	②……	95				
～とか (そちらは大雪だったとか)	26 I -2	②……	193	な	課	級	頁
～とか～とか (数学とか物理とか)	15-1	②……	111	～ないうちに	5II-5	②……	46
～ときたら	17-7	①……	126	～ないかぎり	20-7	②……	152
～ところ (食べているところ)	4-5	②……	37	～ないことには	20-3	②……	151
～どころか (ウイスキーどころか)	10II-2	②……	79	～ないことはない	25II-3	②……	190
～ところから (富士山にはいてるところから)	19 I -2	②……	138	～ないこともない	25II-3	②……	190
～ところだ (今食べているところだ)	4-5	②……	37	～ないではいられない	27II-3	②……	202
～ところだった (もう少しでぶつかるところだった)	24II-8	②……	181	～ないではおかない	27II-5	①……	203
～どころではない (忙しくてお花見どころではない)	25 I -5	②……	187	～ないではすまない	27II-4	①……	203
～どころではなく (忙しくてお花見どころではなく)	25 I -5	②……	187	～ないでもない	25II-5	①……	190
～ところを (お忙しいところを)	18-12	①……	134	～ないまでも	10II-10	①……	82
～ところをみると (電気がついているところを見ると)	19III-5	②……	145	～ないものか	30-7	②……	220
～としたら	20-2	②……	150	～ないものでもない	25II-5	①……	190
～として (誰一人としていない)	16 I -2	②……	116	～ないわけにはいかない	27II-1	②……	201
～として (科学者として)	11 I -2	②……	86	～ながら (狭いながら)	18-1	②……	130
～としても (たとえ大金持ちだとしても)	21-3	②……	157	～ながら (生まれながら)	7-10	①……	59
～とすると (もし行くとすると)	20-2	②……	150	～ながらに (生まれながらに)	7-10	①……	59
～とすれば (もし行くとすれば)	20-2	②……	150	～ながらの (生まれながらの)	7-10	①……	59
～とともに (秋の深まりとともに)	6II-5	②……	53	～ながらも (狭いながらも)	18-11	①……	134
～とのこと (だ)	26 I -1	②……	193	～なくして (は)	20-9	①……	153
～とは (入管とは入国管理局のこと)	17-1	②……	124	～なしに (休息なしに歩き続けた)	25 I -7	①……	188
				～なしに (断りなしに部屋に入るな)	7-11	①……	59
				～など	16II-2	②……	119
				～なら～ほど	6II-1	②……	51
				～ならでは	8-6	①……	64
				～なり (母親の顔を見るなり泣き出した)	5 I -7	①……	44
				～なり～なり (反対するなり賛成するなり)	15-4	①……	112

～なりに (子どもなりに考えて)	11 I-8 ①……	88	～にしては (専門家にしては)	11 II-2 ②……	89
～なりの (子どもなりの考え)	11 I-8 ①……	88	～にしても (忙しかったにしても)	18-6 ②……	132
～なんか	16 II-2 ②……	119	～にしても (たとえ旅行するにしても)	21-3 ②……	157
～なんて	16 II-2 ②……	119	～にしても～にしても (東京にしても横浜にしても)	15-3 ②……	112
～にあたって	4-4 ②……	37	～にしろ (忙しかったにしろ)	18-6 ②……	132
～に (は) あたらない	29-8 ①……	215	～にしろ (たとえ家を買うにしろ)	21-4 ②……	157
～にあって	4-10 ①……	39	～にしろ～にしろ (東京にしろ横浜にしろ)	15-3 ②……	112
～に至 ^{いた} って (は) (自殺するに至 ^{いた} って)	24 I-6 ①……	178	～にすぎない	29-4 ②……	213
～に至 ^{いた} る (成功に至 ^{いた} る過程)	24 II-10 ①……	182	～にすれば	11 I-7 ②……	88
～に至 ^{いた} るまで (借金の額に至 ^{いた} るまで)	3-9 ①……	32	～にせよ (忙しかったにせよ)	18-6 ②……	132
～において	4-9 ②……	39	～にせよ (たとえ家を買うにせよ)	21-4 ②……	157
～に ^{おう} 応じた	13-5 ②……	101	～にせよ～にせよ (東京にせよ横浜にせよ)	15-3 ②……	112
～に ^{おう} 応じて	13-5 ②……	101	～に相違 ^{そうい} ない	26 II-6 ②……	196
～における	4-9 ②……	39	～に ^そ 沿う	12-3 ②……	95
～にかかわらず	14-2 ②……	106	～に ^{そく} 即した	12-9 ①……	97
～に (は) かかわりなく	14-2 ②……	106	～に ^{そく} 即して	12-9 ①……	97
～にかかわる	1-7 ①……	18	～に ^そ 沿った	12-3 ②……	95
～に ^{かぎ} 限 ^り って (うちの子に限 ^り って)	8-2 ②……	63	～に ^そ 沿 ^{って}	12-3 ②……	95
～に ^{かぎ} 限 ^{らず} (男性に限 ^{らず})	9 I-3 ②……	69	～に ^{たい} 対して (老人に対して)	1-3 ②……	17
～に ^{かぎ} 限 ^り (9時までにご来店の方に限 ^り)	8-1 ②……	63	～に ^{たい} 対して (男性78歳に対して女性83歳)	10 II-4 ②……	80
～に ^{かぎ} 限 ^る (夏はビールに限 ^る)	10 I-3 ②……	78	～に ^{たい} 対する (老人に対する)	1-3 ②……	17
～に ^か かり ^て は	17-6 ②……	126	～に ^た える	22-9 ①……	163
～に ^か た ^く ない	22-7 ①……	163	～に ^た えない	22-9 ①……	163
～に ^か わ ^っ て	10 II-9 ②……	82	～に ^た 足 ^る	22-8 ①……	163
～に ^{かん} 関 ^{して}	1-2 ②……	16	～に ^{ちが} 違 ^い ない	26 II-5 ②……	195
～に ^{かん} 関 ^{する}	1-2 ②……	16	～につ ^い て (この町の歴史につ ^い て)	1-1 ②……	16
～に ^き ま ^っ ている	29-3 ②……	213	～につ ^き (工事中につ ^き 休業)	19 I-4 ②……	139
～に ^{くら} 比 ^べ て	10 I-1 ②……	77	～につ ^け て (生活ぶりを聞 ^く につ ^け て)	13-7 ②……	102
～に ^{くわ} 加 ^え て	9 II-5 ②……	72	～につ ^れ て	6 II-2 ②……	52
～に ^こ た ^え て	1-4 ②……	17	～につ ^と って	11 I-1 ②……	86
～に ^こ た ^え る	1-4 ②……	17	～にと ^ど ま ^ら ず	9 I-6 ①……	70
～に ^{さい} 際 ^{して}	4-3 ②……	37	～に ^{とも} 伴 ^っ て	6 II-4 ②……	52
～に ^{さき} 先 ^だ 立 ^っ て	5 II-6 ②……	47	～に ^{はん} 反 ^{した}	10 II-5 ②……	80
～に ^{さき} 先 ^だ 立 ^つ	5 II-6 ②……	47	～に ^{はん} 反 ^{して}	10 II-5 ②……	80
～にした ^が が ^っ て	6 II-3 ②……	52	～に ^{はん} 反 ^{する}	10 II-5 ②……	80
～にした ^ら	11 I-7 ②……	88			
～にして	16 II-7 ①……	120			

～にひきかえ	10II-11	①	83
～にはかならない	29-2	②	212
～にもかかわらず	18-5	②	132
～に基づいた	12-4	②	95
～に基づいて	12-4	②	95
～に基づく	12-4	②	95
～にもまして	10I-4	①	78
～によって (大きさによって分ける)	13-1	②	100
～によって (話し合いによって解決する)	2II-1	②	23
～によって (地震によって倒れた家)	19I-1	②	138
～によって (専門家によって進められた)	2II-2	②	23
～によっては (大きさによっては入らない)	13-2	②	100
～による (大きさによる分類)	13-1	②	100
～による (話し合いによる解決)	2II-1	②	23
～による (地震による被害)	19I-1	②	138
～によると (天気予報によると)	2II-3	②	24
～によれば (天気予報によれば)	2II-3	②	24
～にわたって	3-4	②	30
～にわたる	3-4	②	30
～ぬきで	7-5	②	57
～ぬきに	7-5	②	57
～ぬきの	7-5	②	57
～ぬく	24II-2	②	179
～のあまり	19II-7	②	143
～の至り (光栄の至り)	16II-11	①	121
～の上で (みかけの上で)	11I-3	②	87
～の極み	16II-10	①	121
～のみならず	9I-4	②	69
～のもとで	12-6	②	96
～のもとに	12-6	②	96

は

課 級 頁

～はおろか	9II-6	①	72
～ばかりか (財産ばかりか家族まで)	9I-2	②	68
～ばかりだ (病気は悪くなるばかりだ)	6I-2	②	50
～ばかりでなく (日本語ばかりでなく英語も)	9I-1	②	68

～ばかりに (生水を飲んだばかりに)	19II-4	②	141
～ばかり	19II-8	①	143
～はさておき	14-5	②	107
～はずがない	25I-2	②	186
～ばそれまでだ	29-7	①	214
～はというと	17-4	②	125
～はともかく (として)	14-4	②	107
～は問わず	14-1	②	106
～ば～ほど	6II-1	②	51
～はぬきにして	7-6	②	58
～はもちろん	9II-3	②	71
～はもとより	9II-4	②	71
～反面	10II-6	②	81
～半面	10II-6	②	81
ひとり～だけでなく	9I-5	①	69
ひとり～のみならず	9I-5	①	69
～べからざる	28-7	①	209
～べからず	28-7	①	209
～べき	28-5	②	208
～べきだ	28-5	②	208
～べきではない	28-5	②	208
～べく	2I-3	①	22
～ほか (しかたが) ない	29-5	②	214
～ほど (泣きたいほど痛い)	23II-1	②	170
～ほど (駅に近いほどいい)	6II-1	②	51
～ほどだ (泣きたいほどだ)	23II-1	②	170
～ほどの (泣きたいほどの痛み)	23II-1	②	170
～ほど～はない (ゲームほど楽しいものはない)	10I-2	②	77

ま

課 級 頁

～まい (そう簡単には解決するまい)	26II-1	②	194
～まい (もう二度と頼むまい)	29-1	②	212
～まいか (雪が降るのではあるまいか)	26II-2	②	195
～まじき	11II-7	①	91
～まで (家出をしてまで)	16II-4	②	119
～までして (家出までして)	16II-4	②	119
～までだ (ちょっと気になったまでだ)	24II-12	①	182
～までだ (こうなったらやるまでだ)	29-7	①	214

～までのことだ (ちょっと気になったまでのことだ)	24II-12	①	……	182
～までのことだ (こうなったらやるまでのことだ)	29-7	①	……	214
～までもない (聞くまでもない)	25 I -8	①	……	188
～までもなく (聞くまでもなく)	25 I -8	①	……	188
～まみれ	23 I -6	①	……	169
～向きだ (この服は若者向きだ)	11II-3	②	……	90
～向きに (若者向きにデザインする)	11II-3	②	……	90
～向きの (若者向きのデザイン)	11II-3	②	……	90
～向けだ (子ども向けだ)	1-6	②	……	18
～向けに (子ども向けに書かれた本)	1-6	②	……	18
～向けの (子ども向けの本)	1-6	②	……	18
～めく	23 I -8	①	……	169
～もかまわず	14-3	②	……	107
～もさることながら	9II-7	①	……	72
～も～なら～も	9II-1	②	……	70
～もの (だって好きなんだもの)	19II-3	②	……	141
～ものか (二度と行くものか)	25 I -4	②	……	187
～ものがある (寂しいものがある)	30-8	②	……	220
～ものだ (子どもは早く寝るものだ)	28-4	②	……	208
～ものだ (月日のたつのは早いものだ)	30-5	②	……	219
～ものだ (昔よく叱られたものだ)	30-4	②	……	219
～ものだから (かぜをひいたものだから)	19II-3	②	……	141
～もので (かぜをひいたもので)	19II-3	②	……	141
～ものではない (そんなことをするものではない)	28-4	②	……	208
～ものなら (できるものなら)	20-4	②	……	151
～ものの (わかってはいるものの)	18-4	②	……	131
～ものを (薬があれば助かったものを)	18-13	①	……	135
～も～ば～も	9II-1	②	……	70

や

課 級 頁

～や (部屋に入ってくるや、窓を開けた)	5 I -6	①	……	44
～や否や (部屋に入ってくるや否や、窓を開けた)	5 I -6	①	……	44
～やら～やら	15-2	②	……	111
～ゆえ (に)	19 I -7	①	……	140

～ゆえの	19 I -7	①	……	140
～ようがない	22-4	②	……	162
～ような (次のような)	12-1	②	……	94
～ように (次のように)	12-1	②	……	94
～ように (かぜが治るように)	2 I -1	②	……	21
～ようもない	22-4	②	……	162
～由 (皆様お元気の由、安心しました)	26 I -3	①	……	194
～(より)ほか(は)ない	29-5	②	……	214

わ

課 級 頁

～わけがない (子どもにできるわけがない)	25 I -1	②	……	186
～わけだ (外は雪だって。どうりで寒いわけだ)	24II-3	②	……	179
～わけではない (勉強ばかりしていたわけではない)	25II-2	②	……	189
～わけにはいかない	22-2	②	……	161
～わけはない (彼が読むわけはない)	25 I -1	②	……	186
～わりに (は)	11II-1	②	……	89
～をおいて	8-7	①	……	65
～を ^{かぎ} 限りに	3-10	①	……	32
～を ^{かわき} 皮切りとして	3-8	①	……	32
～を ^{かわき} 皮切りに (して)	3-8	①	……	32
～をきっかりとして	13-8	②	……	102
～をきっかりに (して)	13-8	②	……	102
～を ^{さんえ} 禁じ得ない	27II-6	①	……	203
～を ^{けいき} 契機として	13-9	②	……	103
～を ^{けいき} 契機に (して)	13-9	②	……	103
～をこめて	7-3	②	……	57
～を ^{ちゅうしん} 中心とした	12-7	②	……	96
～を ^{ちゅうしん} 中心として	12-7	②	……	96
～を ^{ちゅうしん} 中心とする	12-7	②	……	96
～を ^{ちゅうしん} 中心に (して)	12-7	②	……	96
～を ^{ちゅうしん} 中心にした	12-7	②	……	96
～を ^{ちゅうしん} 中心にする	12-7	②	……	96
～を ^{つう} 通じて (一年を通じて)	3-5	②	……	31
～を ^{つう} 通じて (テレビのニュースを通じて)	2II-4	②	……	24
～を ^{とお} 通して (一年を通して)	3-5	②	……	31

～を ^{とお} 通して (秘書を通して)	2II-4	②……	24
～を～とした	12-8	②……	97
～を～として	12-8	②……	97
～を～とする	12-8	②……	97
～を問わず	14-1	②……	106
～を～にした	12-8	②……	97
～を～に (して)	12-8	②……	97
～を～にする	12-8	②……	97
～をぬきにして (硬い話をぬきにして)	7-6	②……	58
～をぬきにしては (山田さんをぬきにしてはパーティーは開けない)	20-5	②……	152
～をはじめ (として)	3-1	②……	29
～をはじめとする	3-1	②……	29
～をめぐる	1-5	②……	17
～をめぐる	1-5	②……	17
～をもって (書面をもって知らせる)	2II-5	①……	25
～をもって (本日をもって終了する)	3-11	①……	32
～をもとに (して)	12-5	②……	96
～をもとにした	12-5	②……	96
～をもとにする	12-5	②……	96
～をものともせず (に)	14-7	①……	108
～を ^よ 余儀なくされる	27II-7	①……	204
～をよそに	14-8	①……	108

ん

課 ② 級 頁

～んがため (に)	2I-4	①……	22
～んがための	2I-4	①……	22
～んばかりだ	23II-8	①……	173
～んばかりに	23II-8	①……	173
～んばかりの	23II-8	①……	173

れん しゅう かい とう
練習問題の解答

- 1 A 1 b 2 b 3 a 4 a 5 a B 1 f 2 e 3 d 4 a 5 b 6 c
C 1 c 2 b 3 a 4 d 5 e
- 2 A 1 a 2 b 3 b 4 b 5 a B 1 a 2 g 3× 4 d 5 f 6 b
7× 8 c 9 e C 1 f 2 e 3 a 4 d 5 c 6 b
- 3 A I 1 c 2 d 3 a 4 b 5 e 6 f 7 g II 1 c 2 e 3 a
4 b 5 d B 1 b 2 b 3 b 4 b 5 a 6 a
- 4 A 1 b 2 e 3 c 4 f 5 g 6 d 7 a B 1を 2× 3に 4で
5に 6を 7× 8で 9に 10×
- 5 1 b 立ち上がったとたん 2 c 相談した上で 3 d 卒業して以来 4 e 片づけるそばから
5 a やみ次第 6 f 考えてからでない 7 b 温かいうちに 8 a 工事開始に先立って
9 d 着いたかと思うと 10 c 入院してはじめて 11 e 入院してからというもの
- 6 A 1 b 2 b 3 a 4 a 5 b 6 a 7 a B 1 b 2 a 3 d 4 f
5 c 6 e
- 7 A 1 c 2 g 3 h 4 d 5 a 6 i 7 j 8 b 9 e 10 f B 1 c
2 a 3 e 4 b 5 d
- 8 A I 1 c 2 f 3 a 4 e 5 b 6 g 7 d II 1 c 2 g 3 d 4 f 5 a
6 b 7 e B 1 e 2 b 3 a 4 d 5 c
- 9 A 1 a 2 b 3 b 4 a B 1 b 2 a 3 b 4 b 5 a C 1 a 2 c 3 d
4 b 5 f 6 e
- 10 A 1 j おくっている一方で 2 c 受けるかわりに 3 h 人間にかわって 4 d 口に合わないどころか
5 a 希望に反して 6 g 読みやすい反面 7 f 言おうか言うまいか 8 b 裏切られるくらいつらいことはな
い 9 i それにもまして 10 e しないまでも B 1 c 2 g 3 b 4 f 5 e 6 a 7 d
- 11 I 1 b 2 f 3 c 4 a 5 d 6 e II 1 b 2 e 3 f 4 d 5 c 6 a
- 12 A I 1 f 2 e 3 c 4 a 5 d 6 b II 1 a 2 c 3 e 4 f 5 b 6 d
B 1 c・オ 2 d・カ 3 f・キ 4 b・ア 5 g・ウ 6 h・イ 7 e・エ
- 13 1 d 2 a 3 g 4 f 5 e 6 b 7 c
- 14 1 a 2 a 3 b 4 b 5 b 6 a 7 a 8 b 9 a
- 15 1 b 2 a 3 c 4 a 5 c 6 b 7 b a c
- 16 1 d 2 e 3 b 4 f 5 a 6 c 7 b 8 a 9 d 10 c 11 e
- 17 A I 1 a 2 b 3 d 4 e 5 c 6 f II 1 c 2 b 3 e 4 a 5 f 6 d
B 1 d 2 a 3 b 4 f 5 e 6 c

- 18 A 1 c 2 d 3 a 4 b 5 e B 1 d 2 b 3 a 4 g 5 c 6 e 7 h
8 f
- 19 A 1 b 2 e 3 d 4 a 5 c 6 d 7 e 8 b 9 a 10 c 11 d 12 a 13 b
14 e 15 c B 1 b よかったおかげで 2 a うれしさのあまり 3 c 買ったばかりに 4 e 好きなものだからこそ 5 d 春休みだけに 6 d 大金持ちではあるまいし 7 b 買ってもらったからには 8 a 田中さんのことだから 9 e しているところを見ると 10 c 心配すればこそ
- 20 1 b 行くとしたら 2 e 協力をぬきにしては 3 a 研究費さえあれば (研究費がありさえすれば) 4 h 渡したら最後 5 d やめられるものなら 6 j 木村さんのためとあれば 7 c 会ってみたいことには 8 f しょうものなら 9 i 友情なくして (は) 10 g 示さないかぎり
- 21 1 たえ病気になるっても 2 何と言われようと 3 雨が降ろうか雪が降ろうか 4 忠告したところで 5 するとしても 6 親友といえども 7 どちらにせよ 8 誰であれ 9 男だろうと女だろうと 10 帰国しようとするまいと (すまいと)
- 22 A 1 b いたしかねます 2 c 直しようがない 3 a 泊めてあげるわけにはいかない 4 c とりようがない 5 a 休むわけにはいかない 6 b 言い出しかねて B 1 c 2 d 3 b 4 e 5 a 6 f
- 23 1 a 2 b 3 a 4 a 5 a 6 a 7 b 8 a 9 b 10 a
- 24 I 1 d 2 b 3 a 4 c 5 f 6 e II 1 b 2 c 3 e 4 f 5 a 6 g
7 d
- 25 I 1 b 2 e 3 a 4 c 5 d II 1 a 2 d 3 b 4 c
- 26 A 1 a a 2 a 3 b a 4 b B 1 b 2 a 3 d 4 e 5 c
- 27 1 b 気がしてなりません 2 d 出勤せざるをえません 3 a 寂しくてたまりません 4 c 願ってやみません 5 b 確かめないではいられない 6 c お詫びしないではすまない 7 a やらないわけにはいかない 8 d 謝らせないではおかない (謝らせずにはおかない) 9 b うまさといったらない a うらやましいかぎりだ 10 d 退職を余儀なくされた c 同情を禁じ得ない
- 28 1 h 2 c 3 f 4 a e 5 b 6 d g
- 29 I 1 g 2 a 3 e 4 b 5 f 6 c 7 d II 1 g 2 h 3 e 4 b 5 a
6 d 7 f 8 i 9 c
- 30 1 d 2 e 3 h 4 f 5 c 6 a 7 b 8 g

参考文献

教科書

- 東海大学留学生別科編(1970)『日本語 中級I』東海大学出版会
アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター(1971)『INTEGRATED SPOKEN JAPANESE I』VOLUME ONE, TWO
対外日本語教育振興会編(1980)『Intensive Course in Japanese』Intermediate Course (株)ランゲージサービス
筑波大学日本語教育研究会編(1983)『日本語表現文型・中級』I・II イセブ
国際学友会日本語学校編(1985)『日本語II』国際学友会
東京外国語大学留学生日本語教育センター編(1993)『中級日本語』凡人社

資料

- 国際交流基金・日本国際教育協会、編集・著作(1994)『日本語能力試験出題基準』凡人社

雑誌掲載論文

- 森田良行(1976)「文法一条件の言い方」『講座日本語教育』第3分冊、早稲田大学語学研究所
北条淳子(1981)「中級段階における学習内容」『講座日本語教育』第17分冊、早稲田大学語学研究所
宮地裕他編(1984)「複合辞特集」『日本語学』3.10 明治書院
蓮沼昭子(1985)「「ナラ」と「トスレバ」」『日本語教育』56号、日本語教育学会
関正昭(1989)「評価述定の誘導成分となる複合助詞について」『日本語教育』68号
江田すみれ(1991)「複合辞による条件表現I「と」と「とすると」の意味と機能」『日本語教育』75号
江田すみれ(1992)「複合辞による条件表現II「と」と「とすると」と「とすると」の意味と機能について」『日本語教育』78号
仁田義雄(1992)「〔特集〕モダリティ・判断から発話・伝達へ」『日本語教育』77号
益岡隆志(1992)「〔特集〕モダリティ・不定性のレベル」『日本語教育』77号
今井新悟(1992)「〔特集〕モダリティ・モダリティ形式のモダリティ度」『日本語教育』77号
山岡政紀(1992)「〔特集〕モダリティ・意志表現の文型提示に関する一考察」『日本語教育』77号
江田すみれ(1994)「複合辞による条件表現「ば」「とすれば」」『日本語教育』83号
坪根由香里(1994)「「ものだ」に関する一考察」『日本語教育』84号
松木正恵(1995)「複合助詞の特性」『言語』11月号、大修館書店

書籍

- 金田一春彦編(1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
吉川武時(1989)『日本語文法入門』アルク
町田健(1989)『日本語の時制とアスペクト』アルク
北川千里・井口厚夫(1988)『助動詞』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
寺村秀夫編(1987)『ケーススタディ日本文法』おうふう
阪田雪子・倉持保男(1975)『教師用日本語教育ハンドブック文法II』国際交流基金
森田良行(1985)『誤用文の分析と研究—日本語学への提言—』明治書院
国立国語研究所(1987)『現代の助詞・助動詞』秀英出版
北条淳子(1989)『複文文型』『談話の研究と教育II』国立国語研究所
加藤泰彦・福地務(1989)『テンス・アスペクト・ムード』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
横林宙世・下村彰子(1988)『接続の表現』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
駒田聡他(1990)『中・上級日本語教科書文型索引』くろしお出版
森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型』アルク
森田良行(1989)『基礎日本語辞典』角川書店
柴田武他編(1976)『ことばの意味 辞書に書いてないこと』(1・2・3) 平凡社
寺村秀夫(1984)『日本語のシンタックスと意味II』くろしお出版
益岡隆志(1987)『命題の文法』くろしお出版
益岡隆志(1989)『基礎日本語文法』くろしお出版
益岡隆志(1991)『モダリティーの文法』くろしお出版
仁田義雄・益岡隆志(1989)『日本語のモダリティ』くろしお出版
仁田義雄(1991)『日本語のモダリティーと人称』ひつじ書房
益岡隆志編(1993)『日本語の条件表現』くろしお出版
有賀千佳子(1994)『意味上の言語単位・試論「どうってことはない」は辞書にあるか』くろしお出版
益岡隆志・野田尚史・沼田善子編(1995)『日本語の主題と取り立て』くろしお出版
仁田義雄編(1995)『複文研究』(上・下) くろしお出版
宮島達夫・仁田義雄編(1995)『日本語類義表現の文法』(上・下) くろしお出版
森田良行(1995)『日本語の視点』創拓社
河原崎幹夫監修(1995)『辞書でひけない日本語文中表現』北星堂
坂本正編著(1995)『日本語表現文型・例文集』凡人社
生田目弥寿編著(1995)日本語教師のための『現代日本語表現文典』凡人社
Seiichi Makino・Michio Tsutsui(1995)『日本語文法辞典【中級編】』The Japan Times

著者

◎友松悦子 (ともまつ・えつこ)

東京外国語大学外国語学部ドイツ語学科卒業。現在、拓殖大学留学生別科非常勤講師。著書に『日本語テスト問題集－文法編』（凡人社、共著）がある。

◎宮本 淳 (みやもと・じゅん)

国際基督教大学教養学部社会科学科卒業。アジア教育福祉財団難民事業本部大和定住促進センター非常勤講師、国際学園日本語学校専任講師を経て、現在、東京国際大学附属日本語学校専任講師。著書に『日本語テスト問題集－文法編』（凡人社、共著）がある。

◎和栗雅子 (わくり・まさこ)

国際基督教大学教養学部社会科学科卒業。現在、東京外国語大学留学生日本語教育センター、慶応義塾大学国際センター非常勤講師。著書に『初級日本語問題集 語彙・文法－20のテーマ』（凡人社、共著）、『日本語テスト問題集－文法編』（凡人社、共著）がある。また、月刊『日本語ジャーナル』（アルク）の日本語能力試験練習問題のページを約4年間にわたり共同執筆にて連載（『日本語能力試験に挑戦』1992年3月号～93年12月号、「めざせ合格!! 日本語能力試験」94年1月号～95年12月号）。『月刊日本語』（アルク）では96年4月号から98年3月号まで「すぐに使える文型別教え方のコツ」を連載。

どんな時どう使う 日本語表現文型500

500 Essential Japanese Expressions:
A Guide to Correct Usage of Key Sentence Patterns

1996年9月20日初版発行

1998年12月1日4刷発行

著者	友松悦子 宮本 淳 和栗雅子
発行者	平本照磨
発行所	株式会社アルク 〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12 電話 03-3323-5514(日本語出版編集部) 03-3327-1101(販売部)
印刷所	萩原印刷株式会社
装丁・デザイン	鈴木洋子
校正	安田 緑
翻訳	Jon McGovern

© 1996 Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り換えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

にほんごのうりよくしけんこうかく 日本語能力試験に合格!

ALC Press Japanese Textbook Series
for the Japanese Language Proficiency Test

よそう たいさく
[予想と対策]

日本語能力試験 受験問題集

[Preparation & Strategy]

Practice Questions for the Japanese Language Proficiency Test

Level 1 1級 / Level 2 2級 / Level 3・4 3・4級

テキスト(B5判) 各1,456円

別売りカセットテープ(2本) 各3,883円



これで合格

日本語能力試験 模擬テスト

All you need to pass!

The Japanese Language Proficiency Test Practice Test

Level 1 1級 / Level 2 2級

テキスト(B5判) 各1,456円

別売りカセットテープ(2本) 各2,913円



分野別

日本語能力試験

聴解問題に強くなる本

テキスト(B5判) 1,262円

別売りカセットテープ(2本) 2,427円



日本語能力試験

読解・文法問題に強くなる本

テキスト(B5判)

1,262円

日本語能力試験

文字・語彙問題に強くなる本

テキスト(B5判)

1,262円



日本語能力試験 漢字ハンドブック

Kanji Power Handbook

for the Japanese Language proficiency Test

テキスト(B6判) 1,748円

日本語能力試験1級に出る重要単語集



テキスト(B6判) 1,748円

別売りカセットテープ(3本) 3,398円



初めて日本語を教える方におすすめ! 教えやすく、学習しやすい基本テキスト

『にほんご1・2・3』シリーズ

発行:  地球人ネットワークを創る 株式会社アルク  「SPACE ALC」 <http://www.alc.co.jp/>

123個の初級文型と頻出の日常表現が、120時間程度でマスターできる内容。テキストどおりに順を追って教えればよいので、初めて日本語を教える方にとっても大変使いやすく、大好評のテキストシリーズです。

*表示価格は税別です。

「1課につき1文型」(ワンポイント・ワンレッスン方式)だから日本語をマスターしやすい! 教えやすい!!

上・下2巻、全123課の日本語初級学習者向けテキスト。ゼロからの学習者には「一つ一つ丁寧に積み上げる」学習法が大切です。そこで本書は、一つの課で学習する文型は一つだけ、というワンポイント・ワンレッスン方式を採用。各課は「文型、練習、会話」というパターンで構成され、使用されている日本語は日常よく使われる自然な表現ばかりです。基本文型には豊富な文例が盛り込まれており、漢字も徐々に覚えられるよう各課に少しずつ提示しています。主教材として順を追って進めれば、無理なく文型を身につけることができますし、副教材として必要な部分を随時ピックアップして確認したり、練習に利用するのも効果的です。また初級終了者の復習にも最適です。



Japanese 1・2・3 **にほんご1・2・3 (上)(下)**
寺内久仁子 白井香織 草刈めぐみ 共著
テキスト/各1,456円(A5判) 別売カセットテープ/各1,748円
(上)169ページ (下)166ページ

初級文型定着のための練習帳

上・下2巻、全123課。「にほんご1・2・3」(上)・(下)に準拠した練習帳。基礎から応用へと段階を追って、定着を確認しながら確実に力がつきます。問題を多数用意し、教室での練習用に、宿題用にとカリキュラムに合わせて使用できます。10課まではすべてひらがなで表記し、11課からは本書で学習した漢字を使用しています。

また、単語帳に載せてない新出語についてはイラストつきで解説しています。

Japanese 1・2・3 Workbook
にほんご1・2・3 練習帳(上)(下)
寺内久仁子 白井香織 草刈めぐみ 共著
各1,456円(B5判)
(上)185ページ (下)181ページ



Japanese 1・2・3 word book

にほんご1・2・3 単語集

英語版/中国語版/韓国語版
寺内久仁子 白井香織 草刈めぐみ 共著
各1,359円(B6判)
(英語版)151ページ (中国語・韓国語版)153ページ

各国語別に使える便利な単語集

全123課。「にほんご1・2・3」(上)・(下)に準拠し、英語/中国語/韓国語の3種類を用意しました。各課ごとの新出語彙と関連語に各国の意味を対応させ、さらにわかりにくいものに関しては例文をつけるなどして、学習者が理解しやすいよう工夫されています。巻末には語彙索引、動詞の活用初出課一覧、主な文型・文法項目一覧がついています。



●お近くの書店にてお求め下さい。書店にない場合は小社に直接お申し込みください。 ●FAX、E-mailでのご注文も承っております。
(株)アルク販売部 〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12 FAX:03-3327-1300 E-mail shop@alc.co.jp

●電話でのお申し込み(フリーダイヤル)

☎ 0120-120-800

受付時間/(月~金)9:00~21:00
(土日祝)9:00~19:00

インターネット「スペースアルク」<http://www.alc.co.jp/>
にて小社発行の書籍・ムックの最新情報をご覧になれます。
あわせてご利用ください。

ALC Press Japanese Textbooks

Primary Course

(入門コース)

にほんご1・2・3(上)(下)

Japanese 1・2・3

寺内久仁子・白井香織・草刈めぐみ著

1つの課で1つの文型を身につける、「1ポイント1レッスン」方式の教材。日常よく使われる表現を効率よく学べます。

テキスト・A5判／(上)169ページ(下)166ページ 各1,456円

テープ・各90分 各1,748円

練習帳・B5判 各1,456円

単語集(英語版・中国語版・韓国語版) 各1,359円

入門日本語

First Lessons in Japanese

入門日本語—発展編—

First Lessons in Japanese -Advanced Edition-

水谷信子／監修

会話に重点を置き、短いせりふから談話、日常会話へとステップアップしていきます。修了すれば、初歩的なコミュニケーションが可能になります。発展編では、さらに「読む・聞く・書く・話す」の基礎力アップをはかります。

テキスト・B5判／128ページ 1,456円

テープ・80分／2本 2,427円

発展編 テキスト・B5判／160ページ 1,748円

テープ・80分、90分／各1本 2,718円



絵でわかる きおんご・ぎたいご

A practical Guide To Mimetic Expressions Through Pictures

阿久津智著

日本語の会話にとって非常に大切な「きおんご・ぎたいご」。実用的な例文と、わかりやすいイラストを使って、楽しく日本語の表現力が身につけられます。

テキスト・B6判／132ページ 1,456円

らくらく日本語ライティング

Writing in Japanese is Fun

田口雅子著

メモの書き方からスピーチの原稿まで、さまざまな分野での「書き方」を具体的な文例とともに指導しています。「日本語の書き方のコツ」がつかめます。

テキスト・B5判／136ページ 1,748円

Beginner Course

(初級コース～中級コース)

楽しく学べる日本語初級コース

For Pleasurable Study Elementary Course in Japanese

いいようこ著

初級学習者を対象にしたビジュアルなテキストブック。11の頭練習、語彙、文法の学習に役立つ、総合的副教材です。

テキスト・B5判／181ページ 1,650円

テープ・60分／2本 2,427円

現代日本語 初級総合講座 水谷信子、築島史恵／共著

An Intergrated Course for Beginners Modern Japanese

現代日本語 初級総合講座—発展編—

An Intergrated Course for Beginners Modern Japanese -Advanced Edition-

現代の日本社会をテーマに、「読む、書く、聞く、話す」の4技能の習得をめざします。発展編では、読解力アップをはかります。

テキスト・B5判／221ページ 2,621円

テープ・60分／2本、90分／1本 5,825円

発展編

テキスト・B5判／219ページ 2,621円

テープ・60分／3本 5,825円

初級日本語 ドリルとしてのゲーム教材50

50 Games for Drills in Learning Japanese

栗山昌子、市丸恭子／共著

本書は、ゲーム要素をもちこんだユニークな教師用テキストです。実際の現場で好評を得た50のゲームを紹介しています。初級クラス担当教師の必携書です。

テキスト・B5判／101ページ 2,427円

漢字はむずかしくない Kanji Isn't That Hard! 武部良明著

漢字は「24の法則」を持つ図形。この法則に従って、漢字マスターのコツを紹介。新出漢字にも応用できます。

テキスト・B5判／168ページ 1,748円

実践力のつく日本語学習 インタビュー編

Study Japanese Through Interviews: A Practical Approach

谷口聡人、堀歌子、野村美知子／共著

グループ学習を通して、コミュニケーション能力を高めていくためのテキストブック。初級から中級向け。

テキスト・B5判／171ページ 1,748円



Intermediate Course

(中級コース～上級コース)

日本語中級読解入門

Introduction to Japanese Reading Skills

Jaitta編 富岡純子、島恭子/共著

初級後半の復習を兼ねながら、複文・長文の読解力を養成。
テキスト・B5判/183ページ 2,427円

日本語中級読解入門 練習問題集

Introduction to Japanese Reading Skills

Jaitta編

基礎がためと中級編への準備を目的として、テキスト形式の補足問題を一冊にしました。
テキスト・B5判/64ページ 874円

日本語中級読解

Intermediate Japanese Reading Skill Builder

Jaitta編 富岡純子、高岡サク/共著

中級レベル対象の読解力養成テキスト。文法事項・慣用表現に慣れ、同時に語句・漢字の力がつけられます。
テキスト・B5判/178ページ 2,427円

読む・聞くニュースの日本語(中級～上級)

News Nihongo: Reading and Listening to the news in Japanese

片山朝雄著

さまざまな分野のニュースを題材に、「読む・聞く」の二面から日本語を学習していく読解教材です。日本語だけでなく、日本社会に関する知識も深まる一冊です。
テキスト・B5判/146ページ 1,845円
テープ・45分/1本 1,748円

実践力のつく日本語学習 アンケート編

Study Japanese Through Questionnairng: A Practical Approach

テキスト・B5判/131ページ

谷口聡人、堀歌子、野村美知子/共著

1,748円

学習者が実際にアンケート調査を行い、その結果を発表するまでの過程で、4技能をバランスよく習得できる構成になっています。中級から上級向け。

日本生活事情

Living in Japan: A Handbook

「日本語ジャーナル」編集部編

来日した外国人にとってまず必要なのは、日本の社会規則や生活習慣を知ることです。生活に密着したテーマを通して日本語を学べる読解教材です。
テキスト・B5判/108ページ 1,456円

For Business

(ビジネス編)

CRASH COURSE JAPANESE FOR BUSINESS

ビジネス日本語速修コース 清ルミ著

コミュニケーションスキルを身につけることを最優先に考えたテキストです。数多くの写真やイラストで、視覚からフレーズを覚えることができます。
テキスト・B5判/157ページ 2,136円
テープ・70分/1本 1,942円

オフィスの日本語 Office Japanese

高見沢孟著

日本のビジネス社会の中で、立場によって変化する話し方や、オフィスでの特別な表現などを、わかりやすく解説しています。
テキスト・B5判/161ページ 1,650円
テープ・30分/2本 2,427円

実用ビジネス日本語 Practical Business Japanese

高野岳人、矢島美加子、原啓二、古市輝子/共著

日本で働く外国人を対象にした、実践的テキストブック。「こんな時はどう言えばいいんだろう?」という疑問を、数多くの場面を通して解消していきます。
テキスト・B5判/200ページ 2,427円
テープ・60分、40分/各1本 3,689円



Living in Japan

(日本で暮らす)

日本旅行事情 自然と地方文化

Traveling Japan: Local Nature and Culture

「日本語ジャーナル」編集部編

日本全国24地域を豊富なカラー写真で紹介し、中級レベルの日本語(ルビ付き・日英対訳)で解説。外国人が日本を旅するときにおすすめです。
テキスト・B5判/112ページ 1,748円

日本で暮らす Living in Japan

「日本語ジャーナル」編集部編

文化や習慣の違いをこえ、「スムーズな日本での暮らし」をめざす外国人のための、役立つ生活情報を紹介。
テキスト・B5判/108ページ 1,456円

日本事情入門 View of Today's Japan

アルク編、佐々木瑞枝著

「日本語」を学びながら、その背後にある日本文化がわかるように、政治、経済、産業、教育すべてにわたって、やさしい表現と写真を使って説明しています。
テキスト・B5判/102ページ 1,748円

全国の書店で好評発売中!

※お申し込みは必ずお名前を明記してください。

MONTHLY

The Nihongo Journal

The shortest way to Japanese is through these pages.

The Nihongo Journal is a magazine designed to teach you useful and up-to-date Japanese. It offers a fresh approach to all the necessary information about Japanese culture and life in its monthly features. It gives you a full picture of both traditional and modern Japan in full-color pages. It teaches beginners to intermediates and provides complete English translations. Do you want to get closer to Japan and Japanese? Read The Nihongo Journal!

日本語上達への近道は、この一冊から!

日本語ジャーナルは、使える日本語、生きた日本語を身につけるための学習誌。初級から中級まで、各種レッスンページのほか、日本での生活に欠かせない文化、生活情報を、毎回新鮮な切り口で特集します。日本の今、日本の伝統を写真で伝えるカラーページも好評です。日本語と、より身近につきあうために、ぜひご活用ください。

New Members wanted for Nihongo Network!

For sometime ALC Press has been building up a network for its CAT Club under the slogan of "Creating a Worldwide Human Network." Designed for Japanese people, CAT Club currently has around 150,000 members, all of whom wish to communicate with people throughout the world. In order to expand the network on a global scale, the "Nihongo Network", a networking club for foreigners, has been created as part of CAT Club. This new networking club will provide a forum for international exchange between Japanese and foreigners.

「日本語ネットワーク」会員募集中!

アルクでは「地球人ネットワークを創る」というスローガンに沿って、日本人向けの会員組織CATクラブでネットワーク作りを進めてきました。現在CAT会員は15万人。このネットワークを世界中に広げるためにも、CATクラブの中に外国人のための会員組織「日本語ネットワーク」を作りました。この組織を通じて、外国人と日本人との交流の場を提供していきます。

本誌 定価630円(本体600円)

カセットテープ 定価(本体2,000円)+税

Magazine ¥600(plus tax).

Cassette Tape ¥2,000(plus tax).

毎月11日発売



2-54-12, Eifuku, Sugunami-ku, Tokyo 168-8611 JAPAN
(Phone) 03-3327-1101